

令和元年度

事業報告書
収支決算書

(自 平成31年4月1日)
(至 令和2年3月31日)

小田原箱根商工会議所

小田原箱根商工会議所の基本理念

- 小田原・箱根地域を世界に誇れる地域にします。
- 小田原箱根商工会議所は、この地域の活力を高めるために諸活動を通じて貢献する名誉を担います。
- 小田原箱根商工会議所は、すべての活動を通して、街づくり、人づくりに果敢に挑戦します。
- 会員と職員は、最善を尽くし、地域貢献することを喜び、誇りとします。

目 次

I	総括的概要	1
II	事項別状況	2
1.	定款及び規約等	2
(1)	定 款	2
2.	組 織	4
(1)	会 員	4
(2)	特 定 商 工 業 者	7
(3)	役 員	7
(4)	議 員	9
(5)	部 会 長 等	13
(6)	委 員 長 等	14
3.	事 務 局	16
(1)	事務局の構成	16
(2)	事務局職員	17
4.	庶 務	18
(1)	文 書	18
(2)	表 彰	18
(3)	受 賞	22
(4)	慶弔 その他	22
5.	会 議	24
(1)	議 員 総 会	24
(2)	正副会頭会議	36
(3)	常 議 員 会	45
(4)	監 事 会	49
(5)	箱根支部会議	49
(6)	部 会 会 議	51
(7)	その他の会議	62
(8)	特 別 委 員 会	64
(9)	委 員 会	67

(10)	教育旅行に関する会議・事業	68
(11)	タスクフォース	69
(12)	新会館に関する会議	72
6.	事業	75
(1)	各種事業活動	75
(2)	意見活動	98
(3)	調査・研究	145
(4)	広報	145
(5)	証明・鑑定・検査	146
(6)	信用調査	146
(7)	各種行事	147
(8)	技術・技能の普及検定	151
(9)	取引紹介（照会を含む）あっせん	153
(10)	取引紛争のあっせん	153
(11)	相談・指導・あっせん等	153
(12)	会員の増強対策	153
(13)	経営改善普及事業（中小企業相談部）	153
7.	登録	165
(1)	法定台帳	165
(2)	任意台帳	165
8.	会館・事務所等	165
(1)	土地	165
(2)	建物	165
(3)	設備	166
9.	関係団体への加入及び連携	168
(1)	日本商工会議所	168
(2)	関東商工会議所連合会	168
(3)	神奈川県商工会議所連合会	168
10.	研修	170
(1)	経営指導員・補助員研修	170
(2)	職員研修等	171
11.	関係団体	173
	令和元年度収支決算書	175

令和元年度

事業報告書

I 総括的概要

新型コロナウイルス禍は人心を一変させるほどの衝撃を以て、私たちの暮らしと経済に大きな影響を与えている。この文章を認めている時点では、その動向は予断を許さず、早期に終息したとしても、各社の事業の回復と経済全体の復興には複数年かかるという見方もある。

さて、当年度は、ラグビーワールドカップで日本中が熱狂し、来る東京オリパラへの期待感が高潮した矢先に、当地は台風19号による大雨で箱根が甚大な被害を受けた。その爪痕が生々しいままのところでの新型コロナウイルスの蔓延であった。会員各企業にとっても地域経済にとっても、未だ現在進行中であるが、「想定外」が続く厳しい一年となった。

人口減、高齢化、少子化という社会構造の継続的な成熟化、気候変動の現実化、SDGsが人口に膺灸するようになり企業の新しい行動規範が問われる時代の到来など様々な外部環境の変化があるが、経済活動を通じて地域の暮らしを下支えする中小企業、小規模事業主の役割の大きさは不変である。

足元に視線を転ずれば、経営の現場は、働き手不足、残業時間の「罰則付き上限規制」や5日間の「有給休暇取得」の義務化、さらには同一労働同一賃金など働き方改革などへの対応に苦労した一年であった。今後も無店舗販売、キャッシュレス決済、シェアリングエコノミーなど消費の形態の変化、IoT、AIなどの技術革新とその先にあるソサイエティ5.0など、会社規模の大小に拘わらず、大きな影響を受けるであろう課題の続出は止まらない。

まさに「変革」を余儀なくされている状況にあると言える3,300の会員企業の皆さんの経営基盤の強化と経営の活性化を使命とする、わが小田原箱根商工会議所の役割はますます大きいと言える。

単なる拡大や成長が難しい環境下の有効な地域経済の活性化策として、ここ数年来、地域で廻るお金を増やすこと、そして廻るスピードを上げることをテーマに掲げている。令和元年は、このテーマの下、14本の重点施策を中心に活動を展開した。

まず、商工会議所の活動の目的の一丁目一番地は会員企業の商売繁盛であり、そのお手伝いが商工会議所の最大かつ最重要な責務だという認識のもと、各種相談、専門家派遣、セミナーの開催、特に働き方改革関連法の周知・啓発活動等の経営支援策を継続的な改善を加えつつ実施した。

次に、商売の環境を整備するという観点で、「まちづくり」、特に、定住人口増を目指し、小田原・箱根をより「働きたいまち・住みたいまち」にするため、積極的に事業を展開した。この地域で働く人を増やす、ここ小田原・箱根で商売を始める人を増やすことを目的に合同入社式、創業支援（「第三新創業塾」と「おだわら起業スクール」など）は確実に成果を上げてきている。また、廃業予備軍と創業希望者を引会せることで事業承継を促進すべく、地元金融機関と税理士会との連携で立ち上げた「小田原箱根事業承継マッチング～襷をつなぐ～」についても、実例を生み出すべく努力を続けている。会員増強活動も精力的に展開し、自治会と行政と連携した防災体制の整備、エネルギーの地産地消と会員企業の省エネの推進支援も重点的に進めてきた。

もうひとつの商工会議所の大事な責務である行政等への意見具申と建議についても、特にまちづくりや地域での経済循環の促進等について積極的に要望、提言をしてきた。

年度末には、コロナ禍への対応として、組織横断的に、かつ行政、関係団体をもメンバーに迎えて立ち上げた「新型コロナウイルス対策会議」を中心に、情報の共有と会員企業の支援策の推進を、さらに小田原市、箱根町への支援を促す要望活動、大型連休を前に地域を挙げての「観光を控えて欲しい」旨の前代未聞の断腸の思いでの発信の段取り等に奔走した。今後は情勢の進展を読みつつ、迅速かつ的確な経営支援策を講じていくとともに、終息後のポストコロナ時代での地域の中小企業のあり方についても考え、発信していく。

地域の総合経済団体として、関係する全ての皆さんの知恵を集め、力を合せ、お互いを活かしあう、そんな「つながり」を大切にす小田原箱根商工会議所を目指し、今後も「議論して行動して結果を問う」姿勢で活動を展開していく所存である。

小田原箱根商工会議所
会頭 鈴木 悌介

II 事項別状況

1. 定款及び規約等

令和元年度において下記のとおり諸規定の変更を行った。

(1) 定款

(令和2年3月27日 通常議員総会決議)

1. **変更の理由** 12月13日に「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う経済産業省関係省令の整備に関する省令」が公布されたことを受け、商工会議所法（法第15条第2項 会員資格）が改正されたことにより、定款の変更が必要なため。

2. 変更箇所

(注) アンダーラインは変更部分

現 行	改 正
<p>(会員の資格)</p> <p>第10条 本商工会議所の地区内に引き続き6月以上営業所、事務所、工場又は事業場（以下「営業所等」という。）を有する商工業者は、本商工会議所の会員となることができる。ただし、次に掲げるものであって、常議員会の承認を得た場合は、本商工会議所の会員となることができる。</p> <p>(略)</p> <p>3 次の各号の一に該当する者は、会員となることができない。</p> <p>(1) 成年被後見人又は被保佐人。</p> <p>(2) 破産者で復権を得ない者。</p> <p>(3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者。</p> <p>(略)</p>	<p>(会員の資格)</p> <p>第10条 本商工会議所の地区内に引き続き6月以上営業所、事務所、工場又は事業場（以下「営業所等」という。）を有する商工業者は、本商工会議所の会員となることができる。ただし、次に掲げるものであって、常議員会の承認を得た場合は、本商工会議所の会員となることができる。</p> <p>(略)</p> <p>3 次の各号の一に該当する者は、会員となることができない。</p> <p>(1) <u>精神の機能の障害により職務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者。</u></p> <p>(2) <u>破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者。</u></p> <p>(3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者。</p> <p>(略)</p>
<p>(特別会員)</p> <p>第22条 会員たるの資格を有しないものであっても、本商工会議所の趣旨に賛同するものは、本商工会議所の特別会員となることができる。</p> <p>2 第10条3項（会員の欠格事由）、第11条第1項、第2項及び第4項（加入）並びに第16条から前条まで（会員の権利、会費、過怠金、会員権の停止、脱退及び除名）の規定は、特別会員について準用する。</p>	<p>(特別会員)</p> <p>第22条 会員たるの資格を有しないものであっても、本商工会議所の趣旨に賛同するものは、本商工会議所の特別会員となることができる。</p> <p>2 第10条3項 <u>（資格）</u>、第11条第1項、第2項及び第4項（加入）並びに第16条から前条まで（会員の権利、会費、過怠金、会員権の停止、脱退及び除名）の規定は、特別会員について準用する。</p>

現 行	改 正
<p>(役員の任免)</p> <p>第33条 会頭は、議員総会において、会員（会員が法人その他の団体である場合は、会員の権利を行使する1人の者。以下本条において同じ）のうちから選任し、又は解任する。</p> <p>(略)</p> <p>9 次の各号の一に該当する者は、役員になることができない。</p> <p>(1) 第10条第3項第1号又は第2号（会員の欠格事由）に該当する者。</p> <p>(2) 未成年者。</p> <p>(3) 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わった日又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過するまでの者。</p> <p>(略)</p>	<p>(役員の任免)</p> <p>第33条 会頭は、議員総会において、会員（会員が法人その他の団体である場合は、会員の権利を行使する1人の者。以下本条において同じ）のうちから選任し、又は解任する。</p> <p>(略)</p> <p>9 次の各号の一に該当する者は、役員になることができない。</p> <p>(1) 第10条第3項第1号又は第2号 <u>(資格)</u> に該当する者。</p> <p>(2) 未成年者。</p> <p>(3) 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わった日又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過するまでの者。</p> <p>(略)</p>
<p>(議員総会及び議員)</p> <p>第35条 本商工会議所に、議員総会を置く。</p> <p>(略)</p> <p>5 第33条第9項各号（役員欠格事由）の一に該当する者は第2項の議員又は前項の議員の職務を行う者となることができない。</p> <p>(略)</p>	<p>(議員総会及び議員)</p> <p>第35条 本商工会議所に、議員総会を置く。</p> <p>(略)</p> <p>5 第33条第9項各号 <u>(資格)</u> の一に該当する者は第2項の議員又は前項の議員の職務を行う者となることができない。</p> <p>(略)</p>
	<p><u>附則</u></p> <p><u>(実施の時期)</u></p> <p>1 第10条（会員の資格）、第22条（特別会員）、第33条（役員の任免）、第35条（議員総会及び議員）の改正規定は令和2年3月27日から実施する。</p>

2. 組織

(1) 会 員

ア 会員数

(ア) 会員数

(令和2年3月31日現在)

区 分	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
個 人	673	57	22	708
法 人	2,411	68	129	2,350
団 体	78	0	19	59
計	3,162	125	170	3,117

年度別会員入退会者明細

(令和2年3月31日現在)

年 度 (4/1~3/31)	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
平成 12	3,374	78	151	3,301
13	3,301	175	170	3,306
14	3,306	171	120	3,357
15	3,357	160	157	3,360
16	3,360	141	157	3,344
17	3,344	226	142	3,428
18	3,428	122	150	3,400
19	3,400	143	172	3,371
20	3,371	135	170	3,336
21	3,336	108	163	3,281
22	3,281	138	122	3,297
23	3,297	143	152	3,288
24	3,288	157	139	3,306
25	3,306	122	185	3,243
26	3,243	116	221	3,138
27	3,138	108	141	3,105
28	3,105	135	132	3,108
29	3,108	132	141	3,099
30	3,099	190	127	3,162
令和 元	3,162	125	170	3,117

(イ) 業種別会員数

(令和2年3月31日現在)

業 種 別	会員数	業 種 別	会員数	業 種 別	会員数
商 業		観光・飲食		信用組合	1
小 売	444	ホテル・旅館	103	質 屋	2
卸	148	土 産 品 店	35	貸 金 業	4
新聞販売	2	飲 食 店	277	証 券 業	5
木材建材	20	寿 司	15	生 命 保 険	7
カメラ店	0	喫 茶	19	損 害 保 険	9
理 容	9	弁 当 製 造	7	保 険 代 理 業	23
美 容	41	団 体	13	事 業 組 合	6
遊 技 場	1	そ の 他	78	税 務 事 務 所	44
浴 場	2	計	547	法 律 事 務 所	15
貸 ビ ル	22	建 設		医 師	15
クリーニング	12	土 木 ・ 建 築	236	団 体 ・ そ の 他	19
警 備 会 社	3	電 気 工 事	73	そ の 他	232
そ の 他	163	水 道 管 工 事	56	計	433
計	867	室 内 装 飾	14	交 通 運 輸	
工業ものづくり		左 官	11	旅 客 輸 送	16
機械製・加工	45	鉄 工 建 設	14	貨 物 運 輸 倉 庫	49
写真関連	7	冷 暖 房 工 事	14	自 動 車 整 備	32
自動車部品製造	19	瓦 ・ タ イ ル	4	事 業 団 体	4
食 品	52	造 園 業	27	ガソリンスタンド	4
印刷・製本	15	塗 装 業	37	自 動 車 販 売	37
電気・電子	14	不 動 産 業	89	そ の 他	38
製紙・紙器	18	測 量 ・ 設 計	25	計	180
鉄工・鋼材	14	建 具	19	合 計	3,117
化学・光学	23	石 材	6		
薬品・化粧品	11	ビ ル ・ 清 掃	27		
精密機械	21	団 体 ・ そ の 他	56		
繊維・寝具	2	計	708		
公共事業	6	金 融 庶 業			
木製品・加工	36	普 通 銀 行	19		
そ の 他	99	信 託 銀 行	1		
計	382	信 用 金 庫	31		

(ウ) 地域別・部会別会員

(令和2年3月31日現在)

地区	部会	商 業	工 業 ものづくり	観 光 飲 食	建 設	金 融 業 庶 業	交 通 運 輸	合 計
栄	町	191	13	93	37	67	5	406
浜	町	24	15	6	9	8	11	73
本	町	44	19	27	16	33	1	140
南	町	20	2	4	4	6	0	36
川 東 地 区		162	82	42	176	62	49	573
川 西 地 区		273	173	99	304	124	87	1,060
箱	根	82	16	253	78	14	9	452
湯 河 原		12	1	5	8	8	0	34
足 柄 上		21	31	7	33	20	10	122
南 足 柄 市		10	19	3	30	16	5	83
そ の 他		28	11	8	13	75	3	138
計		867	382	547	708	433	180	3,117

イ 委員会・協議会等

(ア) 特別委員会 (令和元年10月31日迄)

特別委員会名	委員数	活 動 内 容
会 員 増 強	13名	会員増強に関する事項並びに会員サービスの検討
エネルギー・環境	11名	会員事業所の省エネ・再生可能エネルギーの普及・啓発
中心市街地活性化	15名	中心市街地エリアに特化した活性化策の検討
防 災	15名	防災に関する課題の集約と解決策の検討
雇 用 開 発	10名	雇用のミスマッチ解消に向けた事業の展開
まちづくりビジョン	12名	中心市街地エリアの「現代版城下町」と郊外エリアの「いのち輝く自然との共生」をより具体化させた中項目について検討
中 長 期 ビ ジ ョ ン	12名	より多くの会員の意見を取り入れ、小田原・箱根の産業を見据えて商工会議所のあるべき姿を議論する

(イ) 委員会（令和元年11月1日以降）

委員会名	委員数	活動内容
会員増強	18名	会員増強に関する事項並びに会員サービスの検討
エネルギー・環境	17名	会員事業所の省エネ・再生可能エネルギーの普及・啓発
観光振興	17名	台風被害からの復旧・復興支援、当地域への誘客活動の推進
防災	17名	行政・自治体との連携した取組、BCPの啓発
まちづくり	19名	まちづくりの方策についての情報収集、活性化策の検討

(2) 特定商工業者

令和元年度特定商工業者（平成31年4月1日、基準日現在において6月以上引き続き当所管内である小田原市・箱根町に営業所等を有する商工業者のうち、地区内の営業所等で常時使用する従業員の数が20人〔商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については、5人〕以上であるか、資本金額又は払込済出資総額が300万円以上の事業所）の数は次の通り。

区分	特定商工業者数	内訳	
		会員数	非会員数
個人	187	186	1
法人	1,948	1,837	111
計	2,135	2,023	112

(3) 役員

ア 令和2年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数
会頭	1名	1名
副会頭	4名	4名
専務理事	1名	1名
常議員	30名	30名
監事	3名	3名

イ 令和2年3月31日現在の役員氏名、企業の名称、企業上の地位

（電話の市外局番について・・・当所管内のうち、箱根全域は「0460」、その他の区域は「0465」）

役名	議員種類	氏名	事業所名	役職名	所在地	電話
会頭	2号	鈴木 倝介	(株) 鈴 廣 蒲 鉦 本 店	代表取締役	小田原市風祭245	24-3141
副会頭	3号	古川 武法	(株) 古 川	代表取締役会長	小田原市寿町1-2-32	34-9101
副会頭	3号	鈴木 茂男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理事長	箱根町湯本211-1	85-5571
副会頭	3号	秋葉 勝彦	さがみ信用金庫	理事長	小田原市本町2-9-25	24-3161

役名	議員種類	氏名	事業所名	役職名	所在地	電話
副会頭	2号	久津間康允	久津間製粉(株)	代表取締役会長	小田原市久野2358	34-1157
専務理事		山岡弘	小田原箱根商工会議所	専務理事	小田原市城内1-21	23-1811
常議員	2号	岩瀬忠司	岩瀬不動産(有)	代表取締役	小田原市鴨宮692	49-6077
常議員	2号	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役	小田原市久野111	35-3739
常議員	3号	飯沼寛雄	(株)東華軒	会長	小田原市西酒匂1-3-54	47-3171
常議員	3号	瀬戸良幸	瀬戸建設(株)	代表取締役	小田原市久野2267	34-7711
常議員	2号	山本博文	(株)横浜銀行小田原支店	理事支店長	小田原市栄町2-7-36	22-2131
常議員	3号	府川光夫	箱根登山鉄道(株)	取締役社長	小田原市城山1-15-1	32-6821
常議員	2号	河野利光	(株)花政	取締役会長	小田原市栄町2-11-23	23-1616
常議員	3号	神戸洋一	(株)小田原百貨店	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-8	23-2234
常議員	2号	丸田茂晴	小田原市商店街連合会	会長	小田原市城内1-21	22-5961
常議員	2号	米山典行	(株)小田原魚市場	代表取締役社長	小田原市早川1-10-1	22-8131
常議員	2号	大島啓介	(株)ダイドーフォワード	顧問	小田原市中里208	47-4479
常議員	2号	中戸川洋	(株)中戸川	代表取締役	小田原市栄町1-16-5	22-4575
常議員	2号	高橋台一	(株)菜の花	取締役会長	小田原市南町1-5-22	22-5528
常議員	2号	栗田康宏	(株)アイ・プラン	代表取締役	小田原市栄町2-2-5	23-4709
常議員	1号	清康夫	(株)フジミ	取締役会長	小田原市鬼柳184-5	36-2273
常議員	3号	金武哲史	富士フィルム(株)	材料生産本部長	小田原市扇町2-12-1	32-2111
常議員	3号	馬場俊之	花王(株)小田原事業場	事業場代表・小田原工場長	小田原市寿町5-3-28	34-6111
常議員	3号	宮島豊	アサヒビール(株)神奈川工場	理事神奈川工場長	南足柄市怒田1223	72-3810
常議員	2号	田代勇生	(株)丸う田代	代表取締役	小田原市浜町3-6-13	22-9221
常議員	2号	原正樹	小田原ガス(株)	取締役社長	小田原市扇町1-30-13	34-6101
常議員	1号	渡辺学	Meiji Seikaファルマ(株)小田原工場	工場長	小田原市鴨宮1056	47-4111
常議員	1号	市川聡	サンネット(株)	代表取締役社長	小田原市栄町1-6-1	22-9707
常議員	3号	勝俣伸	富士屋ホテル(株)	代表取締役社長	箱根町宮ノ下359	82-0677
常議員	3号	椎野雅之	(株)しいの食品	代表取締役	小田原市成田939	36-5511
常議員	2号	譲原彰	譲原建設(株)	代表取締役	小田原市小八幡3-12-23	47-3151
常議員	2号	倉田雅史	(株)東海ビルメンテナンス	代表取締役	小田原市本町1-13-6	23-4114
常議員	2号	藤井香大	(有)小田原不動産	代表取締役	小田原市栄町2-11-8	22-8333
常議員	2号	芝京子	(株)アーキテクトホンダ	代表取締役	箱根町宮ノ下111-5	82-5437
常議員	2号	相原金太郎	相原興業(株)	代表取締役会長	小田原市扇町4-7-30	34-8322
常議員	1号	奥山恵子	(株)まるだい運輸倉庫	代表取締役社長	小田原市成田480-5	37-8611
監事		神戸和男	(株)エーワ	代表取締役会長	小田原市南町2-1-23	23-3016
監事		大田和俊彦	大田和俊彦事務所	公認会計士・税理士	小田原市本町2-3-24	23-0222
監事		田中秀明	(有)新玉製作所	代表取締役会長	小田原市飯泉861-1	48-3322
名誉会頭		原義明				

(4) 議 員

ア 令和2年3月31日現在の各号議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	46	46
2 号 議 員	31	31
3 号 議 員	13	13
計	90	90

イ 令和2年3月31日現在の各号議員の氏名、企業の名称、企業上の地位、企業の種類

(電話の市外局番について・・・当所管内のうち、箱根全域は「0460」、その他の区域は「0465」)

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	企 業 の 種 類	所 在 地	電 話
1号	清 康 夫	(株) フ ジ ミ	取締役会長	塗 料 卸 売 業	小田原市鬼柳184-5	36-2273
1号	渡 辺 学	MeijiSeikaファルマ(株)小田原工場	工 場 長	薬 品 製 造 業	小田原市鴨宮1056	47-4111
1号	市 川 聡	サ ン ネ ッ ト (株)	代表取締役社長	システム・ソフトウェア開発・ 受託計算サービス他	小田原市栄町1-6-1	22-9707
1号	奥 山 恵 子	(株)まるだい運輸倉庫	代表取締役社長	運 輸 倉 庫 業	小田原市成田480-5	37-8611
1号	小 川 勝 久	(株)ハ イ ・ テ ッ ク	代表取締役	空調工事、電動機器の メンテナンス及び工事	小田原市西酒匂2-7-17	47-8381
1号	古 川 剛 士	湘 南 電 力 (株)	代表取締役副社長	電 力 供 給	小田原市扇町1-30-13	34-9105
1号	瀬 戸 互	(株)小田原ジムキ	代表取締役	カラーコピー・パソコン関連 スチール家具・文具販売	小田原市浜町1-2-5	23-0105
1号	北 川 淳	(株)NTT東日本一南関東 神奈川事業部神奈川西支店	西湘営業支店長	地 域 電 気 通 信 業	小田原市栄町1-14-28	27-0016
1号	杉 崎 勝 成	(株)杉崎工務店	代表取締役	建 築 事 業	小田原市寿町4-9-26	34-8914
1号	秋 山 隆	(株)秋山設計	取締役会長	測 量 、 建 設 設 計	小田原市下新田220-3	48-9955
1号	杉 崎 正 章	西湘ビルメンテナンス協同組合	代 表 理 事	ビ ^ル メンテナンス業 務の共同受注	小田原市風祭106-1	22-5825
1号	五十嵐 秀	小田急箱根ホールディングス(株)	代表取締役社長	運 輸 業	小田原市城山1-15-1	32-6800
1号	佐々木秀樹	日本新薬(株)小田原総合製剤工場	執行役員工場長	医 薬 品 製 造 業	小田原市桑原676-1	36-4111
1号	三 宅 常 公	(株)アベストミヤケ	代表取締役会長	携 帯 電 話 販 売	小田原市本町1-4-4	21-3116
1号	太 田 忠	(株)太田機械	代表取締役	省 力 化 機 械 設 計 製 作	小田原市寿町4-2-24	35-1556
1号	鈴木大介	(有)オーイーシー	取 締 役	環 境 関 連 物 品 販 売	小田原市寿町1-1-12	35-9598
1号	木村忠彦	ライオン(株)小田原工場	工 場 長	歯 磨 け 剤 ・ 化 粧 品 ・ 薬 品 製 造 業	小田原市田島100	47-4151
1号	岩田正崔	箱根ガラスの森美術館	館 長	美術館・ガラス製品 販売・レストラン業	箱根町仙石原940-48	86-3111
1号	田嶋政嗣	ヤ オ マ サ (株)	代表取締役社長	食 品 ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	小田原市前川183-13	47-8000
1号	櫻井泰行	(有)タイコー	代表取締役	建 築 設 計 ・ 監 理 ・ 商 業 コ ン サ ル タ ン ト	小田原市中町1-15-13	21-0017
1号	小川和夫	(有)ケーオーハウジング	代表取締役	不 動 産 代 理 業 ・ 仲 介 業	小田原市南鴨宮1-11-13	49-6922
1号	高橋修	(株)丸 高	代表取締役	食 肉 全 般 ・ 惣 菜 ・ 弁 当 製 造 販 売	小田原市栄町2-3-15	22-4181
1号	金井俊典	(有)小田原種秀	代表取締役	和 菓 子 製 造 販 売 房 も な か 専 門 工 房	小田原市本町4-1-18	22-6238
1号	山岸功治	山 岸 (株)	代表取締役社長	紙 器 ・ 段 ボ ー ル 箱 ・ パ レ ッ ト 製 造 業	小田原市鬼柳203-18	37-5501
1号	久保田精一	(株)ジェイコム湘南・神奈川小田原局	局 長	都 市 型 ケ ー ブ ル テ レ ビ 事 業	小田原市板橋888	23-7860
1号	高橋眞己	万葉倶楽部(株)	専務取締役	温 泉 施 設 運 営 業 不 動 産 業	小田原市栄町1-14-48	21-6628

議員	氏名	企業の名称	地位	企業の種類	所在地	電話
1号	杉山雅明	小田原蒲鉾協同組合	理事長	蒲鉾製造同業組合	小田原市本町3-4-17	22-4068
1号	高井哲也	(株) マ ル ク	代表取締役	衣料品企画・製造業	小田原市本町2-4-23	23-0909
1号	野原彰二	平安レイサービス(株)	冠婚統括総支配人	冠婚葬祭・介護事業	小田原市扇町4-8-28	34-2241
1号	田村洋一	(株) 田むら銀かつ亭	代表取締役	飲食店	箱根町強羅1300-573	82-1440
1号	高杉尚男	(公社) 神奈川県宅地建物取引業協会 小田原支部	支部長	同業団体	小田原市栄町1-5-1	23-3543
1号	鈴木千秋	富士ゼロックス(株)竹松事業所	執行役員 竹松事業所長	事務用機械器具製造業	南足柄市竹松1600	74-3111
1号	中村浩二	(株) ミクニ小田原事業所	小田原事業所長	自動車部品製造	小田原市久野2480	35-1111
1号	稲垣宏之	日本通運(株) 神奈川西支店	支店長	一般貨物運送	中井町境440	80-1722
1号	樋口敦士	H a m e e (株)	代表取締役社長	携帯ストラップ・ジュエリー・おもしろ雑貨のネット通販	小田原市栄町2-12-10	22-8064
1号	井島章博	(有) 井島商店	代表取締役社長	酒類・食料品卸・小売	箱根町湯本637	85-5328
1号	里見昌宏	(株) 稲妻屋	代表取締役社長	紙・文房具小売業	小田原市寿町2-5-20	35-5050
1号	木村隆也	(有) アリスマリアン	代表取締役	子供服販売	小田原市井細田616	49-8123
1号	鈴木達之	司建設(株)	代表取締役	一般土木建築工事業	小田原市北ノ窪452	32-3232
1号	中村正実	(株) ダイトー建設不動産	代表取締役	不動産売買・仲介等	小田原市栢山506-1	39-3388
1号	常盤紳一	(株) 常盤製作所	代表取締役	産業用設備機械の設計・制作	小田原市寿町4-2-2	35-1441
1号	金宮弘文	カナミヤ食品(株)	代表取締役	食肉卸売業	小田原市鬼柳184-6	38-2985
1号	露木清勝	(株) 露木木工所	代表取締役	寄木細工製造	小田原市早川2-2-15	22-5995
1号	石田昌宏	文化堂印刷(株)	常務執行役員	商業印刷全般	小田原市寿町1-10-20	34-9206
1号	柴田直明	(株) アールワンロジ	代表取締役	一般貨物・軽貨物運送業、梱包発送作業請負	小田原市浜町1-1-42	20-3377
1号	阿部正弘	(株) 阿部製作所	代表取締役	プレス加工サービス	小田原市成田941	38-2300

以上、1号議員46名

議員	氏名	企業の名称	地位	企業の種類	所在地	電話
2号	鈴木悌介	(株) 鈴廣蒲鉾本店	代表取締役	蒲鉾製造・販売	小田原市風祭245	24-3141
2号	久津間康允	久津間製粉(株)	代表取締役会長	そば粉製粉、小麦粉他、食品卸販売	小田原市久野2358	34-1157
2号	岩瀬忠司	岩瀬不動産(有)	代表取締役	貸ビル・アパート・駐車場管理	小田原市鴨宮692	49-6077
2号	河野利光	(株) 花政	取締役会長	生花(切花)・鉢花・花器・園芸関連商品販売	小田原市栄町2-11-23	23-1616
2号	丸田茂晴	小田原市商店街連合会	会長	同業団体	小田原市城内1-21	22-5961
2号	米山典行	(株) 小田原魚市場	代表取締役社長	鮮魚市場	小田原市早川1-10-1	22-8131
2号	大嶋啓介	(株) ダイドーフォワード	顧問	不動産管理・テナント管理	小田原市中里208	47-4479
2号	中戸川洋	(株) 中戸川	代表取締役	服飾・洋裁材料・繊維製品販売	小田原市栄町1-16-5	22-4575
2号	高橋台一	(株) 菜の花	取締役会長	菓子製造・販売	小田原市南町1-5-22	22-5528
2号	栗田康宏	(株) アイ・プラン	代表取締役	衣料品販売、飲食業	小田原市栄町2-2-5	23-4709
2号	小西正宏	(株) 中村屋	取締役会長	百貨店、総合スーパー	小田原市栄町1-5-22	24-2211
2号	伊藤誠朗	(株) イトーヨーカ堂小田原店	店長	百貨小売業	小田原市中里296-1	49-6611
2号	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役	亜鉛、アルミダイカスト製品	小田原市久野111	35-3739
2号	田代勇生	(株) 丸う田代	代表取締役	蒲鉾製造・販売	小田原市浜町3-6-13	22-9221

議員	氏名	企業の名称	地位	企業の種類	所在地	電話
2号	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	取締役社長	ガ ス 供 給	小田原市扇町1-30-13	34-6101
2号	丸 山 岳 人	三菱ガス化学(株)山北工場	工 場 長	化 学 工 業	山北町岸950	75-1111
2号	相 内 ゆ か	東京電力パワーグリッド(株) 小 田 原 支 社	小田原支社長	電 気 業	小田原市本町1-9-25	24-4461
2号	峠 千 秋	(株) 峠 製 作 所	代表取締役会長	機 械 製 造 業	小田原市寿町1-5-3	35-8783
2号	井 上 画 期	(株) プ リ ン ス ホ テ ル	執 行 役 員 統 括 総 支 配 人	観 光 事 業	箱根町元箱根144	83-1111
2号	石 村 隆 生	奥 箱 根 観 光 (株)	代表取締役社長	観 光 土 産 品 販 売 食 堂 ・ 旅 館	箱根町仙石原1251	84-9605
2号	新 田 栄 一	(有) だ る ま 料 理 店	常務取締役	日 本 料 理 店	小田原市本町2-1-30	22-4128
2号	譲 原 彰	譲 原 建 設 (株)	代表取締役	建 設 業	小田原市小八幡3-12-23	47-3151
2号	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代表取締役	設 備 ・ 環 境 衛 生 管 理、 警 備、そ の 他 サ ー ビ ス 業 務	小田原市本町1-13-6	23-4114
2号	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代表取締役	宅 地 建 物 取 引 業	小田原市栄町2-11-8	22-8333
2号	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代表取締役	建 築 設 計	箱根町宮ノ下111-5	82-5437
2号	勝 俣 徳 彦	(株) 勝 俣 組	代表取締役	一 般 土 木 建 築 工 事 業	箱根町宮城野913	82-3321
2号	勝 俣 昭 彦	箱 根 建 設 (株)	代表取締役	土 木 建 築 工 事 業	箱根町仙石原126	84-7711
2号	山 本 博 文	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	理事支店長	金 融 業	小田原市栄町2-7-36	22-2131
2号	江 成 健 一	税 理 士 法 人 エ ナ リ	社員税理士	税 理 士 業	小田原市城山3-25-23	24-3311
2号	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	代表取締役会長	ガ ン 油 小 売 卸 売	小田原市扇町4-7-30	34-8322
2号	斎 藤 清 孝	伊 豆 箱 根 鉄 道 (株) 大 雄 山 線 管 理 所	管 区 長	交 通 運 輸 業	小田原市栄町1-1-5	22-9171

以上、2号議員31名

議員	氏名	企業の名称	地位	企業の種類	所在地	電話
3号	神 戸 洋 一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長	食 料 品 ・ 雑 貨 販 売	小田原市栄町2-7-8	23-2234
3号	金 武 哲 史	富 士 フ ィ ル ム (株)	材 料 生 産 本 部 本 部 長	一 般 産 業 用 写 真 感 光 材 料 W V / C V フ ィ ル ム 記 録 メ デ ィ ア 製 造	小田原市扇町2-12-1	32-2111
3号	馬 場 俊 之	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場	事 業 場 代 表 ・ 小 田 原 工 場 長	化 粧 品 製 造 販 売	小田原市寿町5-3-28	34-6111
3号	宮 島 豊	ア サ ヒ ビ ー ル (株) 神 奈 川 工 場	理 事 神 奈 川 工 場 長	ビ ー ル 製 造 業	南足柄市怒田1223	72-3810
3号	古 川 武 法	(株) 古 川	代表取締役会長	エ ネ ル ギ ー 関 連 事 業	小田原市寿町1-2-32	34-9101
3号	鈴 木 茂 男	箱 根 温 泉 旅 館 ホ テ ル 協 同 組 合	理 事 長	協 同 組 合	箱根町湯本211-1	85-5571
3号	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長	弁 当 製 販	小田原市西酒匂1-3-54	47-3171
3号	勝 俣 伸	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代表取締役社長	ホ テ ル ・ レ ス ト ラ ン ・ ゴ ル フ 場 経 営	箱根町宮ノ下359	82-0677
3号	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代表取締役	食 品 製 造	小田原市成田939	36-5511
3号	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代表取締役	総 合 建 設 業	小田原市久野2267	34-7711
3号	秋 葉 勝 彦	さ が み 信 用 金 庫	理 事 長	金 融 業	小田原市本町2-9-25	24-3161
3号	井 上 一	学 校 法 人 国 際 学 園 (星 槎 大 学)	理 事	学 校 法 人	箱根町仙石原817-255	83-8202
3号	府 川 光 夫	箱 根 登 山 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	旅 客 運 輸 業	小田原市城山1-15-1	32-6821

以上、3号議員13名

ウ その他参考事項 年度内における異動（職務執行者変更）

役職名	企業の名称	新役員・議員	旧役員・議員
常 議 員	Meiji Seikaファルマ(株)小田原工場	渡 辺 学	大 西 雅 己
議 員	日 本 通 運 (株) 神 奈 川 西 支 店	稲 垣 宏 之	東 順 治

エ 新任役員

(副会頭) 久津間康允 久津間製粉(株) 代表取締役会長
 (常議員) 河野 利光 (株)花政 取締役会長
 (常議員) 丸田 茂晴 小田原市商店街連合会 会長
 (常議員) 栗田 康宏 (株)アイ・プラン 代表取締役
 (常議員) 清 康夫 (株)フジミ 取締役会長
 (常議員) 市川 聡 サンネット(株) 代表取締役社長
 (常議員) 芝 京子 (株)アーキテクトホンダ 代表取締役
 (監 事) 田中 秀明 (有)新玉製作所 代表取締役会長

オ 新任議員

(議 員) 古川 剛士 湘南電力(株) 代表取締役副社長
 (議 員) 杉崎 勝成 (株)杉崎工務店 代表取締役
 (議 員) 久保田精一 (株)ジェイコム湘南・神奈川小田原局 局長
 (議 員) 田村 洋一 (株)田むら銀かつ亭 代表取締役
 (議 員) 樋口 敦士 Hamee(株) 代表取締役社長
 (議 員) 柴田 直明 (株)アールワンロジ 代表取締役
 (議 員) 阿部 正弘 (株)阿部製作所 代表取締役

カ 退任役員

(副会頭) 河野 利光 (株)花政 取締役会長
 (常議員) 金宮 弘文 カナミヤ食品(株) 代表取締役
 (常議員) 石綿 正道 小田原市商店街連合会 副会長
 (常議員) 清 康夫 小田原卸商業団地協同組合 顧問
 (常議員) 丸田 茂晴 (株)マルタ 代表取締役
 (常議員) 久津間康允 久津間製粉(株) 代表取締役会長
 (常議員) 櫻井 泰行 (有)タイコー 代表取締役
 (監 事) 劔持 岩夫 湘南リビングセンター(株) 代表取締役

キ 退任議員

(議 員) 清 元秀 (株)フジミ 代表取締役
 (議 員) 渡部 伸也 (株)日立製作所システム&サービスビジネス統括本部 人事部担当部長
 (議 員) 杉山 和美 (株)興電社 代表取締役
 (議 員) 高田 喜好 (有)小田原保険サービス 代表取締役
 (議 員) 川久保暉勇 (株)川久保組 代表取締役
 (議 員) 芦川 允洋 (株)大相 取締役会長
 (議 員) 露木 孝一 (有)木路 代表取締役

(5) 部会長等 (令和2年3月31日現在)

部会	役名	氏名	企業の名称	地位	業種
商業部会	部会長	岩瀬忠司	岩瀬不動産(有)	代表取締役	貸ビル・アパート・駐車場管理
	副部会長	神戸洋一	(株)小田原百貨店	代表取締役社長	食料品・雑貨販売
	〃	丸田茂晴	小田原市商店街連合会	会長	同業団体
	〃	米山典行	(株)小田原魚市場	代表取締役社長	鮮魚市場
工業ものづくり部会	部会長	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役	亜鉛、アルミダイカスト製品
	副部会長	金武哲史	富士フィルム(株)	材料生産本部長	一般/産業用写真感光材料 WV/CVフィルム 記録メディア製造
	〃	渡辺学	Meiji Seikaファルマ(株) 小田原工場	工場長	薬品製造業
	〃	田代勇生	(株)丸う田代	代表取締役	蒲鉾製造・販売
	〃	原正樹	小田原ガス(株)	取締役社長	ガス供給
観光飲食部会	部会長	飯沼寛雄	(株)東華軒	会長	弁当製販
	副部会長	勝俣伸	富士屋ホテル(株)	代表取締役社長	ホテル・レストラン・ゴルフ場経営
	〃	椎野雅之	(株)しいの食品	代表取締役	食品製造
	〃	井上画期	(株)プリンスホテル	執行役員 統括総支配人	観光事業
	〃	石村隆生	奥箱根観光(株)	代表取締役社長	観光土産品販売 食堂・旅館
	〃	新田栄一	(有)だるま料理店	常務取締役	日本料理店
建設部会	部会長	瀬戸良幸	瀬戸建設(株)	代表取締役	総合建設業
	副部会長	譲原彰	譲原建設(株)	代表取締役	建設業
	〃	倉田雅史	(株)東海ビルメンテナンス	代表取締役	設備・環境衛生管理 警備、その他サービス業務
	〃	藤井香大	(有)小田原不動産	代表取締役	宅地建物取引業
	〃	芝京子	(株)アーキテクトホンダ	代表取締役	建築設計
金融庶業部会	部会長	山本博文	(株)横浜銀行小田原支店	理事支店長	金融業
	副部会長	井上一	学校法人国際学園(星槎大学)	理事	学校法人
	〃	江成健一	税理士法人エナリ	社員税理士	税理士業
	〃	久保田精一	(株)ジェイコム湘南・神奈川小田原局	局長	都市型ケーブルテレビ事業
	〃	加藤正晃	さがみ信用金庫	常務理事	金融業
交通運輸部会	部会長	府川光夫	箱根登山鉄道(株)	取締役社長	旅客運輸業
	副部会長	相原金太郎	相原興業(株)	代表取締役会長	ガソリンスタンド・燃料小売卸売
	〃	斎藤清孝	伊豆箱根鉄道(株) 大雄山線管理	管区長	交通運輸業
	〃	稲垣宏之	日本通運(株)神奈川西支店	支店長	一般貨物運送
	〃	奥山恵子	(株)まるだい運輸倉庫	代表取締役社長	運輸倉庫業
	〃	五十嵐秀	小田急箱根ホールディングス(株)	代表取締役社長	運輸業
	〃	柴田直明	(株)オールワンロジ	代表取締役	一般貨物・軽貨物運送業、 梱包発送作業請負

(6) 委員長等

ア 特別委員会（令和元年10月31日迄）

委員会名	委員長名	企業の名称	地位	業種
会員増強	高田 喜好	(有)小田原保険サービス	代表取締役	保 険 業
エネルギー・環境	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	取締役社長	ガ ス 供 給
中心市街地活性化	栗 田 康 宏	(株)アイ・プラン	代表取締役	衣料品販売、飲食業
防 災	倉 田 雅 史	(株)東海ビルメンテナンス	代表取締役	設備・環境衛生管理、警備、その他サービス業務
雇用開発	瀬戸 良幸	瀬戸 建 設 (株)	代表取締役	総 合 建 設 業
まちづくりビジョン	櫻井 泰行	(有) タ イ コ ー	代表取締役	建築設計・監理・商業コンサルタント
中長期ビジョン	鈴木 大介	(有)オーイーシー	取 締 役	環境関連物品販売

イ 委員会(令和元年11月1日以降)

委員会名	委員長名	企業の名称	地位	業種
会員増強	瀬戸 互	(株)小田原ジムキ	代表取締役	カラーコピー・パソコン関連、スチール家具・文具販売
エネルギー・環境	原 正 樹	小 田 原 ガ ス (株)	取締役社長	ガ ス 供 給
防 災	倉 田 雅 史	(株)東海ビルメンテナンス	代表取締役	設備・環境衛生管理、警備、その他サービス業務
まちづくり	高橋 修	(株)丸 高	代表取締役	食肉全般・惣菜・弁当製造販売
観光振興	田村 洋一	(株)田むら銀かつ亭	代表取締役	飲 食 店

ウ 小規模事業者経営改善資金融資審査会(委員5名)(令和2年3月31日現在の委員 ◎印 委員長)

	氏名	役職名
◎	古川 武法	小田原箱根商工会議所副会頭
	飯沼 寛雄	小田原箱根商工会議所常議員
	江成 健一	小田原箱根商工会議所議員
	川口 將明	箱根温泉旅館ホテル協同組合事務局長
	山岡 弘	小田原箱根商工会議所専務理事

エ 青年部（令和2年3月31日現在）

役名	氏名	事業所名	住所
会 長	加藤 千潮	日本郵便(株)小田原早川郵便局	小田原市早川173
副会長	大谷 真	大谷社会保険労務士事務所	小田原市扇町3-5-22-1
〃	小関 康一	行政書士法人小関事務所	小田原市東町5-8-7
〃	神尾 隆晴	セブンイレブン小田原飯泉店	小田原市飯泉1217-3

役名	氏名	事業所名	住所
〃	中嶋 順	n k j c o m b i n a t i o n	箱根町仙石原1100-15
〃	西山直樹	箱根ガラスの森美術館	箱根町仙石原940-48
〃	花岡重徳	(株) 工務ハナオカ	小田原市小八幡4-11-9

オ 女性会（令和2年3月31日現在）

役名	氏名	事業所名	住所
会 長	鈴木智恵子	鈴 廣 か ま ぼ こ (株)	小田原市風祭245
副 会 長	鈴木まがね	(株) 小 田 原 衛 生 工 業	小田原市寿町1-1-12

カ タスクフォース（令和元年10月31日迄）

委員会名	委員長名	企業 の 名 称	地 位	業 種
創 業 支 援	山居是文	(株) 旧 三 福 不 動 産	代表取締役	不動産代理業・仲介業
世界的スポーツイベント	古屋正広	—	—	—
観 光 振 興	田村洋一	(株) 田むら銀かつ亭	代表取締役	飲 食 店
森 里 川 海	古川剛士	(株) 古 川	代表取締役社長	エネルギー関連事業

キ タスクフォース（令和元年11月1日以降）

委員会名	委員長名	企業 の 名 称	地 位	業 種
気 候 変 動	古川剛士	(株) 古 川	代表取締役社長	エネルギー関連事業
TOKYO2020	鈴木 聖	シグマ精器(株)	代表取締役	医療機器の製造販売

3. 事務局

(1) 事務局の構成

部課名	所掌事務の概要	職員数
総務部	○庶務、経理、管理、共済事業及び他の所掌に属さない業務 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国・県・市・町等に対する意見具申、建議要望に関すること 2. 定款・規約・組織等に関すること 3. 庶務・人事・文書の収受発送、儀典事務 4. 会員の加入脱退、議員の選挙に関すること 5. 会員表彰式等の開催に関すること 6. 会員大会の開催に関すること 7. 会計並びに物品発注に関すること 8. 会館の運営管理に関すること 9. 法定台帳の作成運用に関すること 10. 共済事業・事務組合の管理運営 11. 広報の編集・刊行 12. 貿易関係証明に関すること ○議員総会、常議員会、委員会等の運営 ○商工技術検定業務に関すること <ol style="list-style-type: none"> 1. 珠算、簿記、日商ネット試験、福祉住環境コーディネーター、ビジネス実務法務 2. 日本珠算連盟小田原支部の運営 ○県西地域経済懇話会に関すること ○電算業務に関すること <ol style="list-style-type: none"> 1. 所内システムの管理運用 2. ホームページの管理運用に関すること 3. 業務の企画、調整、報告に関すること 	9人
中小企業相談部	○経営改善普及事業の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営改善に関する講習会、研修会、講演会等の開催 2. 経営革新支援・補助金申請支援 3. 貿易関係証明に関すること ○小規模事業者経営改善資金融資に関すること <ol style="list-style-type: none"> 1. 小規模事業者経営改善資金融資推薦 2. 各種制度融資の斡旋 ○窓口相談・巡回指導 <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営相談員、専門相談員による相談指導 2. 窓口相談・巡回指導 ○商工業及び中小企業の振興対策、流通対策、調査研究 <ol style="list-style-type: none"> 1. 商業・工業ものづくり・観光飲食・建設・金融産業・交通運輸部会の運営 2. 中心市街地活性化推進事業 3. 景気動向調査・流動客調査 4. 創業支援・事業承継事業 5. 雇用促進事業 6. 青年部・女性会の運営に関すること 	10人
	日本商工会議所へ出向	1人

(2) 事務局職員

ア 令和2年3月31日現在における事務局職員20名（含む経営相談員8名）

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理事兼事務局長	前場 潔	中小企業相談部長 兼箱根支部担当部長 (経営相談員)	古川 正治
総務課長	中矢 慎一	経営支援課長 (経営相談員)	長田 圭司
総務課係長	松下 智子	経営支援課長 (経営相談員)	本山 三男
総務課	近藤 朋子	経営支援課主任 (さがみ信用金庫より出向)	山口 圭
〃	露木 千夏	経営支援課係長 (経営相談員)	樋口 裕紀
〃	高橋 進	経営支援課 (経営相談員)	大川 修平
〃 (嘱託)	池谷 正美	〃	小林 大悟
〃 (パート)	平井 喜代	〃	飯田 順彦
〃 (パート)	山田 陽子	経営支援課 (副経営相談員)	米山 可純
日本商工会議所へ出向	井上 経	箱根支部 (経営相談員)	内田 信也

イ 職員数

区 分	専任職員	経営相談員	副相談員	計
男	6	8	0	14
女	5	0	1	6
計	11	8	1	20

ウ 非常勤嘱託

職 名	氏 名
弁護士	杉 崎 茂
弁理士	穂 坂 道子

4. 庶務

(1) 文書

令和元年度の取扱いは次の通り

発信文書数 212件

受信文書数 1,289件

(2) 表彰

ア 神奈川県優良小売店舗表彰

表彰者 神奈川県知事、神奈川県商工会議所連合会会頭

表彰日 令和元年11月14日

表彰場所 かながわ労働プラザ

神奈川県優良小売店舗表彰店

順不同

No.	店舗名	所在地・電話	業種
1	花政 本店	小田原市栄町2-11-23 0465-23-1616	生花・花器小売業
2	金指ウッドクラフト	箱根町畑宿180-1 0460-85-8477	寄木細工専門店

イ 第67回神奈川県優良産業人表彰

表彰者 神奈川県知事、神奈川県商工会議所連合会会頭

表彰日 令和2年2月7日

表彰場所 ロイヤルホールヨコハマ

神奈川県優良産業人被表彰者

順不同・敬称略

No.	氏名	事業所名
1	村上 昌子	花王(株)小田原事業場
2	佐藤 良則	佐藤 製材所
3	鈴木 一朗	富士屋 ホテル(株)
4	頼朝 浩	(有) 双馬 塗装
5	金子 美代子	(株) 横浜銀行大雄山支店
6	狩野 祐一	箱根登山鉄道(株)
7	及川 正巳	小田原珠算学院
8	小宮 克彦	小田原青果(株)
9	大森 賢二	(株) ハ シ モ ト

ウ 小田原市優良産業勤労者表彰

表彰者 小田原市長

表彰日 令和元年11月20日

表彰場所 おだわら市民交流センターUMECO

小田原市優良産業勤労者被表彰者

順不同・敬称略

No.	部 会	氏 名	事 業 所 名
1	商 業	小 野 浩 一	(株) 稲 妻 屋
2	商 業	石 川 淳 也	風 月 堂
3	商 業	古 澤 裕 美	栢 山 正 栄 堂
4	商 業	石 崎 昌 宏	(株) 井 上
5	商 業	木 村 理 恵	(株) 小 田 原 百 貨 店
6	商 業	佐 藤 純 子	(株) 小 田 原 百 貨 店
7	商 業	田 中 亮 子	(株) 花 政
8	商 業	赤 澤 恵 子	(有) ブ ラ ン ジ ェ 昇 平 堂
9	工業ものづくり	小 澤 裕 明	小 田 原 ガ ス (株)
10	工業ものづくり	中 村 亜 希 子	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場
11	工業ものづくり	志 村 明 規	(株) 鈴 廣 蒲 鉾 本 店
12	工業ものづくり	末 長 竜 二	ラ イ オ ン (株) 小 田 原 工 場
13	工業ものづくり	石 田 徹	相 日 防 災 (株)
14	工業ものづくり	桜 井 健 一	極 東 精 機 (株)
15	工業ものづくり	福 住 直 幸	Meiji Seikaファルマ(株)小田原工場
16	工業ものづくり	小 藤 田 恵 一	第一三共ケミカルファーマ(株)小田原工場
17	工業ものづくり	飯 野 直 枝	久 津 間 製 粉 (株)
18	工業ものづくり	池 谷 和 仁	(株) I K Y
19	工業ものづくり	鈴 木 孝 正	鈴 木 木 工 所
20	観 光 飲 食	角 田 恵 美 子	(有) だ る ま 料 理 店
21	観 光 飲 食	篠 塚 剛	(株) 小 田 原 鈴 廣
22	観 光 飲 食	一 寸 木 康 雅	(株) し い の 食 品
23	観 光 飲 食	上 田 啓 至	(株) 東 華 軒
24	建 設	尾 見 好 史	(株) 秋 山 組
25	建 設	柿 崎 享 子	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス
26	建 設	豊 田 伸 治	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス
27	建 設	山 口 昭 夫	瀬 戸 建 設 (株)
28	建 設	猪 野 良 一 郎	瀬 戸 建 設 (株)
29	金 融 庶 業	鈴 木 雅 子	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店
30	金 融 庶 業	荒 川 隆	臥 竜 治 療 院
31	金 融 庶 業	草 柳 恵	税 理 士 法 人 エ ナ リ
32	交 通 運 輸	磯 崎 浩 人	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫
33	交 通 運 輸	早 泉 正 太	昭 和 運 輸 倉 庫 (株)
34	交 通 運 輸	相 原 貴 子	相 原 興 業 (株)
35	交 通 運 輸	鈴 木 清 太 郎	箱 根 登 山 鉄 道 (株)

エ 小田原箱根商工会議所優良従業員表彰
 表彰者 小田原箱根商工会議所会頭
 表彰日 令和元年11月18日
 表彰場所 湯本富士屋ホテル
 被表彰者 58事業所の従業員257名

優良従業員被表彰者勤続年数別一覧表

年数別	5年以上	7年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上	合計
本年度	33	30	88	22	34	34	16	257
昨年度	38	28	90	24	29	26	24	259

オ 小田原箱根商工会議所優良産業人表彰
 表彰者 小田原箱根商工会議所会頭
 表彰日 令和元年11月18日
 表彰場所 湯本富士屋ホテル

優良産業人被表彰者 順不同・敬称略

No.	氏名	事業所名並び所在地	業種	営業年数
1	石川 勝也	風月堂 小田原市本町1-10-20	菓子卸販売業	50
2	三元 茂生	ミツモト理容館 小田原市早川186	理容業	38
3	平井 太一	平井商店 小田原市栄町1-2-1	観光土産品販売業	37

カ 小田原箱根商工会議所優良小売店舗表彰
 表彰者 小田原箱根商工会議所会頭
 表彰日 令和元年11月18日
 表彰場所 湯本富士屋ホテル

優良小売店舗表彰店 順不同

No.	店舗名	所在地・電話	業種
1	うらめし屋 平じ	小田原市栄町1-2-9 0465-23-3373	居酒屋
2	小田原F.B.C.	小田原市早川1-14-15 0465-22-5278	釣具小売業

No.	店 舗 名	所在地・電話	業 種
3	くつ屋さん	小田原市栄町1-14-48 0465-23-6010	婦人靴小売業
4	四季和膳 もえり	小田原市国府津2765-3 0465-47-9809	和食店
5	花政 本店	小田原市栄町2-11-23 0465-23-1616	生花・花器小売業
6	フロマージュ	小田原市中里185-17 0465-47-1911	洋菓子小売業
7	まるひの貝汁食堂 ひろそう	小田原市江之浦418-27 0465-29-1380	和食店
8	金指ウッドクラフト	箱根町畑宿180-1 0460-85-8477	寄木細工専門店
9	めし処 いなか家大地	箱根町仙石原75 0460-84-5585	飲食店
10	La Bazza	箱根町宮ノ下344 0460-87-9223	イタリアンレストラン

キ 会員増強功労者表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭
表 彰 日 令和元年11月18日
表彰場所 湯本富士屋ホテル

会員増強功労者被表彰者

順不同

No.	事 業 所 名
1	(株)宮下保険サービス
2	(有)はびねす
3	ハコネット(株)
4	日本郵便(株)小田原早川郵便局
5	三井住友海上火災保険(株)小田原支社

ク 功労役員・議員特別表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭
表 彰 日 令和元年11月18日
表彰場所 湯本富士屋ホテル

功労役員・議員特別被表彰者 順不同・敬称略(事業所名及び役職名は退任時)

No.	役名	氏名	事業所名・役職名
1	議員	高田 喜好	(有)小田原保険サービス 代表取締役
2	議員	杉山 和美	(株)興電社 代表取締役
3	議員	川久保 暉勇	(株)川久保組 代表取締役
4	常議員	丸田 茂晴	(株)マルタ 代表取締役
5	議員	芦川 允洋	(株)大相 取締役会長
6	常議員	清 康夫	小田原卸商業団地協同組合 顧問
7	監事	剣持 岩夫	湘南リビングセンター(株) 代表取締役
8	議員	清 元秀	(株)フジミ 代表取締役
9	議員	露木 孝一	(有)木路 代表取締役

(3) 受賞

ア 日本商工会議所会頭感謝状

受彰者 高田 喜好

(有)小田原保険サービス 代表取締役

杉山 和美

(株)興電社 代表取締役

川久保 暉勇

(株)川久保組 代表取締役

芦川 允洋

(株)大相 取締役会長

受彰日 令和元年11月18日(小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達)

イ 関東経済産業局長表彰

受彰者 相原 金太郎

相原興業(株) 代表取締役会長

受彰日 令和元年11月18日(小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達)

ウ 関東商工会議所連合会長表彰

受彰者 萩野 太郎

小田原コンサルティンググループ 代表

受彰日 令和元年11月18日(小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達)

(4) 慶弔 その他

月日	慶弔等の名称	開催場所
4/11	早川商工振興会 定時総会	早川公民館
4/8	常議員 藤井香大氏 ご母堂葬儀	
4/9	元常議員 福田光好氏 葬儀	
4/15	報徳二宮神社 例大祭	報徳二宮神社

月 日	慶 弔 等 の 名 称	開 催 場 所
4 / 19	神奈川県労務安全衛生協会小田原支部 定時総会	青色会館
4 / 28	元常議員 佐藤和二氏 葬儀	
5 / 21	小田原食品衛生協会 定期総会	おだわら市民交流センターUMECO
6 / 13	東京地方税理士会小田原支部 定期総会	湯本富士屋ホテル
6 / 14	(公社)小田原法人会 通常総会	湯本富士屋ホテル
6 / 20	(公社)小田原青色申告会 通常総会	青色会館
6 / 24	専務理事 山岡 弘 ご母堂葬儀	
7 / 11	北條氏政公・氏照公 墓前祭	北條氏政公・氏照公墓所
7 / 19	(株)ミクニ小田原事業所 2019年度納涼祭	ミクニ小田原事業所
7 / 31	芦ノ湖湖水祭	元箱根芦ノ湖畔
8 / 3	箱根宮ノ下観光協会 太閤ひょうたん祭り	菊花荘上駐車場
8 / 5	芦ノ湖鳥居焼きまつり	芦ノ湖畔
8 / 11	箱根大平台観光協会 大平台温泉姫まつり	箱根町大平台ふれあい広場
8 / 16	箱根強羅観光協会 箱根強羅夏まつり大文字焼	強羅地区
8 / 21	議員 川久保暉勇氏 葬儀	
9 / 11	ヤオマサ(株) 経営計画発表会	湯本富士屋ホテル
9 / 24	箱根町仙石原観光協会 箱根仙石原すすき祭り	箱根湿生花園駐車場
9 / 26	駅前第二区自治会公民館 披露式典	駅前第二区自治会公民館
9 / 26	うましゃルネ祭 オープニングセレモニー	小田原駅前東通り商店街
10 / 10	副会頭 古川武法氏 傷病見舞	
10 / 16	(株)丸う田代 小田原駅前店 オープン	丸う田代小田原駅前店
11 / 3	箱根湯本観光協会 箱根大名行列	箱根湯本温泉街
11 / 27	旭丘高等学校相撲部祝勝・祝賀・激励会	旭丘高等学校
1 / 6	(公社)小田原青年会議所 賀詞交歓会	湯本富士屋ホテル
1 / 7	箱根町 賀詞交換会	湯本富士屋ホテル
1 / 7	小田原市内官公署等新年交賀会	おだわら市民交流センターUMECO
1 / 8	箱根湯本芸能組合 新年祝賀会	湯本富士屋ホテル
1 / 9	東京地方税理士会小田原支部 賀詞交歓会	湯本富士屋ホテル
1 / 9	(一社)小田原市観光協会 新年賀詞交歓会	かまぼこの里
1 / 10	(一社)箱根物産連合会 会員合同新年会	だるま料理店
1 / 14	(公社)小田原青色申告会 賀詞交歓会	小田原青色会館
1 / 15	小田原市土木建設協同組合 新年賀詞交歓会	だるま料理店
1 / 20	(公社)小田原法人会 新年賀詞交歓会	湯本富士屋ホテル
1 / 21	小田原社会福祉協議会 新年賀詞交歓会	小田原市民会館
1 / 21	神奈川県宅地建物取引業協会小田原支部 賀詞交歓会	湯本富士屋ホテル
1 / 23	小田原蒲鉾協同組合 新年会	報徳会館
1 / 26	小田原市ラグビーフットボール協会 賀詞交歓会	湯本富士屋ホテル
1 / 27	湯河原町経済三団体 新年合同賀詞交歓会	湯河原観光会館
1 / 28	南足柄市商工会 新年会	南足柄市文化センター
1 / 30	小田原警察署武道始式／小田原警察署員を励ます会	小田原警察署
2 / 1	小田原梅まつり開園式	梅の里センター
2 / 2	元監事 劔持岩夫氏 葬儀	
2 / 3	松原神社節分追儺式	松原神社
2 / 3	報徳二宮神社 新年会	報徳会館
2 / 4	小田原市商店街連合会 新春懇親会	小田原お堀端万葉の湯
2 / 12	小田原食品衛生協会 創立70周年記念新春のつどい	湯本富士屋ホテル

5. 会 議

(1) 議員総会

ア 通常議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和元年6月28日（金） 15:00～16:30

2. 開催場所 ホテル南風荘

3. 出席者数（または出席者名）

(1) 議員

実出席者数 42名

委任状行使者数 42名

合 計 84名

議員定数 90名

(2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

(3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会 頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、古川武法、秋葉勝彦

専務理事 山岡 弘

(4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

(5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

令和元年6月4日、小田原箱根商工会議所において監事が前場理事事務局長及び担当者立会いの上、平成30年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であることを認めた。

4. 議 題 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件

第2号議案 平成30年度収支決算承認の件

第3号議案 常議員選任の件

5. 議事の概要

定刻（15:00）通り、山岡専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者42名、委任状行使者42名、計84名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山岡専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案と第2号議案を一括上程>

第1号議案である事業報告について、山岡専務理事から資料の事業報告書を基に説明した。

また、第2号議案である収支決算について、前場理事事務局長から資料の収支決算書及び収支決算（人件費抜粋）を説明した。

続いて監事を代表して、大田和監事から令和元年6月4日、小田原箱根商工会議所において監事会を開催し、監事が前場理事事務局長及び担当者立会いのもと監査を行ない、平成30年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であったことを報告した。

議長は第1号・第2号議案について、一括して出席者に諮りたるところ、賛成の拍手により異議無く承認された。

<議長、第3号議案を上程>

前場理事事務局長から、常議員の推薦について議員職務執行者の変更により、工業ものづくり部会からMeiji Seikaファルマ株式会社小田原工場の渡辺 学氏の推薦があったため、承認をいただきたいと説明した。

議長は第3号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手により異議無く承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認され、通常議員総会を終了した。

イ 臨時議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和元年8月23日（金） 15:30～16:30

2. 開催場所 鈴廣かまぼこの里 えれんなごっそ

3. 出席者数（または出席者名）

（1）議員

実出席者数 45名

委任状行使者数 35名

合計 80名

議員定数 90名

（2）議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

（3）議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会頭 鈴木悌介

副会頭 河野利光、鈴木茂男、古川武法、秋葉勝彦

専務理事 山岡 弘

（4）議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

4. 議 題

第1号議案 新会館整備計画（新会館予定物件購入）の件
第2号議案 令和元年度収支補正予算（案）承認の件

5. 議事の概要

定刻（15：30）通り、山岡専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者45名、委任状行使者35名、計80名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山岡専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

鈴木議員：冒頭よろしいか。1号議案についてですが、協議ではなくて審議なのか。

鈴木会頭：内容については専務理事から説明する。1号議案の要素である、ある物件の購入について審議をしていただく。この計画については、常議員会で承認されていることを報告した上で、このなかの大きな柱である物件の購入について審議いただく。

鈴木議員：この件は、何年も協議してきた。それを30分で審議して結論を出すのは拙速ではないのか。他団体に対しても、今月中に結論を出してほしいと打診があったと伺い、お盆を挟んだ時期でそんなことができるのかと。進め方がどうなのか。

<議長、第1号議案を上程>

第1号議案である新会館整備計画について、山岡専務理事から資料を基に説明した。

議長は出席者に意見を求めた。

石村議員：法人会の会長でもあり、店子でもある。重要な問題である。かなり拙速だという事がひとつ。ですから、8月中に結論を出せと言っても出せない。もうひとつは、サテライトと一緒に提案されていること。2つに分けるべき。購入の案とサテライト建設の案を2つに分けて検討するのなら理解できる。購入しながらサテライトもやるというのなら、資料にある余剰金は余剰金ではない。そういうことも含めて、はっきりしてもらわないと積極的に店子になろうと思わない。

鈴木会頭：現テナントとのやり取りについては、専務から説明する。全体の計画と、ビルを買うという事を分けることについては、昨年の9月にオービックビルの地権者から提案があり、一つの可能性として、今年3月に地権者と具体的な計画を結ぼうと協定書を交わした。その後全体意見を反映させるためプロジェクトチームを作り、7月までに計画案を作るということで検討していった。当初は地権者との共同事業とのことだったが、先方が地主に徹したいとの意向に変わったり、現会館の機能を有する建物を建築するには15億程度かかるため、それには資金が足りないとなった。現会館は市の土地にあり、無償である。地代が発生し、借入れが発生しとなったら、返済資金を捻出するのは難しいだろう。議論の結果、ここでの新会館の建設は難しいという結論になった。並行して、この物件の購入を検討してきた。まずはここに基本的な機能を移す。3億円以下で購入できるだろうから、積立資金を有効に使うという意味で、サテライトをこの規模の中でできることをやっていく。本館とサテライトというかたちで提案したのがこの新会館の整備計画である。7月26日の常議員会で全体の計画については承認。サテライトの具体的な計画を作っていく前段。これについてはきちんと検討機関を設けて、具体的な計画を作り、最終的にできるのか、できないのか、判断をしていく。今日は、いろいろな意見もあると思うが、会議所の大きなお金を使うことに

ついて、物件の購入について皆様に承認いただきたいという趣旨。

山岡 専理：テナントの皆様には、新会館に移った場合、こういった希望の面積があって、その中に納まるのかどうか把握したかったため、できれば8月中旬に判断をお願いしたいと伝えた。現状、日本政策金融公庫は、支店としても会議所と一緒に移転していきたいとのこと。但し、予算が通らないといけないため、時期は来年の4月以降とのこと。神奈川県信用保証協会は、本部から商工会議所と移転すると言ってもらった。小田原市観光協会は、移転を前提にテーブルにつきますとのこと。アクサ生命は、商工会議所移転と同時に移転できるよう頑張りますとのこと。法人会は、立地の問題が一番大きい。現時点では一緒にいけないとのこと。東京地方税理士会は、役員は会議所と一緒にとの前提でいてくれている。但し全会員にアンケートを実施してから結論を出すとのこと。

鈴木会頭：8月までに結論を出すのではなく、意向を伺いたかった。伝わり方が悪かったことはお詫びを申し上げたい。

石村議員：なぜ移転とサテライトがリンクしているのか。一緒に議論されるのは納得できない。

鈴木会頭：今回の新会館の件については、単純に古くなった事務所を移転させるだけで良いのかというのがスタート。会議所の役割を考えたら、開かれた会議所にするべきではないか、やはり街なかにきちっとした、色々な人が自由に入っていけるような場所が欲しい。そこでオービックビルの場所を活用するのもアイデアかなと思った。しかしながら、大きな資金が必要となるので、既存の建物を購入し基本的な機能を移した本館、そして開かれた商工会議所機能としての仮称サテライトを作ってはどうか。できれば、サテライト、本館が一つのセットで新しい会館、ビジネスセンターであることを伝えたかった。サテライトに関しては、具体的な収支については9月から新たな検討機関（以下：タスクフォース）を作って、具体的な計画を作っていく。サテライトができるのか、できないのかも含めて議論を進めていく。仮に、事業を揉んで、結論としてできないとなった時は、地権者に頭を下げるしかない。常議員会でも、サテライトについてはこれから計画を作って、最終的に諮りますとの前提で承認もらった。私としては、案件は2つかもかもしれないが、コンセプトは1つだと思っている。今日は、まず物件購入について承認をもらいたいとの趣旨で議論したい。

清 議員：会館建設については何年も検討してきた。現在の建物は古い。できるだけ早く購入し、テナントも一緒に移転して欲しい。サテライトは先に送って。まずは購入について賛同を得たい。

鈴木議員：私個人の意見として、拙速だという印象と、この物件、あまり魅力を感じなかった。今日結論を出すのは個人的には難しい。

藤井議員：常議員です。この件に関しては、常議員会で了解しているところもある。その際、いろいろな提案もし、質問もし、サテライトの見直しについてもいろいろあったはずなのに。私はサテライトについて今日この絵が出てくるとは思わなかった。もう1回戻しましょうという話があったと思う。これありきと感じられる。優建についても、このサテライトが本当に当てはまるかどうか疑問だ。それに関して

の答えがないところで、この提案の仕方についても疑問。市の都市計画をみると中心市街地活性化協議会の中でやる優良建築物ならよいが、小田原市には協議会もなく法律もないからできないのではという意見もある。事業を進めるにあたって、地元を使いましょうという話もした。不動産の仲介もどうでしょうかという話もした。それが実は入れないという話があり、宅建協会もそれは納得できないのではないかと。常議員会の話と、今日の話が違うのであれば賛同しかねる。

山岡事務長：優建の件については、先週オービックビルと商工会議所の両方に携わっているコンサルが小田原市に話をしに行ったところ、この計画は対象になると言われたとのこと。但し、そのためには来年には計画を立ててはいけませんが、今の段階でそのスケジュールはできない。仲介業者について確認したところ、すでに決まっております。そこは会議所の会員ではなかった。

藤井議員：オービックビルのコンサル。みんなで地域でお金を廻すという話があつて、我々もいろいろな工事をやっているのになぜ地元の宅建業者じゃないのかという疑問。みんなで考えるべきこと。賛否を取るのは難しい。建設部会等には専門な知識を持った者がいるので、間に入る仲介業者が会議所の会員ではないのはどうかと思う。

山岡事務長：弁護士は会員。仲介業者は現在会員でないが、入会をお願いします。

高杉議員：宅建協会は議員5名も輩出し、会議所に協力してきた。業界の会員ではない、これから入ってもらうという考えはおかしい。共同仲介という、我々のルールの中かでいくらでも業者は入ることができる。手数料を調整すればよい。宅建協会に話を持ってきてもらい、何らかの状態に関わらせてもらう。この事業をスムーズに、商工会議所の不利にならないように専門の窓口になること、ぜひ考えてもらいたい。

鈴木会頭：仲介業者についてはもう一度相談する。できるだけ宅建業界の方々が加わるようにしたい。具体的に契約という段階ではなく、これから先方との協議が始まっていく。今日は、物件の購入について承認がもらえないと具体的な検討もしていない。仲介については再度検討としたい。

田嶋議員：停止要件について教えて欲しい。分からないことが多すぎる。採算が合わないとはどういうことなのか。具体的に教えてもらわないと。決まってないことが多いなか進めていくのはどういうことか。

鈴木会頭：基本的な構想として、こうゆう考え方だと提案している。サテライト事業としてどうゆう採算性があるか、精査はこれから。

田嶋議員：これから案が出てくるのか。

鈴木会頭：その通り。9月から12月の会合の中で、皆さんから意見を頂戴し、タスクフォースの中で計画を作っていく。サテライトについては皆さんに諮っていく。

太田議員：今の会館の土地は更地にして返すのか。新会館の駐車場は購入か賃貸か。

山岡事務長：小田原市との契約では、移転と早期返還に努力する事となっている。契約が終了した時は原状復帰。ただし、市長が承認した場合はこの限りではないとある。駐車場は借りる予定。金額はまだ決まっていない。相場は五千円くらいではないかとの話はある。

鈴木会頭：新会館は1Fが駐車場。15台は停められる。信号を挟んだところの敷地に、こちらの希望通りの台数を借りられることになっている。

古川副会頭：今の会館は古くて危ない。新会館の取得のことを中心に考えて行かないとまとまらない。9月から新しいタスクフォースができるので、それにいろいろな意見のある方も入っていただき、決めていってはどうか。

鈴木会頭：今日は新会館の物件購入のことを決めたい。サテライトはこれからの議論に委ねる。

古川副会頭：宅建協会からもいろいろな意見があると思うが、こうゆう方向でやるということをお願いしたい。

鈴木会頭：サテライトについてはここで認めてもらうものではなく、全体を伝えたかった。

高杉議員：商工会議所なので我々会員を使ってほしい。

鈴木会頭：採決はどのようにするか。

久津間議員：挙手で。

議長が挙手を求めたところ、反対が3票、白票が3票であった。

ついては、新会館の物件購入について賛成多数で可決された。

<議長、第2号議案を上程>

中矢課長から、補助金の採択を受けことに伴う一般会計の補正予算について説明した。

議長は第2号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手により異議無く承認された。

以上、本日の議案は全て承認され、臨時議員総会を終了した。

ウ 臨時議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和元年11月1日（金） 15:00～16:03

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 ホール

3. 出席者数（または出席者名）

（1）議員

実出席者数 49名

委任状行使者数 35名

合計 84名

議員定数 90名

（2）議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

古川 武法 （第1号議案における議長）

鈴木 悌介 （第2号議案以降における議長）

（3）議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

（旧）会頭 鈴木悌介

副会頭 河野利光、鈴木茂男、古川武法、秋葉勝彦

専務理事 山岡 弘

(新) 会 頭 鈴木悌介
副会頭 鈴木茂男、古川武法、秋葉勝彦、久津間康允
専務理事 山岡 弘

(4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介 (会頭)

(5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

報告事項なし

4. 議 題
- 第1号議案 会頭選任の件
 - 第2号議案 副会頭選任の件
 - 第3号議案 専務理事選任の件
 - 第4号議案 常議員選任の件
 - 第5号議案 監事選任の件
 - 第6号議案 委員会設置の件

5. 議事の概要

定刻(15:00)に中矢課長の司会により開会。議員総会の冒頭に鈴木会頭の挨拶をいただくことを説明した。

<鈴木会頭の挨拶>

「まずは、今回の台風のことによって被害を受けられた会員の方にはお見舞いを申し上げます。そして私が会頭となって2期目最後の日です。早いもので6年が経ちました。振り返ってみますと何もできていないなど忸怩たる思いではありますが、同時に皆様から色々なご指導ご鞭撻をいただいたこと心からお礼申し上げます。

今期新たにスタートするにあたっては、最後まで慎重審議をお願いします。」

鈴木会頭の挨拶後、鈴木会頭・河野副会頭・鈴木副会頭・古川副会頭・秋葉副会頭は議員席へ、神戸監事・大田和監事・山岡専務理事も指定席へ移動した。

司会者から、本来であれば定款第40条第1項並びに第34条第3項の規程に基づき鈴木会頭が議長職務を行うことになっているが、本日は会頭選任の件が上程される予定があるため、鈴木会頭は議長職務を辞退されていることを報告した。

また、同じく司会者より、仮議長による議事進行を提案、選出方法について諮りたるところ、司会者一任との声があった。司会者は古川副会頭に依頼したい旨を諮ったところ、満場一致により異議なく承認された。

古川副会頭が仮議長となり、本日の臨時議員総会について令和元年10月31日に任期が満了した役員の改選を行うものであると説明があった。また、本日の議事録署名人について、鈴木会頭並びに新会頭を指名し、出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

<議長、第1号議案を上程>

仮議長から会頭の選出方法について出席者に諮りたるところ、議長一任との声があり、仮議長は常議員会の承認を受け選考委員会による選考を提案した。仮議長は、選考委員の人選について一任戴けるか諮ったところ、満場一致により異議なく承認された。これにより、選

考委員については商業部会 岩瀬議員、工業部会 内田議員、観光飲食部会 石村議員、建設部会 瀬戸議員、金融庶業部会 山本議員、交通運輸部会 相原議員の6名を各部会から指名した。なお、委員長については互選とし、別室において選考委員会を開催する。

==<この間、暫時休憩>==

選考委員会が終了し、仮議長は本会議を再開した。選考委員長となった内田議員から、会頭選考委員会を4階会頭室にて開催し、慎重審議し、全会一致で鈴木悌介氏に会頭をお願いしたいと報告があった。仮議長は出席者に諮り、満場一致により異議なく承認された。仮議長は鈴木悌介氏に、会頭就任を承諾するか否か求めたところ、本人は即時承諾した。

なお、被選任者は続いて以下の挨拶をした。

<鈴木会頭就任の挨拶>

「このたびは再びご信任をいただきまして、ありがとうございます。早いもので、会頭として3期7年目を迎えることになりました。浅学非才は承知の上ではありますが、これからも力を尽くしてまいります。

まずは、先月の台風で被害を受けられた会員の皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

酷暑、集中豪雨、頻発する台風など、確かに気候が変わってきていることを実感させる現象が身の回りで起きています。気候変動というちょっと前までは新聞紙上やTVの中の話だと思っていたことが現実になってきました。

ここ箱根でもその被害は、まだ、現在進行形ではありますが、想像を超えるものでした。箱根と一体の経済圏を成す麓の小田原への影響も小さくはありません。ハード面は早晩復旧し、安全な箱根が戻ってくるでしょうが、さらなる心配は「今回の被災地は箱根だけでない」ということです。つまり、関東、静岡、甲信越、東北など箱根の商圏のお客様が被災してしまっているということです。仮に箱根のハードが整っても、来てくれるお客様がいるかどうか懸念されるところです。さらに、観光をしている場合ではないというムードが漂い始めていることも気になります。

箱根への誘客、防災体制の見直しなど、即やらなくてはならないことがまったなしの状況の中、当所では行政、観光団体にも加わっていただいて全所組織横断的に立ち上げた「箱根活性化会議」を軸に、1. 正しい情報の収集、共有と発信 2. 誘客 3. 会員企業の経営支援の3本柱で活動しております。特に、会員企業の事業継続のため、特に資金繰りと雇用の面の支援に重点的に取り組んでおります。また、異常気象が頻発する昨今、自然災害はいつどこで起こっても不思議ではありません。自治会、行政と連携した会員事業所の防災体制の整備も急ぎお手伝いしてまいります。

最近の自然災害の多くが地球の温暖化による現象だとすれば、もはや異常気象ではなく常態化することになります。ということは、今回のような台風は何十年とかに一回という不運なことではなく、当たり前のようにまた繰り返すということです。起こったらどうするかという防犯体制の整備と併せ、繰り返すということを前提条件として受け入れての商売のあり方も考えていかななくてはならないでしょう。さらに、その先には、その原因である気候変動に対して企業として何ができるか？という大きな宿題があります。中小企業だから関係ないとか、できることはないと言っていられない状況だと思います。気候変動は既に他人事ではなく、ここにある自分事なのだと思います。何ができるか何をすべきかご一緒に考えてまいりましょう。

さて、足元に視線を戻します。商工会議所の一丁目一番地の責務は、会員企業の商売繁盛のお手伝いと認識しております。各種相談、専門家派遣、セミナーの開催等、会員企業の皆様方の経営支援については、会員の皆さんにとってもっと分かりやすく使いやすいように改善を図ってまいります。

私たち地域の中小規模企業は、必要とされる商品やサービスを提供し、雇用を創り、人を雇い、お給料を払い、という形で地域の経済を下支えしていると自負しております。ですから私たちが元気でないと地域も元気になりませんし、地域が元気でないと私たちも頑張れないという相関関係にあると思います。単なる規模の拡大がなかなか難しい今、大切なことは、地域での廻るお金を増やし、廻るスピードを上げること、つまり地域の経済循環の促進だと思えます。消費税増税に続いて、人手不足の中での働き方改革、事業承継、創業支援、「小田原箱根大博覧会」を通じての観光振興、再生可能エネルギーの地産地消、東京オリンピック・パラリンピックなどの国際的なスポーツイベントとの連携など、やるべきこと、やれることが山積みです。いかに地域の経済循環を促すことに資するかという視点で各事業に積極的に取り組んでまいります。さらに行政への提言、要望も商工会議所の重要な責務であります。

人口の減少、高齢化、少子化といった経済活動の基盤である社会構造の変化がいつそう進んでいきます。大変な時代だと言われます。「大変」とは大きく変わるチャンスとも読めます。それには歴史を経た知恵と新しい発想が必要です。様々な経験と知見を持った異業種の集まりである商工会議所が「つながり」を大切にし、まさに「議論して、行動して、結果を問う」時であると思えます。部会、女性会、青年部に加え、5つの委員会とタスクフォースのそれぞれの場で活発な議論が沸き上がるような組織運営を心掛けてまいります。

来秋には長年の課題でありました新しい会館への引っ越しも予定されています。気持ち新たにスタートを切ってまいります。ぜひ、これまで以上に当所へのご意見、ご指導、そして、ご参画をよろしくお願いいたします。」

仮議長は以後の議長を鈴木会頭に引き継ぎ、仮議長席より降壇する。鈴木会頭は議長となる。

<議長、第2号議案を上程>

議長から、副会頭の選任について定款第33条第2項により議員総会の同意を得て、会頭が会員のうちから選任することになっていると説明し、指名に同意を戴けるようお願いし、次の4名を指名する。

箱根温泉旅館ホテル協同組合	理事長	鈴木茂男氏
株古川	代表取締役会長	古川武法氏
さがみ信用金庫	理事長	秋葉勝彦氏
久津間製粉(株)	代表取締役会長	久津間康允氏

議長は以上の4名を出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

<議長、第3号議案を上程>

議長から、専務理事の選任について定款第33条第3項の規程により議員総会の同意を得て、会頭が選任することになっていると説明し、指名に同意を戴けるようお願いし、山岡弘氏を指名した。

議長は第3号議案を出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

<議長、第4号議案を上程>

議長から、常議員の選任について定款第33条第4項の規程により議員総会において議員のうちから選任することになっていると説明し、去る10月18日の常議員会において決定した各部会割当数に基づいた部会から候補者の推薦届出を報告した。

議長は候補者30名について出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

<議長、第5号議案を上程>

議長より、監事の選任について定款第33条第6項の規程により議員総会において会員のうちから選任することになっていると説明し、選出方法を出席者に諮りたるところ、議長一任との声により、議長は次の3名を指名する。

(株)エーワ 代表取締役会長 神戸和男氏
大田和俊彦事務所 公認会計士・税理士 大田和俊彦氏
(有)新玉製作所 代表取締役会長 田中秀明氏

以上3名について出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

<議長、第6号議案を上程>

議長は、事務局に説明を求め、山岡専務理事より、従来使用していた特別委員会の名称は廃止し、定款上に位置付けられている委員会の名称を使うとし、会員増強、エネルギー・環境、防災、まちづくり、観光振興の5つの委員会について説明した。なお、前期に設置していた中心市街地活性化はまちづくり委員会に含める、雇用は事務局が今後も事業を進めていく、中長期ビジョンは周年に合わせて設けることを申し添えた。また、原則、役員・議員で構成し必要に応じて専門家をアドバイザーとして依頼すること、設置期間は役員議員任期と同じ3年間と説明した。

以上について出席者に諮りたるところ、満場一致により異議無く承認された。

以上、本日の議案は総て原案通り承認され、臨時議員総会を終了した。

エ 通常議員総会

1. 議員総会が開催された日時

令和2年3月27日(金) 15:00~15:40

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 ホール

3. 出席者数(または出席者名)

(1) 議員

実出席者数	38名
委任状行使者数	38名
合計	76名
議員定数	90名

(2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

- (3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事
会 頭 鈴木悌介
副会頭 古川武法、鈴木茂男、秋葉勝彦、久津間康允
専務理事 山岡 弘
- (4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名
鈴木悌介
- (5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要
報告事項なし

- 4. 議 題
 - 第1号議案 令和元年度補正予算（案）承認の件
 - 第2号議案 令和2年度事業計画（案）承認の件
 - 第3号議案 令和2年度収支予算（案）承認の件
 - 第4号議案 令和2年度借入限度額（案）承認の件
 - 第5号議案 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件
 - 第6号議案 定款変更の件

5. 議事の概要

定刻（15：00）通りに開会し、山岡専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者38名、委任状行使者38名、計76名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山岡専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案を上程>

山岡専務理事が、新会館取得に伴う令和元年度会館建設特別会計の補正予算案について説明した。

議長は第1号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手多数により異議無く承認された。

<議長、第2号議案・第3号議案を一括上程>

令和2年度事業計画案について、前場理事事務局長が重点施策、活動計画と箱根支部事業の新規事業、各部会の主な事業を説明した。

令和2年度収支予算案については、中矢課長が一般会計及び5つの特別会計について説明し、山岡専務理事が会館建設資金特別会計の説明を行った。

議長は第2号議案・第3号議案について、一括して出席者に諮りたるところ、賛成の拍手多数により異議無く承認された。

<議長、第4号議案を上程>

山岡専務理事が、令和2年度の借入限度額を例年通り2000万円に設定させていただきたいと説明した。

議長は第4号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手多数により異議無く承認された。

<議長、第5号議案を上程>

山岡専務理事が、商工会議所に作成義務のある法定台帳の作成、管理及び運用に要する経費にあてるため、特定商工業者に負担金を賦課することについて、2事業年度ごとに議員総会の決議を得た上で、神奈川県知事に許可申請を行うこと、また、令和2年度、3年度の負担金について従前と同額の1事業者1500円（年間）とさせていただきたいことを説明した。

議長は第5号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手多数により異議無く承認された。

<議長、第6号議案を上程>

山岡専務理事が、商工会議所法改正に伴い、小田原箱根商工会議所の定款を変更する必要があるとして、第10条、第22条、第33条、第35条の変更箇所を説明した。

議長は第6号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成の拍手多数により異議無く承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認され、通常議員総会を終了した。

(2) 正副会頭会議

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第1回 4月12日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件</p> <p>第2号議案 景況調査結果の件</p> <p>第3号議案 委員委嘱推薦の件</p> <p>(1) 小田原市社会福祉協議会理事</p> <p>(2) 城下町おだわらツーデーマーチ 実行委員会委員</p> <p>(3) 共同募金会小田原市支会委員</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 平成31年度神奈川県予算・政策に関する要望(回答)について</p> <p>2. 小田原・箱根合同企業説明会について</p> <p>3. 合同入社式について</p> <p>4. 会員満足度調査について</p> <p>5. 会員大会について</p> <p>6. その他</p>
第2回 4月25日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件</p> <p>第2号議案 委員委嘱推薦の件</p> <p>(1) 学校運営協議会委員</p> <p>(2) 湘南地域雇用対策推進協議会構成員</p> <p>第3号議案 起業家創業支援業務委託書締結の件</p> <p>第4号議案 水蒸気噴火のメカニズムに関する国際ワークショップ協賛の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 議員職務執行者役職名変更について</p> <p>(1) ㈱ダイドーフォワード</p> <p>(2号議員・常議員 4月1日付)</p> <p>(新) 顧 問 大 寫 啓 介 氏</p> <p>(前) 代表取締役副社長 ダイナシティデビジョン長 大 寫 啓 介 氏</p> <p>(2) 小田原卸商業団地協同組合</p> <p>(2号議員・常議員 4月19日付)</p> <p>(新) 顧 問 清 康 夫 氏</p> <p>(前) 理事長 清 康 夫 氏</p> <p>2. 平成30年度会議所事業計画に対する自己評価について</p>

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			3. 会館建設整備促進プロジェクトについて 4. 小田原市生涯現役推進協議会平成30年度の活動報告について 5. 小田原市高度地区の都市計画変更について 6. その他
4月26日	箱根町役場	5	山口箱根町長と正副会頭との懇談会
5月2日	右 京	6	参議院議員井上義行氏と正副会頭との懇談会
第3回 5月8日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員会とタスクフォースのあり方の見直しの件 II. 報告事項 1. 小田原箱根大博覧会実行委員会について 2. おだわら起業スクール・第3新創業塾の受講生の創業について 3. 小田原駅西口外国人観光客アンケート(速報)について 4. その他 (1) 平成4年度からの会員数の推移について (2) レジ導入・キャッシュレス決済展示商談会について
5月14日	千世倭樓	9	3号議員と正副会頭との懇談会
第4回 5月24日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市人権施策推進委員会委員 (2) 小田原市子ども・子育て会議委員 第3号議案 職員永年勤続表彰の件 II. 報告事項 1. 箱根活性化会議について 2. 消費税関連セミナー&キャッシュレス決済レジ導入展示会開催について 3. その他
5月24日	右 京	5	衆議院議員牧島かれん氏と正副会頭との懇談会
第5回 6月14日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件 第2号議案 平成30年度収支決算承認の件 第3号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市総合戦略有識者会議委員 第4号議案 常議員選任の件 第5号議案 「かながわグランドデザイン 第3期実施計画

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			<p>(素案)」についてのパブリックコメントの件 (追認)</p> <p>(協議事項) 第6号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する要望(重点共通要望)の件</p> <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益財団法人大隅基礎科学創成財団募金協力のお願について 2. 箱根ジオパーク認定特産品募集について 3. 箱根ゴールデンウィーク・最近の状況ヒアリング調査報告について 4. 通常議員総会役割分担について 5. 会員大会来場者アンケートについて 6. その他
第6回 6月28日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件</p> <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 議員職務執行者変更について (1) 日本通運(株)神奈川西支店 (1号議員 4月15日付) (新)支店長 稲垣 宏之 氏 (前)支店長 東 順治 氏 2. 2019年度 伴走型小規模事業者支援推進事業応募について 3. その他
第7回 7月10日	商工会議所	4	<p>I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市下水道運営審議会委員 (2) 小田原市みどりの審議会委員</p> <p>第2号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件 第3号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件</p> <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選挙管理委員会委嘱予定者について 2. 小田原箱根大博覧会について 3. 公的融資相談会(6/12)について 4. 夏のイベントについて 5. 小田原・箱根合同企業説明会(6/25)について 6. オーギーフェアについて 7. その他

月 日	開催場所	出席者数	内 容
7月10日	商工会議所	19	小田原市議会正副議長と常任委員会正副委員長と 正副会頭・部会長との懇談会
7月16日	商工会議所	6	神奈川県議会議員と正副会頭との懇談会
第8回 7月26日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 新会館整備計画（新会館予定物件購入）の件 (協議事項) 第3号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する 要望（個別要望）の件 第4号議案 令和2年度市・町への要望の件 II. 報告事項 1. 神奈川県小規模事業者持続化補助金公募開始について 2. オージーフエアについて 3. その他
第9回 8月2日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 議員選挙施行の件 第2号議案 2号議員選出に関する件 第3号議案 西湘ビルメンテナンス協同組合による 小田原市に提出する小田原市公共施設包括 管理業務の協定書への押印の件 (協議事項) 第4号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する 要望（個別要望）の件 第5号議案 令和2年度市・町への個別要望の件 第6号議案 プロジェクションマッピング世界大会 協賛の件 II. 報告事項 1. 神奈川県優良工場及び優良小規模企業者表彰の 推薦について 2. 会員満足度調査結果について 3. オージーフエアについて 4. その他
8月2日	商工会議所	11	正副会頭・部会長合同会議 1. 議員選挙施行の件 2. 2号議員選出に関する件
第10回 8月23日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			第2号議案 令和元年度補正予算（案）の件 第3号議案 小田原市公共施設包括管理業務委託の選定方式に関する要望の件 第4号議案 会員表彰式の件 第5号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する要望（個別要望）の件 第6号議案 令和2年度市・町への要望の件 II. 報告事項 1. 小規模事業者持続化補助金採択結果について 2. その他
第11回 9月13日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 3号議員内諾の件 第2号議案 2号議員部会別割当数の件 第3号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件 第4号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者役職名変更について (1) 学校法人国際学園 星槎大学(3号議員 8月6日付) (新) 理 事 井上 一 氏 (前) 理事長 井上 一 氏 2. 新会館計画プロジェクトについて 3. 小田原箱根大博覧会2019について 4. その他
9月13日	商工会議所	8	正副会頭・部会長合同会議 1. 3号議員内諾の件 2. 2号議員部会別割当数の件
第12回 9月27日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 (協議事項) 第2号議案 第26期委員会・タスクフォース設置の件 II. 報告事項 1. 2号議員選任について 2. 箱根夏の状況について 3. おだわらマリーンDAYについて 4. 新会館買付証明書提出について 5. その他
第13回 10月10日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項)

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			第1号議案 常議員部会別割当方法の件 II. 報告事項 1. 1号議員の立候補状況及び部会別立候補者数について 2. 会員表彰式について 3. 令和元年度事業半期報告について 4. おだわらSDGs実行委員会について 5. オーギー肉バトルバルについて
第14回 10月18日	商工会議所	2	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 名誉会頭・顧問・相談役委嘱の件 第3号議案 理事選任の件 第4号議案 常議員部会別割当数の件 第5号議案 臨時議員総会招集並びに提案事項の件 第6号議案 会員表彰式被表彰者選考の件 第7号議案 景況調査結果の件 第8号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 市民ホール開館記念事業実行委員会委員 第9号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件(追認) 第10号議案 第26期委員会設置(案)の件 II. 報告事項 1. 台風19号の影響について 2. その他
10月18日	商工会議所	6	正副会頭・部会長合同会議 1. 第26期(令和元年度)議員改選結果報告の件 2. 常議員部会別割当数の件
第15回 11月1日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 副会頭の職務代行順位・部会・委員会担当の件 第2号議案 会員表彰式役割分担の件 第3号議案 新議員商工会議所事業説明会の件 II. 報告事項 1. 合同入社式同期会報告について 2. その他
第16回 11月7日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 会員賀詞交歓会の件 (協議事項) 第2号議案 市議会正副議長・正副委員長と正副会頭・部会長との懇談会の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			第3号議案 委員会・タスクフォースの件 第4号議案 気候変動への取組（啓発）勉強会の件 II. 報告事項 1. 台風被害経営相談会（10/31）報告について 2. その他
11月7日	商工会議所	6	正副会頭と監事との懇談会
第17回 11月22日	商工会議所	5	I. 議 案 （審議事項） 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 小田原市公共施設包括管理業務委託及び公共事業の発注に関する要望の件 第3号議案 委員会構成員の件 第4号議案 令和2年度税制改正に関する要望の件（追認） II. 報告事項 1. 小田原市への要望の回答について 2. 台風被害経営相談会報告について 3. テクノトランスファーinかわさき2019出展報告について 4. 合同会社まち元気小田原の解散について 5. その他
11月22日	商工会議所	20	小田原市議会正副議長・正副委員長と正副会頭・部会長との懇談会
第18回 12月6日	商工会議所	5	I. 議 案 （審議事項） 第1号議案 メガネスーパー旧本社土地建物購入契約の件 第2号議案 新会館計画プロジェクト素案の件 第3号議案 市長との懇談会の件 第4号議案 議員例会・新年会の件 第5号議案 委員委嘱推薦の件 （1）小田原市健康増進計画懇談会委員 II. 報告事項 1. 令和2年年始行事について 2. その他
12月23日	商工会議所	30	小田原市長・副市長と正副会頭・部会長との懇談会
第19回 1月8日	商工会議所	5	I. 議 案 （審議事項） 第1号議案 関東経済産業局長表彰推薦の件 第2号議案 新会館の件 第3号議案 小田原箱根大博覧会実行委員会担当副会頭の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			(協議事項) 第4号議案 会頭所信の件 第5号議案 関東商工会議所連合会「ベスト・アクション表彰」推薦の件 II. 報告事項 1. 会員賀詞交歓会について 2. 小田原市主要商店街流動客調査結果報告について 3. 小田原箱根大博覧会報告について 4. その他
第20回 1月22日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 会頭所信・令和2年度重点施策の件 第3号議案 関東商工会議所連合会「ベスト・アクション表彰」推薦の件 II. 報告事項 1. 令和2年度スケジュールについて 2. その他
第21回 2月14日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 令和2年度部会予算配分の件 (協議事項) 第2号議案 令和2年度事業計画(案)の件 II. 報告事項 1. 建設部会での新会館改修業者選定結果について 2. その他
2月14日	商工会議所	18	小田原市議会建設経済常任委員会委員と正副会頭との懇談会
第22回 2月28日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 (協議事項) 第2号議案 令和2年度事業計画(案)の件 II. 報告事項 1. タスクフォースについて 2. 箱根町への要望の回答について 3. 新型コロナウイルス関連 緊急アンケート結果(速報)について 4. feel NIPPON 春 2020出展報告について 5. テクニカルショウヨコハマ2020出展報告について 6. その他

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第23回 3月13日	商工会議所	4	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 令和元年度補正予算(案)承認の件 第3号議案 令和2年度事業計画(案)承認の件 第4号議案 令和2年度収支予算(案)承認の件 第5号議案 令和2年度借入限度額(案)承認の件 第6号議案 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件 第7号議案 定款変更の件 第8号議案 委員委嘱推薦の件</p> <p>(1) 小田原市環境審議会委員</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 議員職務執行者役職名変更について (1) 株峠製作所(2号議員 2月2日付) (新)代表取締役会長 峠 千秋 氏 (前)代表取締役 峠 千秋 氏</p> <p>2. 会員大会について(5/19)</p> <p>3. 新型コロナウイルス関連 緊急アンケート結果について</p> <p>4. その他</p>
第24回 3月27日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) ねんりんピックかながわ2021小田原市 実行委員会委員 (2) 小田原市都市計画審議会委員</p> <p>第2号議案 「小田原ゆかりのチンチン電車保存会」設立への賛同の件</p> <p>第3号議案 新会館解体工事・設計発注費用の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 台風第19号被害・新型コロナウイルスに関する経営相談会について</p> <p>2. マル経審査員委嘱について</p> <p>3. その他</p>

(3) 常議員会

▽第1回常議員会

1. 開催日時 平成31年4月25日(木) 13:40~15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 20名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 各委員委嘱推薦の件
(1) 小田原市社会福祉協議会理事
(2) 城下町おだわらツデーマーチ実行委員会委員
(3) 共同募金会小田原市支会委員
(4) 学校運営協議会委員
(5) 湘南地域雇用対策推進協議会構成員
第3号議案 起業家創業支援業務委託契約書締結の件
5. 議事の概要 議案第1号~第3号は原案どおり承認された。

▽第2回常議員会

1. 開催日時 令和元年5月24日(金) 13:55~14:55
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 16名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 各委員委嘱推薦の件
(1) 学校運営協議会委員
(2) 湘南地域雇用対策推進協議会構成員
第3号議案 職員永年勤続表彰の件
5. 議事の概要 議案第1号~第3号は原案どおり承認された。

▽第3回常議員会

1. 開催日時 令和元年6月14日(金) 13:35~15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 17名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 平成30年度事業報告承認の件
第2号議案 平成30年度収支決算承認の件
第3号議案 各委員委嘱推薦の件
(1) 小田原市総合戦略有識者会議委員
第4号議案 常議員選任の件
第5号議案 かながわブランドデザイン第3期実施計画(素案)についてのパブリックコメントの件(追認)

5. 議事の概要 議案第1号～第5号は原案どおり承認された。

▽第4回常議員会

1. 開催日時 令和元年6月28日(金) 13:00～13:50

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 24名

4. 議案 【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

【協議事項】

第2号議案 会館建設整備促進プロジェクトの動向の件

5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認され、議案第2号は内容を精査して次回審議となった。

▽第5回常議員会

1. 開催日時 令和元年7月26日(金) 13:30～15:00

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 19名

4. 議案 【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 新会館整備計画(新会館予定物件購入)の件

第3号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件

第4号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件

第5号議案 各委員委嘱推薦の件

(1) 小田原市下水道運営審議会委員

(2) 小田原市みどりの審議会委員

【協議事項】

第6号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する要望(個別要望)の件

第7号議案 平成31年度市・町への要望の件

5. 議事の概要 議案第1号～第5号は原案どおり承認され、第6号～第7号は加筆修正して次回審議となった。

▽第6回常議員会

1. 開催日時 令和元年8月23日(金) 13:30～14:40

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 19名

4. 議案 【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 令和元年度収支補正予算(案)の件

第3号議案 小田原市公共施設包括管理業務への協力・支援の件(追認)

第4号議案 小田原市公共施設包括管理業務委託の選定に関する要望の件

第5号議案 令和2年度神奈川県予算・政策に関する要望（個別要望）の件

第6号議案 平成31年度市・町への要望の件

5. 議事の概要 議案第1号～第6号は原案どおり承認された。

▽第7回常議員会

1. 開催日時 令和元年9月13日（金） 14:30～15:30

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 21名

4. 議 案 【審議事項】

第1号議案 3号議員内諾の件

第2号議案 2号議員部会別割当数決定の件

第3号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件

第4号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件

5. 議事の概要 議案第1号～第4号は原案どおり承認された。

▽第8回常議員会

1. 開催日時 令和元年9月27日（金） 13:30～15:00

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 18名

4. 議 案 【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認された。

▽第9回常議員会

1. 開催日時 令和元年10月18日（金） 14:00～15:30

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室

3. 出席者数 役員・議員 17名

4. 議 案 【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 常議員部会別割当数の件

第4号議案 臨時議員総会招集並びに提案事項の件

第5号議案 会員表彰式被表彰者選考の件

第6号議案 各委員委嘱推薦の件

(1) 市民ホール開館記念事業実行委員会委員

第7号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件（追認）

第8号議案 第26期委員会の設置案の件

5. 議事の概要 議案第1号～第8号は原案どおり承認された。

▽第10回常議員会

1. 開催日時 令和元年11月22日（金） 14:00～14:45
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 16名
4. 議案 **【審議事項】**

- 第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 小田原市公共施設包括管理業務委託及び
公共事業の発注に関する要望の件
第3号議案 委員会構成の件
第4号議案 令和2年度税制改正に関する要望の件（追認）

5. 議事の概要 議案第1号と第3号～第4号は原案どおり承認され、第2号は報告事項に変更となった。

▽第11回常議員会

1. 開催日時 令和2年1月22日（水） 15:00～15:50
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 25名
4. 議案 **【審議事項】**

- 第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 関東商工会議所連合会長表彰「ベスト・アクション表彰」
推薦の件
第3号議案 会頭所信の件

5. 議事の概要 議案第1号～第2号は原案どおり承認され、第3号は基本的な方針が承認された。

▽第12回常議員会

1. 開催日時 令和2年2月28日（金） 13:30～15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 18名
4. 議案 **【審議事項】**

- 第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 令和2年度部会予算配分の件

【協議事項】

- 第3号議案 令和2年度事業計画（案）の件

5. 議事の概要 議案第1号～第2号は原案どおり承認され、第3号議案は次回審議となった。

▽第13回常議員会

1. 開催日時 令和2年3月13日(金) 13:30~14:50
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 17名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 新会員承認の件
第2号議案 令和元年度補正予算(案)の件
第3号議案 令和2年度事業計画(案)の件
第4号議案 令和2年度収支予算(案)の件
第5号議案 令和2年度借入限度額(案)の件
第6号議案 特定商工業者負担金賦課の許可申請の件
第7号議案 定款変更の件
第8号議案 各委員委嘱推薦の件
(1) 小田原市環境審議会委員推薦の件
5. 議事の概要 議案第1号~第8号は原案どおり承認された。

▽第14回常議員会

1. 開催日時 令和2年3月27日(金) 14:30~14:45
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 出席者数 役員・議員 23名
4. 議案 **【審議事項】**
第1号議案 各委員委嘱推薦の件
(1) ねんりんピックかながわ2021小田原市実行委員会委員
(2) 小田原市都市計画審議会委員
5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認された。

(4) 監事会

1. 開催日時 令和元年6月4日(火) 15:30~17:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 会員談話室
3. 議題 (1) 平成30年度一般会計及び特別会計監査執行の件
監事3名により平成30年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計及び諸特別会計について、諸帳簿、諸証拠書類に対照して精密に審査が進められ、正当と認められた。

(5) 箱根支部会議

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/8	誘客宣伝委員会	箱根町役場	17	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
5/10	箱根八里街道 観光協議会 幹事会	三島市民 文化会館	15	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成31年度事業計画について 3. その他

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/13	誘客宣伝委員会	箱根町役場	18	1. 大涌谷について 2. 情報共有
5/23	箱根活性化会議	商工会議所	16	1. 大涌谷火山活動の現状について 2. 情報提供について 3. 今後の対応について 4. その他
6/4	箱根八里街道 観光協議会 総 会	三島市民 文化会館	25	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成31年度事業計画について 3. その他
6/4	小田急沿線 商工会議所 広域連携協議会	町 田 商工会議所	17	1. 今後の事業について 2. その他
6/10	誘客宣伝委員会	箱根町役場	17	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
6/17	箱根支部役員会	ホテル南風荘	12	1. 平成30年度事業報告について 2. 令和元年度事業について 3. 県・町への要望について 4. その他
6/24	箱根町商店 連絡協議会 定 時 総 会	レストラン ブライト	15	1. 平成30年度事業報告並びに収支決算 について 2. 2019年度事業計画（案）並びに 収支予算（案）について 3. その他
7/16	誘客宣伝委員会	箱根町役場	16	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
9/24	ジオパーク特産品 開 発 委 員 会	箱 根 支 部	14	1. ジオパーク認定特産品の審査方法の件 2. ジオパーク特産品認定に伴う商品説明 (応募企業) 3. ジオパーク認定特産品審査
10/3	箱根八里街道 観光推進協議会 社会実験委員会	三 島 商工会議所	10	1. 社会実験について 2. 今後の事業の進め方について
10/21	誘客宣伝委員会	箱根町役場	17	1. 台風19号被害状況について 2. 情報共有
11/11	誘客宣伝委員会	箱根町役場	18	1. 台風19号被害状況について 2. 今後の活動内容の進捗状況報告 3. 情報共有
12/10	箱根八里街道 観光推進協議会 日本遺産委員会	三 島 商工会議所	11	1. 日本遺産「箱根八里」について 2. 今後の事業の進め方について

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/17	箱根町商店 連絡協議会 役員会	箱根支部	5	1. 視察会開催について 2. 台風19号支援策について 3. その他
12/23	箱根支部役員会	ホテル南風荘	15	1. 説明会 「地域の防災性の向上をはかる、EV(電気自動車)を活用した地域マネジメントモデル事業について/プロパンガスを利用した発電機について」 説明者： ㈱古川 常務取締役 古川大司氏 湘南電力㈱ 代表取締役社長 原 正樹氏 ㈱REXEV 取締役 藤井 崇史氏 2. 商工会議所議員改選報告 3. 台風第19号被害の支援策について 4. 情報交換
1/15	誘客宣伝委員会	箱根町役場	19	1. 今後の活動内容の進捗状況報告 2. 情報共有
1/31	箱根八里街道 観光推進協議会 社会実験委員会	三 島 商工会議所	12	1. 社会実験について 2. 今後の事業の進め方について
2/3	H O T 2 1 観光 プラン推進委員会	箱根町役場	17	1. 観光推進プランについて 2. その他

(6) 部会会議

ア 商業部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/17	監事会	商工会議所	2	平成30年度商業部会収支決算書等を監査
5/21	役員会	商工会議所	13	1. 平成30年度会議・事業報告について 2. 平成30年度決算報告について 3. 2019(平成31・令和元)年度収支予算(案)について 4. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・政策に関する要望事項について 5. その他
5/29	定時総会	商工会議所	20	1. 平成30年度会議・事業報告並びに収支決算報告の件 (監査報告) 2. 2019(平成31・令和元)年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. その他
7/11	会 員 委 員 会	商工会議所	3	1. 優良小売店舗表彰候補店について 2. 部会員親睦旅行会について 3. 議員選挙について 4. その他
8/6	優良小売店舗表彰 審 査 会	商工会議所	5	以下10店舗の表彰を決定 ・うらめし屋 平じ ・小田原F. B. C ・くつ屋さん ・四季和膳 もえり ・花政 本店 ・フロマージュ ・まるひの貝汁食堂 ・金指ウッドクラフト ・めし処いなか家大地 ・La Bazza
8/6	役 員 会	商工会議所	14	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 議員選挙について 4. 臨時部会総会の開催について 5. 部会員親睦旅行会の開催について 6. その他
8/26	選 挙 対 策 委 員 会	商工会議所	8	1. 議員選挙について 2. その他
9/13	選 挙 対 策 委 員 会	商工会議所	7	1. 議員選挙について (1) 2号議員候補者について (2) 1号議員立候補予定者について 2. その他
9/20	臨 時 総 会	商工会議所	13	1. 2号議員選出について 2. その他
10/25	役 員 会 (臨 時 総 会)	商工会議所	16	1. 部会長選任について 2. 副部会長選任について 3. 委員長選任について 4. 監事・顧問選任について 5. 常議員候補者推薦について 6. その他
12/11	役 員 会	千世倭樓 「大清水」	17	1. 部会委員会所属について 2. 部会員新年懇親会について 3. 先進地視察研修会(役員対象)について 4. その他

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
12/16	会 員 委 員 会	商工会議所	4	1. 副委員長の選任について 2. 部会員新年懇親会について 3. 先進地視察研修会について 4. その他
2/13	会 員 委 員 会	籠 な り	4	1. 部会員新年懇親会の振り返りについて 2. 令和2年度会員委員会事業計画について 3. その他
2/21	事 業 委 員 会	商工会議所	6	1. 副委員長の選任について 2. 令和2年度事業委員会事業計画（案）について 3. その他
2/27	まちづくり委員会	商工会議所	6	1. 副委員長の選任について 2. 令和2年度まちづくり委員会事業計画（案）について 3. その他
3/11	役 員 会	商工会議所	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により書面協議に変更】

イ 工業ものづくり部会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/17	正 副 部 会 長 ・ 5 委 員 長 会 議	商工会議所	11	1. 県・市・町への要望書について 2. 5月22日（水）定時総会事前打ち合わせについて 3. その他
5/22	定 時 総 会	小田原お堀端 万葉の湯	33	1. 平成30年度事業報告並びに収支決算承認の件（監査報告） 2. 工業ものづくり部会規定一部改正の件 3. 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件 4. その他 5. 講演会 （1）「7割の健康無関心層攻略法」 羽立工業㈱ 原田利枝氏 （2）「省エネと再生エネルギーの事業について」 湘南電力㈱ 原 正樹氏
6/12	総 務 委 員 会	丸 う 田 代	7	1. 8月工業もの部会新聞（60号）の内容について 2. 小田原市・神奈川県優良産業人表彰について 3. ゴルフ（秋）について

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				4. 忘年会（12/9）について 5. 視察会開催に伴う懇親会開催について 6. その他
7/1	教 育 委 員 会	商工会議所	6	1. 神奈川県・小田原市・箱根町の予算・政策に関する要望事項の検討について 2. 視察研修会（管内、管外）について 3. 講習会について 4. その他
7/22	工 芸 委 員 会	商工会議所	8	1. 工芸委員会事業・予算について 2. 神奈川県・小田原市・箱根町の予算・政策に関する要望事項の検討について 3. 県・市表彰推薦について 4. その他
7/25	会 員 開 発 委 員 会	商工会議所	5	1. 販路拡大事業について 2. 会員増強について 3. その他
8/8	親 睦 委 員 会	商工会議所	6	1. ゴルフ（秋・春）について 2. 忘年会（12/9）について 3. 他委員会事業内容について 4. その他
8/29	役 員 会	商工会議所	18	1. 総務委員会 （1）小田原市優良産業勤労者表彰推薦について （2）神奈川県優良産業人表彰について （3）工業もの部会新聞（第60号）について 2. 教育委員会 （1）管内・外視察研修会について （2）講習会について 3. 親睦委員会 （1）第100回ゴルフ大会について （2）忘年パーティについて 4. 会員開発委員会 （1）販路拡大事業について 「テクノトランスファーinかわさき」 「テクニカルショウヨコハマ」 5. 工芸委員会 （1）第19回小田原もあ展について （2）第8回木工里について 6. 小田原箱根商工会議所議員選挙 （1）しおりについて （2）選挙日程について

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				(3) 各部会臨時総会開催について 7. 新会館移転計画(案)について (1) タスクフォース設置について 8. 情報提供 9. その他 (1) かながわビジネス創造市場について
8/29	議 員 会 議	商工会議所	13	1. 議員選挙について 2. 部会選出議員について (1) 3号議員予定者 (2) 2号議員予定者 (3) 1号議員立候補予定者 3. その他
9/17	テクノトランス ファーinかわさき 2 0 1 9 出 展 者 会 議	カルツツ かわさき	1	1. テクノトランスファーinかわさき 2019概要について 2. 出展者レイアウト抽選会 3. その他
10/2	会員開発委員会	商工会議所	9	1. 販路開拓セミナー テーマ 「展示会の成果獲得に向けて取 り組むべき手法」 講 師 トウルミーミッションコンサル ルティイング 代表取締役 森 智亮氏 2. テクノトランスファーinかわさき 2019出展者会議
10/16	総 務 委 員 会	商工会議所	8	1. 12月工業もの部会(61号)新聞の内容 について 2. 令和2年度事業計画(案)について 3. 令和2年度県・市・町要望について 4. 令和3年度 " 5. 次回会議日程について 6. その他
10/21	正 副 部 会 長 ・ 5 委 員 会 正 副 委 員 長 会 議	商工会議所	10	1. 部会長選任について 2. 常議員選任について 3. 部会役員(顧問・会計監査)選任について 4. 部会役員(委員長・副委員長) " 5. その他 (1) 各種報告事項
10/23	臨 時 総 会	商工会議所	15	1. 正副部会長選任について 2. 常議員選任について 3. 部会役員(顧問・会計監査)選任について 4. 部会役員(委員長・副委員長) "

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				5. その他 (1) 各種報告事項
11/26	テクニカルショウ ヨ コ ハ マ 2 0 2 0 出 展 者 会 議	県民ホール	1	1. テクニカルショウヨコハマ2020 概要について 2. 出展者レイアウト抽選会 3. その他
12/10	テクニカルショウ ヨ コ ハ マ 2 0 2 0 出 展 者 会 議	商工会議所	12	1. テクニカルショウヨコハマ2020 概要について 2. 出展者レイアウトについて 3. その他
1/29	総 務 委 員 会	商工会議所	5	1. 令和1年度会議・事業報告について 2. 令和2年度事業計画（案）について （11/1の会議内容報告） 3. 3月工業もの部会新聞（62号）の内容 について 4. 小田原箱根産業まつり2020 実行委員会への委員推薦について 5. その他 （1）令和3年度 神奈川県・小田原市・箱根町 への予算・政策に関する要望について （2）次回会議開催日について
2/10	工 芸 委 員 会	そば茶屋 正 庵	6	1. 平成31年度会議・事業報告について 2. 令和2年度事業計画（案）について 3. 令和3年度 神奈川県・小田原市・ 箱根町の予算・政策に関する要望について 4. その他
2/12	会 員 開 発 委 員 会	商工会議所	9	1. 平成31年度について （1）会議・事業報告 （2）管外視察会報告 （株）IHI横浜事業所とテクニカル ショウヨコハマ2020について 2. 令和2年度事業計画（案）について 3. 会員増強検討について （1）会員企業増加（新入会員紹介）の推進 （2）会員名簿について 4. 令和3年度 神奈川県・小田原市・箱根町 への予算・政策に関する要望について 5. その他 （1）関東学院大学との包括的協定以降の 連携について （2）その他

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
6/18	定時総会	小田原お堀端 コンベンション ホール	28	1. 平成30年度事業報告並びに収支決算について 2. 2019年度事業計画並びに収支予算について 3. その他
8/6	優良小売店舗表彰 審査会	商工会議所	5	以下10店舗の表彰を決定 ・うらめし屋 平じ ・小田原F. B. C ・くつ屋さん ・四季和膳 もえり ・花政 本店 ・フロマージュ ・まるひの貝汁食堂 ・金指ウッドクラフト ・めし処いなか家大地 ・La Bazza
8/21	役員会	ぱあくえりあ やまもと	10	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. パスポート小田原箱根について 4. その他
9/20	臨時総会	寿 庵	14	1. 2号議員選任について 2. 議員選挙について 3. その他
10/24	役員会	だるま料理店	8	1. 部会役員並びに正副部会長選任について 2. 常議員選任について 3. その他
2/20	役員会	グリル木の実	15	1. 2019年度事業遂行状況について 2. 令和2年度事業計画(案)並びに予算(案)検討について 3. 神奈川県・小田原市・箱根町予算・政策に関する要望について 4. その他

エ 建設部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/12	正副部会長会議	商工会議所	4	1. 会館建設整備推進プロジェクトについて 2. その他
4/16	都市対策委員会	商工会議所	4	1. 行政への要望について 2. その他

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4/25	役 員 会	商工会議所	6	平成31年度定時総会審議事項等を審議
5/8	正副部会長会議	商工会議所	5	1. 会館建設整備推進プロジェクトについて 2. その他
5/20	都市対策委員会	商工会議所	5	1. 行政への要望について 2. その他
6/5	正副部会長会議	だるま料理店	4	1. 会館建設整備推進プロジェクトについて 2. 行政への要望について 3. その他
6/5	定 時 総 会	だるま料理店	35	1. 平成30年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 平成31（令和元）年度事業計画並びに収支予算（案）承認の件 3. その他
6/19	都市対策委員会	商工会議所	5	1. 行政への要望について 2. その他
7/2	正副部会長会議	商工会議所	5	1. 会館建設整備推進プロジェクトについて 2. 行政への要望について 3. その他
7/26	正副部会長会議	商工会議所	4	1. 会館建設整備推進プロジェクトについて 2. 行政への要望について 3. その他
8/26	議 員 会 議	商工会議所	4	1. 議員選挙について 2. その他
8/26	役 員 会	商工会議所	10	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 議員選挙について 4. その他
9/13	正副部会長会議	商工会議所	4	1. 議員改選について 2. 新会館計画プロジェクトについて 3. その他
9/24	臨 時 総 会	商工会議所	14	1. 建設部会2号議員選任について 2. その他
10/28	臨 時 総 会	商工会議所	14	1. 正副部会長選任について 2. 常議員推薦について 3. その他
11/7	正副部会長会議	商工会議所	4	1. 部会役員について 2. 小田原市公共施設包括管理委託について 3. 新会館計画プロジェクトについて 4. その他

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
12/6	正副部会長会議	商工会議所	3	1. 新会館計画プロジェクトについて 2. その他
12/19	正副部会長会議	商工会議所	4	1. 新会館計画プロジェクトについて 2. その他
1/20	正副部会長会議	商工会議所	5	1. 新会館について 2. その他
1/20	役 員 会	商工会議所	11	1. 新会館について 2. その他
2/28	都市対策委員会	商工会議所	6	1. 県・市・町への要望について 2. その他
2/28	運 営 委 員 会	商工会議所	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】

オ 金融庶業部会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/9	役 員 会	商工会議所	12	1. 金融庶業部会定時総会について 2. 講演会開催について 3. 親睦ボウリング大会について 4. 県・市・町への要望について 5. 議員選挙について 6. その他
6/19	定 時 総 会	商工会議所	34	1. 平成30年度事業報告承認の件 2. 令和元年度事業計画の件 3. その他
8/22	役 員 会	商工会議所	10	1. 議員選挙について 2. 臨時総会日程について 3. 小田原市優良産業勤労者表彰について 4. 神奈川県優良産業人表彰推薦について 5. その他
9/25	臨 時 総 会	商工会議所	18	1. 2号議員選出について 2. その他
10/29	臨 時 総 会	伊勢藤 いせずし	26	1. 正副部会長選任について 2. 金融庶業部会役員選任について 3. 常議員選任について 4. その他
2/18	正副部会長会議	料亭 門松	4	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和2年度事業計画（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2020実行委員 の推薦について 4. その他

カ 交通運輸部会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6/6	正副部会長会議	四季亭	6	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視察研修会について 2. 議員選挙について 3. 県・市・町への要望について 4. その他
6/6	定 時 総 会 (はんだるクラブ合同)	四季亭	28	<p>(部会議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業報告承認の件 2. 平成31年度事業計画(案)承認の件 3. その他 <p>(はんだるクラブ議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 役員改選について 3. 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件 4. その他
8/27	役 員 会	商工会議所	15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 視察会について 4. 議員選挙について 5. 臨時総会日程について 6. その他
10/24	臨 時 総 会	商工会議所	12	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正副部会長選出について 2. 常議員選出について 3. 部会役員選出について 4. その他
2/6	正副部会長会議	銀座ライオン	6	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度交通運輸部会事業報告(案)について 2. 令和2年度交通運輸部会事業計画(案)について 3. 令和2年度定時総会について 4. 県・市への要望について 5. その他

(7) その他の会議

ア 一般会議

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/24	平成の城下町・宿場町 構想研究会	商工会議所	16	1. 杉本座長から挨拶と総括 2. 鈴木会頭からの総括 3. 杉崎室長からの総括 4. 各委員からの総括 5. 杉本座長から今後の方向性についての提案
5/20	平成の城下町・宿場町 構想研究会・分科会 合同会議	商工会議所	28	研究会・分科会の2年間の活動を総括
5/23	箱根活性化会議	商工会議所	15	1. 大涌谷火山活動の現状について 2. 2015箱根活性化会議の内容について 3. 今後の対応について
6/5	相模湾からの経済活 性化会議第5回会議	藤 沢 商工会議所	21	1. 勉強会 テーマ：「神奈川県取組み」について (1) かながわ海洋ツーリズム推進協議会 令和元年事業計画（地域政策課） (2) サーフ90ライフセービングクラブ の取組（地域政策課） (3) 神奈川の海岸美化の取組（資源循環 推進課） (4) その他【コカ・コーラボトラーズ ジャパンより県と連携した取組や 「SHONANボトル」やイベントで の設置協力について】 2. その他（各地の意見交換など）
6/6	小田原箱根事業承継 マッチング事業～襷 をつなぐ～連絡会	商工会議所	7	1. 事業承継マッチング事業の登録状況について 2. 事業承継マッチングの取組み方法について 3. その他
7/12	箱根活性化会議	商工会議所	14	1. 大涌谷火山活動の現状について 2. 影響調査について 3. 今後の対応について

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
9 / 1	相模湾からの経済活性化会議第6回会議	藤 沢 商工会議所	18	1. 勉強会 テーマ：「神奈川県が推進するナイトタイム 及びモーニングタイムエコノミーブ ロモーション事業」について 講師：YDMS株式会社 千葉 勝久氏 2. その他（各地の意見交換など） （1）神奈川県地域政策課より情報共有 【海上タクシーなど】 （2）小田原箱根商工会議所よりクルーズ 事業について （3）各地の意見交換
9 / 26	小田原箱根事業承継 マッチング事業～樺 をつなぐ～連絡会	商工会議所	8	1. 事業承継マッチング事業の登録状況に ついて 2. 起業家登録条件の見直しについて 3. 事業承継マッチングの取組み方法に ついて 4. その他
10 / 11	箱根活性化会議	商工会議所	14	1. 大涌谷火山活動の現状について 2. 影響調査について 3. 今後の対応について
10 / 11	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	8	1. U I J ターン就職応援合同説明会に ついて 2. その他
10 / 31	箱根活性化会議	商工会議所	17	1. 台風第19号の被害現状について 2. 影響調査について 3. 管内事業所の支援について 4. 今後の対応について
11 / 14	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	8	1. 2019年度U I J ターン就職応援 合同説明会の結果について 2. 2019年度西湘地区就職面接会に ついて
11 / 25	箱根活性化会議	商工会議所	16	1. 台風第19号の被害現状について 2. 影響調査について 3. 管内事業所の支援について 4. 今後の対応について
12 / 9	館内入居団体連絡会	商工会議所	10	1. 館内入居団体年末年始業務について 2. 年末ごみ処理について 3. 館内防災訓練と防火対象物点検報告特

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				例認定について 4. 新会館への移転時期等について 5. その他
12/20	箱根活性化会議	商工会議所	15	1. 影響調査について 2. 管内事業所の支援について 3. 今後の対応について
1/15	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	8	1. 合同企業説明会について 2. 2019年度若年者雇用支援事業 「ジョブスタディ」について
1/23	箱根活性化会議	商工会議所	15	1. 影響調査について 2. 管内事業所の支援について 3. 今後の対応について
3/23	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	9	1. 新型コロナウイルスの対応 2. 令和2年度事業について 3. 保護者のための就活セミナー報告
3/31	箱根活性化会議	商工会議所	16	1. 影響調査について 2. 管内事業所の支援について 3. 今後の対応について

イ 小田原箱根大博覧会会議

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/8	第1回実行委員会	商工会議所	13	1. 正副実行委員長の選出について 2. 大博覧会2018事業報告について 3. 本年度の運営について 4. その他
7/10	第2回実行委員会	商工会議所	10	1. 全事業内容の確認と進捗状況について 2. その他

(8) 特別委員会（令和元年10月31日迄）

ア 会員増強特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/20	中小企業向け 就職支援サイト TSUNORU 導入説明会	商工会議所	19	中小企業向け就職支援サイトTSUNORU の導入に向けた説明会を開催
10/9	委員会	商工会議所	5	1. 会員増強功労者表彰選考について 2. 事業の総括と今後の会員増強活動に ついて 3. その他

イ エネルギー・環境特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
8/21	なりわい体験 「エネルギーについて 考えるツアー」	きらめきの丘 おおい ダイナシティ 鈴廣かまぼこ 本社	8	特別委員会の企画で、太陽光発電所（きらめきの丘 おおい）、官民建物間熱融通事業ほか（ダイナシティ）、ネット・ゼロ・エネルギービルほか（鈴廣かまぼこ本社）を見学

ウ まちづくりビジョン特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
7/24	合同視察研修会	柏の葉 スマート シティ・ 中央防波堤 埋立処分場	9	柏の葉スマートシティ及び中央防波堤埋立処分場及び廃棄物処理施設を視察見学

エ 中心市街地活性化特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
8/26	委員会	商工会議所	13	1. 小田原市都市計画道路見直しの状況について 2. 小田原駅周辺未来図見直しについて 3. その他

オ 防災特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/14	委員会	商工会議所	7	1. 防災勉強会について 2. その他
5/28	防災勉強会	商工会議所	38	第1部 講演会 演題：「ハザードマップの正しい見方ー水災害から身を守るためにー」 講師：小田原市防災部副部長 中村 信也氏 第2部 パネルディスカッション テーマ：「自治会・行政・企業の連携の重要性について」 進行：倉田 雅史氏 防災委員長 パネリスト： 木村 秀昭氏 小田原市自治会総連合会長 中村 信也氏 小田原市防災部副部長 奥山 恵子氏 防災委員

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				斎藤 清孝氏 防災委員
9/11	委員会	商工会議所	7	1. 委員会事業総括について 2. その他

カ 雇用開発特別委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/2	平成31年度 合同入社式	小田原お堀端 コンベンション ホール	194	1. 合同入社式 2. 新入社員セミナー 「職場のルールとビジネスマナー」 3. 交流会
4/22	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	9	1. 2019年度年間行事予定について 2. 小田原箱根合同企業説明会について
5/21	高校進路指導担当 教諭と人事担当者の 「就職情報交換会」	小田原お堀端 コンベンション ホール	—	企業31社 高校12校 西湘異業種交流会と共催
5/22	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	7	1. 小田原箱根合同企業説明会について 2. 今後の事業について
6/13	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	9	1. 小田原箱根合同企業説明会について 2. その他
6/25	令和元年度 小田原・箱根 合同企業説明会	小田原お堀端 コンベンション ホール	40	参加企業33社 参加者数40名
7/18	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	9	1. 小田原箱根合同企業説明会報告 2. UIJターン合同説明会について
7/24	小田原・箱根 超若手会議	小田原お堀端 コンベンション ホール	49	入社して2、3年の若手社員を対象に、 自分はどのように働くか？誰のために働 くか？小田原・箱根にどう貢献できるか？ をグループワークで行い、働く動機を再確 認してもらう場を設ける。
8/28	おしごとフェア	ダイナシティ イースト	160	出展企業4社 参加者数160名 1. 瀬戸建設(株) パースをつくってみよう 2. 山岸(株) 商品の包装・梱包作業をしてみよう 3. (株)ツクイ 車椅子を利用する方の立場になって、 車椅子での移動や使用方法を学ぼう 4. おそうじ劇場

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				お掃除のプロがお掃除の極意を伝授 正しい姿勢で拭き技を極めちゃおう
9/5	ハローワーク小田原 雇用連絡協議会	小田原公共 職業安定所	8	1. 令和元年度UIJターン就職応援 合同説明会について 2. その他

キ 中長期ビジョン特別委員

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
6/13	委員長と事務局 会議	商工会議所	4	会頭への答申内容について
7/16	委員長と事務局 会議	商工会議所	4	会頭への答申内容について
8/1	委員会	商工会議所	6	1. 会頭への答申内容について 2. その他
8/13	委員長と事務局 会議	商工会議所	4	会頭への答申内容について
9/3	委員会	商工会議所	3	1. 会頭への答申内容について 2. その他
9/13	会頭への 答申書提出	商工会議所	5	委員会でまとめた答申書を会頭へ提出

(9) 委員会（令和元年11月1日以降）

ア 会員増強委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/16	委員会	商工会議所	12	1. 副委員長選任について 2. 事業計画（案）について 3. その他

イ エネルギー・環境委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/19	委員会	商工会議所	15	1. 副委員長の選任について 2. 令和2年度の事業について 3. その他
2/25	委員会	商工会議所	9	1. 令和2年度事業計画（案）について 2. その他

ウ 防災委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/20	委員会	商工会議所	14	1. 副委員長選出について 2. 平成31年度前期事業報告について 3. 平成31年度後期事業計画（案）について 4. その他
2/13	委員会	商工会議所	17	1. 市・町の行政における防災活動について説明 2. 行政（市・町）との意見交換について 3. 令和2年度事業計画（案）について 4. 防災委員会メンバー「防災対策」アンケート結果について 5. その他

エ まちづくり委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/12	委員会	商工会議所	8	1. 副委員長選任について 2. まちづくりについての意見交換 3. その他

オ 観光振興委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
1/21	委員会	商工会議所	10	1. 副委員長選任について 2. 会頭面談報告 3. 観光振興タスクフォースについて 4. 箱根活性化会議報告 5. 今後の事業について（意見交換）

(10) 教育旅行に関する会議・事業

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/26	西さがみ教育旅行誘致推進協議会総会	商工会議所	8	1. 平成30年度事業報告 2. 平成30年度収支決算報告・監査報告 3. 平成31年度事業計画（案）について 4. 平成31年度収支予算（案）について 5. その他
6/21	西さがみ教育旅行誘致推進協議会プロモーション事前打合せ会議	小田原合同庁舎	5	1. プロモーション日程等について 2. 今年度の推進方法（共通事項他） （1）推進方法について （2）プロモーション調査票利用及び

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				訪問先の写真について (3) その他
6/26 ~27	西さがみ教育旅行 誘致推進協議会 プロモーション	埼玉県	6	埼玉県春日部市・草加市34校、旅行社2社 に対するプロモーション活動の実施
1/24	西さがみ教育旅行 誘致推進協議会 プロモーション 事前打合せ会議	小田原 合同庁舎	6	1. プロモーション日程等について 2. 今年度の推進方法(共通事項) (1) 推進方法について (2) プロモーション調査票利用及び 訪問先の写真について (3) その他
1/29 ~30	西さがみ教育旅行 誘致推進協議会 プロモーション	愛知県	7	愛知県豊橋市、岡崎市、名古屋市の旅行会 社9箇所に対するプロモーション活動の 実施

(1) タスクフォース

ア 創業支援

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/17	起業スクール 運営会議	ライトハウス 税理士法人 事務所	11	起業スクール開催直前の打ち合わせ
5/8	起業スクール 運営会議	ライトハウス 税理士法人 事務所	9	起業スクール開催直前の打ち合わせ
5/18	起業スクール 第1回	商工会議所	28	経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション
5/25	起業スクール 第2回	商工会議所	28	マーケティング戦略・創業の基礎知識
6/1	起業スクール 第3回	商工会議所	28	会計の仕組み、売上の立て方、先輩創業 体験談
6/4	委員会	商工会議所	10	本年度の第3新創業塾の概要について協議
6/15	起業スクール 第4回	商工会議所	28	収支計画・利益計画の立て方、必要資金 及びコストの把握
6/22	起業スクール 第5回	商工会議所	28	資金調達、創業者向け融資等の紹介、 ビジネスプランの作成
6/25	委員会	商工会議所	9	本年度の第3新創業塾の概要について協議
6/29	起業スクール 第6回	商工会議所	28	ビジネスプランの発表会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
9 / 4	委 員 会	商工会議所	8	本年度の第3新創業塾の概要について協議
10 / 19	第5回小田原起業 スクールアフター フォロー相談会	商工会議所	5	本年度スクール卒業生のうち希望者を募り 個別相談会を開催
10 / 19	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	30	新しい市場のつくりかた 講 師：専修大学経営学部 准教授 三宅 秀道氏
10 / 27	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	3	ママ起業における仕事・子育て・自分のバ ランスの取り方 講 師：(株)エリアコンシェル 代表取締役 前島 真弓氏 フリーランスデザイナー 藤森 華子氏
11 / 2	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	12	営業マンじゃなくても必要な営業の考え方 講 師：(株)RiceWine 代表取締役 酒井 優太氏 (株)旧三福不動産 共同代表 渡邊 実氏
11 / 14	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	8	10年間自転車を漕ぎ続ける技術。あきら めないメンタル 講 師：湯河原十二庵 代表 浅沼 宇雄氏 NPO法人ママズハグ 代表理事 山本 加世氏
11 / 16	第5回小田原起業 スクールアフター フォロー相談会	商工会議所	4	本年度スクール卒業生のうち希望者を募り 個別相談会を開催
11 / 23	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	11	組織3.0個人と会社の間にある新しい組 織のかたち 講 師：R不動産(株) 代表取締役 吉里 裕也氏
11 / 30	み ん な の ビジネススクール i n 小 田 原	商工会議所	14	ローカル起業を成功させる心構え 講 師：Greenz.jp ビジネスアドバイザー 小野 裕之氏
1 / 15	委 員 会	商工会議所	11	創業タスクフォース事業の振り返り及び 今後の創業支援策について検討
1 / 22	起 業 ス ク ー ル 運 営 会 議	ライトハウス 税理士法人 事 務 所	7	起業スクール卒業生の事業報告会・交流会 及び次年度カリキュラム等の打ち合わせ

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
2/15	起業スクール交流会	商工会議所	26	起業スクール卒業生の交流事業を開催

イ 観光振興

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
12/13	委員会	商工会議所	6	1. 3年間のタスクフォース活動振り返りについて 2. その他

ウ 世界的スポーツイベント

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/22	スポーツ有志会議	商工会議所	13	1. 経過報告について 2. 今後の体制について 3. その他
4/26	委員会	商工会議所	10	1. オーストラリアニュージーランド商工会議所との会議報告について 2. 会頭面談報告 3. 小田原市ラグビー・オリパラ活性化委員会について 4. その他
5/22	委員会	商工会議所	11	1. オージーフェアについて 2. その他
6/18	在日オーストラリア ニュージーランド 商工会議所との 会議	商工会議所	8	1. オージーフェアについて 2. その他
7/25 ~28	オージーフード フェア	小田原駅 周辺飲食店	12	小田原駅周辺飲食店12店舗で、ラグビーオーストラリアオリンピック女子代表歓迎イベントとしてオージーフードフェアを開催
7/27 ~28	オージーフェア	ハルネ 小田原 うめまる広場	6小間	ラグビーオーストラリアオリンピック女子代表歓迎イベントとして、在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所との共催にて開催
8/27	委員会	商工会議所	6	1. オージーフェア報告 2. オージー肉バトルバルについて 3. その他
9/7 ~14	オージー肉バトル バル	小田原駅 周辺飲食店	21	小田原駅周辺飲食店21店舗で、ラグビーワールドカップオーストラリア代表歓迎イベントとしてオージー肉バトルバルを

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				開催
12/16	委 員 会	商工会議所	5	1. オーギー肉バトルバル報告 2. DACS小田原箱根活動報告 3. その他

エ 気候変動

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
1/27	委 員 会	商工会議所	10	1. 副委員長の選任について 2. 今後の進め方について 3. その他
3/9	委 員 会	商工会議所	11	1. 令和2年度事業について (1) 気候変動認知度アンケートについて (2) 上映会・ディスカッション開催について (3) その他 2. 気候変動イニシアチブ末吉代表と気候変動タスクフォースメンバーとの懇談会

(12) 新会館に関する会議

ア 会館建設推進プロジェクト

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4/26	第2回会館建設整備 推進プロジェクト	商工会議所	14	1. 前回プロジェクトの確認 2. 協議内容 ・商工会議所の現状規模と必要規模について ・計画（案）の基本的考え方と施設規模について ・事業規模について ・共同事業と単独事業の比較検討 ・施設規模と事業規模の整理 3. 意見交換

イ 新会館計画プロジェクト

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
9/10	第1回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	14	1. 開会 2. 委員長選任について 3. 委員長挨拶 4. 本プロジェクトのミッション等について

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				5. 本館について 6. サテライトについて 7. 意見交換 8. その他
9/20	コーディネーター・ 専門家打ち合わせ	商工会議所	3	1. 委員長挨拶 2. 本プロジェクト検討事項について 3. 本プロジェクト検討事項の工程について 4. その他
9/27	第2回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	15	1. 委員長挨拶 2. 本館について 3. サテライトについて 4. その他
10/10	第3回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	16	1. 委員長挨拶 2. 本館について (1) 取得状況について (2) 既存テナント入居見込み・仕様構成 見込みについて (3) 移転時期について 3. サテライトについて (1) 補助金の活用について 株都市デザイン 山田孝司氏 (2) サテライトの機能について (3) テナント、貸しスペースについて 4. その他 (1) 会員向け広報とパブコメについて
10/18	第4回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	13	1. 委員長挨拶 2. 本館について (1) 収支見込について (2) 仕様構成見込みについて 3. サテライトについて (1) サテライトの機能について (2) テナントについて 4. その他 (1) 会員向け広報とパブコメについて
10/21	商工会議所移転予定 建物内見会	旧メガネ スーパー		購入予定の旧メガネスーパー本社ビルを 訪問、建物の内外を視察。
11/7	第5回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	13	1. 委員長挨拶 2. 本館について

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. サテライトについて 4. その他
11/22	第6回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	16	1. 委員長挨拶 2. 本館について 3. サテライトについて 4. その他
12/6	第7回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	16	1. 委員長挨拶 2. 新会館計画プロジェクトまとめについて 3. その他
12/19	第8回新会館計画 プロジェクト	商工会議所	14	1. 委員長挨拶 2. 新会館計画プロジェクトまとめについて 3. その他

6. 事業

(1) 各種事業活動

ア 一般事業

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/2	平成31年度 合同入社式	小田原お堀端 コンベンション ホール	194	1. 合同入社式 2. 新入社員セミナー 「職場のルールとビジネスマナー」 3. 交流会
5月中	会員満足度調査 アンケート	管内事業所	—	管内会員向けに会員満足度調査アンケートを実施
5/16	会員大会	小田原お堀端 コンベンション ホール	271	1. 会員大会 1) 平成30年事業報告 2) 平成31年度事業計画説明 3) 特別委員会・タスクフォースの発表 ・防災特別委員会 ・創業支援タスクフォース ・エネルギー・環境特別委員会 ・青年部 2. 講演 テーマ：私の研究歴 —研究をささえてくれたもの— 講師：東京工業大学名誉教授 大隅基礎科学創成財団理事長 大隅 良典氏
6/12 ・13	キャッシュレス決済・ レジ導入商談会	商工会議所	70	消費税改正を前に、キャッシュレス決済、 レジ導入に関する展示商談会を開催
6/25	令和元年度 小田原・箱根 合同企業説明会	小田原お堀端 コンベンション ホール	40	参加企業33社 参加者数40名
7/3 4・5 10・11 16・17 25・26	企業従事者 健康診断	小田原卸 商業団地 協同組合 仙石原文化 センター 商工会議所	1,131	企業従事者労働安全衛生規則法定健診 及び特別健診
8/22 ・23	そろばん・さんすう ・かずあそび教室	商工会議所	69	そろばんを利用した計算法を学べる場を 提供し、そろばん文化の普及、継承を図る ために小学生1、2年向けの初心者向け そろばん教室を開催（日本珠算連盟小田原 支部と共催）

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				1日目 参加者数38名 2日目 参加者数31名
8/23	議員例会	えれんなごっそ	45	講演 テーマ：箱根観光の礎を築いた箱根登山鉄道の軌跡 講師：箱根登山鉄道(株) 取締役社長 府川 光夫氏 箱根登山鉄道(株) 鐵道部 課長 大木 賢治氏
8/24	第55回小田原珠算競技大会・優良生徒表彰	商工会議所	67	珠算の振興と技術の向上を図るため、珠算の学年別競技大会及び優良生徒の表彰の実施（日本珠算連盟小田原支部と共催）
9/3	キャッシュレス決済・レジ導入展示商談会	商工会議所	28	消費税改正を前に、キャッシュレス決済、レジ導入に関する展示商談会を開催
10/4	令和元年度合同入社式同期会	報徳会館	75	1. 新入社員フォローアップ研修 ～半年を経ての振り返りと今後の目標～ 2. 交流会
10/10	観光振興とバリアフリーに関する勉強会	商工会議所	15	バリアフリーマップ開発を行っている織田夫妻を迎えての勉強会
10/20	令和元年度UIJターン就職応援合同企業説明会	ふるさと回帰センター	11	参加企業12社 参加者数11名
11/18	会員表彰式	湯本富士屋ホテル	233	1. 会員表彰式 優良従業員表彰 58事業所258名 優良産業人表彰 3名 優良小売店舗表彰 10店 会員増強功労者表彰 9名 功労役員・議員特別表彰 6名 2. 記念バイオリンコンサート 演奏者：バイオリニスト 式町 水晶氏 3. 祝賀会
11/13	労働講座	おだわら市民交流センター UMECO	21	テーマ：働き方改革とワーク・ライフ・バランス 講師：神奈川働き方改革推進支援センターアドバイザー 特定社会保険労務士 押本 靖貴氏
1/8	新年会員	小田原お堀端	320	会員の招福と賀詞交歓会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
	賀 詞 交 歓 会	コンベンション ホ ー ル		
1/8	在日オーストラリア ニュージーランド 商工会議所との 懇 談 会	な が や	10	在日オーストラリア・ニュージーランド 商工会議所役員との交流会
1/19	保 護 者 の た め の 就 活 セ ミ ナ ー	おだわら 市民交流 センター UMECO	23	テーマ：保護者のための就活セミナー 講 師：㈱リクルートキャリア 杉村 希世子氏
1/22	議 員 例 会	商工会議所	49	1. 報告事項 2. 講演 テーマ：SDGsの実践「障がい者に働き やすい仕事・環境づくり」 講 師：サンネット㈱ 代表取締役社長 市川 聡氏
1/22	議 員 新 年 会	だるま料理店	46	
3/3	働 き 方 改 革 セ ミ ナ ー	商工会議所	24	テーマ：働き方改革に取り組む実務上の ポイント 講 師：神奈川働き方改革推進支援セン ターアドバイザー 小澤 悦子氏
3/5	令 和 元 年 度 小 田 原 ・ 箱 根 合 同 企 業 説 明 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】
3/16	令 和 元 年 度 若 年 者 雇 用 支 援 事 業 「ジョブスタディ」	おだわら 市民交流 センター UMECO	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】

イ 小田原箱根大博覧会事業

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7/20	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和 菓 子 う め ぞ の	11	ねりきり作り体験
7/20	なりわい体験 「和菓子！季節の ねりきりを作ろう」	河内屋製菓舗	2	ねりきり作り体験
7/21	なりわい体験 「漆の研ぎ出し 体 験 」	大川木工所	2	漆の研ぎ出しを体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7/21	なりわい体験 「アイスクャンディー ソーブ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	8	アイスクャンディーソーブ作り体験
7/21	なりわい体験 「アロマスプレー 作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	2	アロマスプレー作り体験
7/21	なりわい体験 「箱根観光船 親子バックヤード 見学会」	箱根観光船	20	箱根観光船・箱根ロープウェイのバックヤードを見学
7/22	なりわい体験 「かわいい腕時計 作り体験」	白牡丹	11	かわいい腕時計作り体験
7/23	なりわい体験 「うどん打ち体験」	そば處彌生	5	プロのうどん打ちを学ぶ
7/23	なりわい体験 「パワーストーンの オリジナルブレスレット 作り」	ルフラン ビジュ	3	パワーストーンのオリジナルブレスレット作り体験
7/23	なりわい体験 「コンパクトミラー デコ作り体験」	白牡丹	9	コンパクトミラーデコ作り体験
7/23	なりわい体験 「テーピング体験」	グランブルー	2	足細&小顔のためのテーピング体験
7/23	なりわい体験 「ちょうちん づくり体験」	シェード	4	ちょうちん作り体験
7/24	なりわい体験 「スケルトン ペンケース 作り体験」	白牡丹	6	スケルトンペンケース作り体験
7/24	なりわい体験 「食パン・ロール パン作り体験」	あやぱん	5	食パン・ロールパン作り体験
7/24	なりわい体験 「ちょうちん づくり体験」	シェード	3	ちょうちん作り体験
7/25	なりわい体験 「夏のフラワーアレ	ハナマサ	13	フラワーアレンジメント作り体験

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
	ンジメント教室」			
7/25	なりわい体験 「ちょうちん づくり体験」	シェード	4	ちょうちん作り体験
7/25	なりわい体験 「アロマスプレー 作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	1	アロマスプレー作り体験
7/25	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	25	ねりきり作り体験
7/25	なりわい体験 「ホックで作る 革製コインケース 作り体験」	白牡丹	1	ホックで作る革製コインケース作り体験
7/26	なりわい体験 「日本一の干物 工場を見学！ 干物ができるまで」	山安	16	干物工場を見学
7/26	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	5	プロのそば打ちを学ぶ
7/27	なりわい体験 「パワーストーン のオリジナルブレ スレット作り」	ルフラン ビジュ	6	パワーストーンのオリジナルブレスレット作り体験
7/27	なりわい体験 「茶道体験」	箱根美術館	6	茶道体験
7/27	なりわい体験 「寄木のお家型 小箱をつくろう」	箱根ドール ハウス美術館	2	ドールハウス作り体験
7/27	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	14	ねりきり作り体験
7/27	なりわい体験 「バックヤードツ アー&売場体験と 体験新聞作り」	イトーヨーカ堂 小田原店	5	バックヤードツアー&売場体験と体験新聞作り
7/27	なりわい体験 「ステッカー作りor パネル作り体験」	鳳文堂	2	ステッカー作りorパネル作り体験
7/28	なりわい体験 「親子で写経体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	5	写経体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7/28	なりわい体験 「アイスクャンディ ソープ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	7	アイスクャンディソープ作り体験
7/28	なりわい体験 「漆の研ぎ出し 体 験 」	大川木工所	2	漆の研ぎ出しを体験
7/29	なりわい体験 「カラーレジンで 作るパスケース 作 り 体 験 」	白牡丹	3	カラーレジンで作るパスケース作り体験
7/29	なりわい体験 「壁紙工場見学！ 黒板壁紙D I Y 夏休み工作体験」	デコリア	13	壁紙工場見学と黒板壁紙D I Y作り体験
7/30	なりわい体験 「純銀ねん土で作 るお名前シルバー 作 り 体 験 」	ルフラン ビ ジ ュ	1	純銀ねん土で作る お名前シルバー作り 体験
7/30	なりわい体験 「アロマスプレー 作 り 体 験 」	お寺カフェ 瑞鳥庵	4	アロマスプレー作り体験
7/30	なりわい体験 「アイスクャンディ ソープ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	9	アイスクャンディソープ作り体験
7/30	なりわい体験 「うどん打ち体験」	そば處彌生	2	プロのうどん打ちを学ぶ
7/30	なりわい体験 「スケルトン ペ ン ケ ー ス 作 り 体 験 」	白牡丹	9	スケルトンペンケース作り体験
7/30	なりわい体験 「1日駅長体験 (箱根湯本駅)」	箱根登山鉄道 箱根湯本駅	6	箱根湯本駅において1日駅長体験
7/31	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	2	プロのそば打ちを学ぶ
7/31	なりわい体験 「食パン・ロール パン作り体験」	あやぱん	5	食パン・ロールパン作り体験

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
7/31	なりわい体験 「かわいい腕時計 作り体験」	白牡丹	18	かわいい腕時計作り体験
7/31	なりわい体験 「コーヒーの焙煎 見学と飲み比べ 体験」	スズア コーヒー店	8	コーヒーの焙煎見学と飲み比べ体験
8/1	なりわい体験 「テーピング体験」	グランブルー	1	足細&小顔のためのテーピング体験
8/1	なりわい体験 「耳つぼ&小顔 ストレッチ教室」	グランブルー	4	耳つぼ&小顔ストレッチ体験
8/1	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	24	ねりきり作り体験
8/1	なりわい体験 「スケルトン ペンケース 作り体験」	白牡丹	6	スケルトンペンケース作り体験
8/1	なりわい体験 「金融機関の仕事」	スルガ銀行 小田原支店	5	金融機関の仕事体験
8/1	なりわい体験 「家族でワクワク 体験DAY2019」	S M B C 日興証券 小田原支店	11	証券会社の仕事体験
8/2	なりわい体験 「1日駅長体験 (強羅駅)」	箱根登山鉄道 強羅駅	3	1日駅長体験
8/2	なりわい体験 「ホックで作る 革製コインケース 作り体験」	白牡丹	1	ホックで作る革製コインケース作り体験
8/2	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	5	プロのそば打ちを学ぶ
8/2	なりわい体験 「金融機関の仕事」	横浜銀行 小田原支店	4	金融機関の仕事体験
8/2	なりわい体験 「金融機関の仕事」	横浜銀行 鴨宮支店	2	金融機関の仕事体験
8/2	なりわい体験 「金融機関の仕事」	横浜銀行 国府津支店	3	金融機関の仕事体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/2	なりわい体験 「金融機関の仕事」	横浜銀行 下曾我支店	2	金融機関の仕事体験
8/3	なりわい体験 「バックヤードツアー&売場体験と体験新聞作り」	イトーヨーカ堂 小田原店	5	バックヤードツアー&売場体験と体験新聞作り体験
8/3	なりわい体験 「モザイクキャンドル作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	5	モザイクキャンドル作り体験
8/3	なりわい体験 「ハーブのバスソルト作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	2	ハーブのバスソルト作り体験
8/3	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	23	ねりきり作り体験
8/3	なりわい体験 「カラーレジンで作るパステル作り体験」	白牡丹	5	カラーレジンで作るパステル作り体験
8/4	なりわい体験 「ハーバリウム作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	7	ハーバリウム作り体験
8/6	なりわい体験 「パワーストーンのオリジナルブレスレット作り」	ルフラン ビジュ	11	パワーストーンのオリジナルブレスレット作り体験
8/6	なりわい体験 「ちょうちんづくり体験」	シェード	4	ちょうちん作り体験
8/6	なりわい体験 「世界に1つだけのオリジナル石けん作り体験」	リンクライン	5	石けん工場見学およびオリジナル石けん作り体験
8/6	なりわい体験 「うどん打ち体験」	そば處彌生	5	プロのうどん打ちを学ぶ
8/6	なりわい体験 「カラーレジンで作るパステル作り体験」	白牡丹	10	カラーレジンで作るパステル作り体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/7	なりわい体験 「ガスの お仕事体験」	小田原ガス	6	ガスのお仕事体験
8/7	なりわい体験 「軽い屋根(カラー ベスト)ができる まで〈生産ライン 見学〉体験」	ケイミュー 小田原工場	13	工場見学
8/7	なりわい体験 「茶道体験」	箱根美術館	5	茶道体験
8/7	なりわい体験 「ちょうちん づくり体験」	シェード	2	ちょうちん作り体験
8/7	なりわい体験 「ちょうちん づくり体験」	シェード	3	ちょうちん作り体験
8/7	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	5	プロのそば打ちを学ぶ
8/7	なりわい体験 「かわいい腕時計 作り体験」	白牡丹	7	かわいい腕時計作り体験
8/7	なりわい体験 「金融機関の仕事」	さがみ 信用金庫 板橋支店	5	金融機関の仕事体験
8/7	なりわい体験 「金融機関の仕事」	さがみ 信用金庫 富水支店	5	金融機関の仕事体験
8/7	なりわい体験 「金融機関の仕事」	さがみ 信用金庫 久野支店	3	金融機関の仕事体験
8/7	なりわい体験 「金融機関の仕事」	さがみ 信用金庫 寿町支店	5	金融機関の仕事体験
8/7	なりわい体験 「アロマスプレー 作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	3	アロマスプレー作り体験
8/7	なりわい体験 「不動産屋の お仕事体験」	不動産情報 センター(株)	5	不動産屋の仕事体験と新築物件の見学

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/8	なりわい体験 「アイスクャンディ ソーブ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	8	アイスクャンディソーブ作り体験
8/8	なりわい体験 「和菓子体験」	和菓子 うめぞの	23	ねりきり作り体験
8/8	なりわい体験 「コンパクトミラ ーデコ作り体験」	白牡丹	8	コンパクトミラーデコ作り体験
8/8	なりわい体験 「金融機関の仕事」	みずほ銀行 小田原支店	7	金融機関の仕事体験
8/9	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	4	プロのそば打ちを学ぶ
8/9	なりわい体験 「スケルトン ペンケース 作り体験」	白牡丹	11	スケルトンペンケース作り体験
8/10	なりわい体験 「かまぼこ・ちくわ 手作り体験教室と えれんなごっそ ランチバイキング」	鈴 廣 かまぼこの里	14	かまぼこ・ちくわ手作り体験、えれんな ごっそランチバイキング
8/10	なりわい体験 「純銀ねん土で作る お名前シルバープレ ート作り体験」	ルフラン ビジュ	1	純銀ねん土で作るお名前シルバープレート 作り体験
8/10	なりわい体験 「モザイクキャン ドル作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	7	モザイクキャンドル作り体験
8/10	なりわい体験 「壁塗りと型抜体験」	三上工業	9	左官業の歴史学習と壁塗りや型抜体験
8/10	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	22	ねりきり作り体験
8/10	なりわい体験 「和菓子！季節の ねりきりを作ろう」	河内屋製菓舗	4	ねりきり作り体験
8/11	なりわい体験 「茶道体験」	箱根美術館	5	茶道体験
8/11	なりわい体験 「食パン・ロール	あやぱん	5	食パン・ロール作り体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
	パン作り体験」			
8/12	片付け名人になろう！親子片付け教室	おだわら市民交流センター UMECO	9	お子さんの興味を引き上げながら、片付け上手になるテクニックを親子で学ぶ体験
8/13	なりわい体験「親子で写経体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	16	写経体験
8/13	なりわい体験「パワーストーンのオリジナルブレスレット作り」	ルフラン ビジュ	4	パワーストーンのオリジナルブレスレット作り体験
8/13	なりわい体験「世界に1つだけのオリジナル石けん作り体験」	リンクライン	6	石けん工場見学およびオリジナル石けん作り体験
8/13	なりわい体験「うどん打ち体験」	そば處彌生	5	プロのうどん打ちを学ぶ
8/13	なりわい体験「ホックで作る革製コインケース作り体験」	白牡丹	6	ホックで作る革製コインケース作り体験
8/14	なりわい体験「そば打ち体験」	そば處彌生	1	プロのそば打ちを学ぶ
8/14	なりわい体験「カラーレジンで作るパスケース作り体験」	白牡丹	14	カラーレジンで作るパスケース作り体験
8/15	なりわい体験「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	23	ねりきり作り体験
8/15	なりわい体験「かわいい腕時計作り体験」	白牡丹	15	かわいい腕時計作り体験
8/16	なりわい体験「そば打ち体験」	そば處彌生	5	プロのそば打ちを学ぶ
8/17	なりわい体験「モザイクキャンドル作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	4	モザイクキャンドル作り体験
8/17	なりわい体験「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	16	ねりきり作り体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/17	なりわい体験 「和菓子！季節の ねりきりを作ろう」	河内屋製菓舗	4	ねりきり作り体験
8/17	片付け名人に なろう！親子 片付け教室	おだわら 市民交流 センター UMECO	9	お子さんの興味を引き上げながら、片付け 上手になるテクニックを親子で学ぶ体験
8/18	なりわい体験 「親子で写経体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	4	写経体験
8/19	なりわい体験 「タクシー業務体験」	日本交通横浜 小田原営業所	21	タクシー業務体験
8/19	なりわい体験 「金融機関の仕事」	三井住友銀行 小田原支店	5	金融機関の仕事体験
8/20	なりわい体験 「アロマスプレー 作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	8	アロマスプレー作り体験
8/20	なりわい体験 「アイスクャンディ ソープ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	8	アイスクャンディソープ作り体験
8/20	なりわい体験 「世界に1つだけの オリジナル石けん 作り体験」	リンクライン	5	石けん工場見学およびオリジナル石けん 作り体験
8/20	なりわい体験 「うどん打ち体験」	そば處彌生	5	プロのうどん打ちを学ぶ
8/21	なりわい体験 「ケーブルテレビ で学ぶニュースの 現場」	J:COM小田原	4	ケーブルテレビで学ぶニュースの現場
8/21	なりわい体験 「エネルギーについて 考えるツアー」	きらめきの丘 おおい ダイナシティ 鈴廣かまぼこ	8	太陽光発電所（きらめきの丘 おおい）、 官民建物間熱融通事業ほか（ダイナシティ）、 ネット・ゼロ・エネルギービルほか（鈴廣 かまぼこの里）を見学
8/21	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	3	プロのそば打ちを学ぶ
8/21	片付け名人に なろう！親子 片付け教室	おだわら 市民交流 センター UMECO	11	お子さんの興味を引き上げながら、片付け 上手になるテクニックを親子で学ぶ体験

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/21	なりわい体験 「歯の磨き方と 工場見学」	ライオン 小田原工場	15	工場見学と歯の磨き方の講習会
8/22	なりわい体験 「ハーバリウム 作り体験	お寺カフェ 瑞鳥庵	7	ハーバリウム作り体験
8/22	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	18	ねりきり作り体験
8/22	なりわい体験 「タクシー業務体験」	日本交通横浜 小田原営業所	17	タクシー業務体験
8/23	なりわい体験 「日本一の干物 工場を見学！ 干物ができるまで」	山 安	19	干物工場を見学
8/23	なりわい体験 「最先端エレクトロ ニクス機器につがる 化学めっき体験」	関東学院大学	2	ヒイラギの葉を使っためっき体験
8/23	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	3	プロのそば打ちを学ぶ
8/24	なりわい体験 「モザイクキャン ドル作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	3	モザイクキャンドル作り体験
8/24	なりわい体験 「耳つぼ&小顔 ストレッチ教室」	グランブルー	4	耳つぼ&小顔ストレッチ体験
8/24	なりわい体験 「和菓子体験教室」	和菓子 うめぞの	18	ねりきり作り体験
8/25	なりわい体験 「アイスクャンディ ソープ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	7	アイスクャンディソープ作り体験
8/25	なりわい体験 「親子で写経体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	2	写経体験
8/25	なりわい体験 「食パン・ロール パン作り体験」	あやぱん	5	食パン・ロールパン作り体験
8/26	なりわい体験 「大切な水を作 る体験」	古 川	4	アクアクララ湘南工場見学

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8/27	なりわい体験 「ハーバリウム作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	6	ハーバリウム作り体験
8/27	なりわい体験 「世界に1つだけのオリジナル石けん作り体験」	リンクライン	6	石けん工場見学およびオリジナル石けん作り体験
8/27	なりわい体験 「うどん打ち体験」	そば處彌生	5	プロのうどん打ちを学ぶ
8/27	なりわい体験 「ホックで作る革製コインケース作り体験」	白牡丹	1	ホックで作る革製コインケース作り体験
8/27	なりわい体験 「大切な水を作る体験」	古川	4	アクアクララ湘南工場見学
8/28	なりわい体験 「紙幣ができるまで」	国立印刷局 小田原工場	68	紙幣ができるまでの工場見学及び説明
8/28	なりわい体験 「そば打ち体験」	そば處彌生	2	プロのそば打ちを学ぶ
8/28	なりわい体験 「スケルトンペンケース作り体験」	白牡丹	7	スケルトンペンケース作り体験
8/28	なりわい体験 「大切な水を作る体験」	古川	2	アクアクララ湘南工場見学
8/29	なりわい体験 「アイスクャンディソーブ作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	8	アイスクャンディソーブ作り体験
8/29	なりわい体験 「アロマスプレー作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	4	アロマスプレー作り体験
8/29	なりわい体験 「和菓子体験」	和菓子 うめぞの	24	ねりきり作り体験
8/29	なりわい体験 「大切な水を作る体験」	古川	6	アクアクララ湘南工場見学
8/30	なりわい体験	そば處彌生	3	プロのそば打ちを学ぶ

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
	「そば打ち体験」			
8/31	なりわい体験 「モザイクキャン ドル作り体験」	お寺カフェ 瑞鳥庵	1	モザイクキャンドル作り体験
8/31	なりわい体験 「和菓子体験」	和菓子 うめぞの	11	ねりきり作り体験
8/31	なりわい体験 「大切な水 を作る体験」	古川	2	アクアクララ湘南工場見学
10/20	おだわらマリー ン D A Y	江ノ島～ 小田原漁港 ～真鶴	200	江ノ島～小田原漁港～真鶴をクルーズ運航。 併せて船釣り大会や小田原漁港でのブース 出店販売を実施
11/10	小田原ちょうち ん 古の箱根路	小田原～ 箱根	69	小田原ちょうちんを灯し、箱根旧街道を歩 くイベントを実施
11/20	なりわい体験と J A 収穫満喫 ツア		45	J A の収穫体験と当所のなりわい体験を ツアーで開催。

ウ 箱根支部事業

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/12 ・13	箱根ランフェス	芦ノ湖 キャンプ村	2	箱根支部より各日、1名協力
4/19	商店個別巡回指導	畑宿地区	8	
6/12	公的融資相談会	箱根支部	3	公的融資相談会を開催
8/21	商店個別巡回指導	箱根地区	8	
8/21 ～23	箱根ジオパーク 特産品展示販売会	鈴廣かま ぼこの里	6	箱根ジオパーク特産品の展示販売
8/24 ・25	小田原箱根大博覧会 H a k o n e Nature Festa	芦ノ湖 キャンプ村	2	箱根の自然の中で楽しむアクティビティ を紹介する等、箱根の自然をPR
9/28	小田原箱根大博覧会 箱根強羅市	強羅駅及び 周辺	2	強羅地区の商店・観光等をPR
10/2	商店個別巡回指導	宮ノ下地区	9	
10/10 ・31	商店街観光ツアー (宮ノ下)	宮ノ下	30	箱根支部から1名参加
10/15	商店個別巡回指導	箱根地区	9	
2/5 ～7	F e e l N I P P O N 2 0 2 0 春	東京ビク サイト	2	東京ビクサイトにて、箱根ジオパーク 特産品をPR

エ 部会事業

(ア)商業部会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/29	講 演 会	商工会議所	23	テーマ：2019年のトレンド予測 講 師：ソーシャリングラボ 代表 (株)コプロシステム 顧問 大久保 恵司氏
9/20	講 演 会	商工会議所	12	テーマ：日本の豪商伝～現代ビジネスに通ずる商売の秘訣、商魂を学ぶ～ 講 師：多摩大学客員教授・早稲田大学 教育学部非常勤講師 河合 敦氏
10/8	部会員親睦旅行会	静岡方面	25	「ららぽーと沼津」「大井川鉄道SL乗車体験」「静岡おでん街」の旅行会を実施
11/14	神奈川県優良小売店舗表彰表彰式	かながわ労働プラザ	2	当所推薦により2店舗受賞 花政 本店 金指ウッドクラフト
11/20	小田原市優良産業勤労者表彰並びに技能者表彰表彰式	おだわら市民交流センター UMECO	8	部会推薦により8名受賞 小野浩一 (榎稲妻屋) 石川淳也 (風月堂) 古澤裕美 (栢山正栄堂) 石崎昌宏 (榎井上) 木村理恵 (榎小田原百貨店) 佐藤純子 (榎小田原百貨店) 田中亮子 (榎花政) 赤澤恵子 (有ブランジェ昇平堂)
12/14	小田原市主要商店街流動客調査	小田原駅周辺各所	—	小田原駅周辺各所にて12:00～18:00で流動客調査を実施
1/27	部 会 員 新 年 懇 親 会	商工会議所	62	部会員新年懇親会を開催 二胡奏者 王 霄峰さんによる二胡ミニコンサート、福引き抽選を実施
2/7	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰 表 彰 式	ロイヤルホール ヨコハマ	2	部会推薦により2名受賞 小宮克彦 (小田原青果(株)) 大森賢二 (榎ハシモト)
3/2 ・3	役員視察研修会	伊勢・松阪方面	6	おはらい町(おかげ横丁)、松阪市商店街を視察

(イ)工業ものづくり部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/15	ビジネス マッチング	箱根物産 連 合	10	小田原箱根伝統寄木協同組合と日東産業 (株) (缶製品) とのマッチング
5/17	巡回指導 (地場産関係者)	小田原市	2	地場産業関係者の現状抱える問題・課題や 新たな動きのヒアリングのため巡回。 木工組合会員1社と菓子組合員1社を巡 回。
5/19	第99回親睦 ゴルフ大会	富士屋ホテル 仙石ゴルフ コース	7	優 勝 馬場幸一 (商業印刷株) 準優勝 田中邦岳 (有)新玉製作所 3 位 阿部正弘 (株)阿部製作所
6/10	巡回指導 (地場産関係者)	小田原市	1	地場産業関係者の現状抱える問題・課題や 新たな動きのヒアリングのため巡回。 干物組合会員1社を巡回。
6/24	ビジネス マッチング	箱根物産 連 合	10	小田原箱根伝統寄木協同組合と(株)デコリア (壁紙) とのマッチング
6/26	巡回指導 (地場産関係者)	小田原市	1	地場産業関係者の現状抱える問題・課題や 新たな動きのヒアリングのため巡回。 菓子組合会員1社を巡回。
7/1	巡回指導 (地場産関係者)	小田原市	1	地場産業関係者の現状抱える問題・課題や 新たな動きのヒアリングのため巡回。 ちょうちん製作業者1社を巡回。
7/31 ～ 8/1	第8回木工里まつり	HaRuNe 小 田 原	—	若手木工作家による展示販売、ワークショッ プ (新作展示販売) を開催。
7/31 ～ 8/4	小田原市無尽蔵 プロジェクト 第19回小田原もあ展 夏休み小田原 ものづくり体験教室	HaRuNe 小 田 原	—	ハルネ広場にて、「小田原もあ」の職人・ アーティストたちが日替わりでワーク ショップを開催
8/28	ビジネス マッチング	箱根物産 連 合	10	小田原箱根伝統寄木協同組合と(株)デコリア (壁紙) とのマッチング成果報告
8/31	工業もの部会 新聞発行	—	—	工業もの部会新聞第59号
9/17	第32回先端技術 見本市 テクノ トランスファー in かわさき 事前出展者説明会	カルッツ かわさき	1	・工業ものづくり部会ブースとして5小間 6社で共同出展 ・小回りについて
11/6	管内視察会	山北町	19	1. (株)トヤマ

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
		小 田 原 市		2. デコリア(株)
11/13 ～15	第32回先端技術 見本市 テクノ トランスファー i n かわさき	川 崎 市	6社	(有)川田製作所、(有)新玉製作所、 (株)バスライン、ヤブタ塗料(株)、 FRPカジ(株)、(有)津田製作所
11/20	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	おだわら 市民交流 センター UMECO	11	部会推薦により11名受賞 小澤裕明 (小田原ガス(株)) 中村亜希子 (花王(株)小田原事業場) 志村明規 (株)鈴廣蒲鉾本店) 末長竜二 (ライオン(株)小田原工場) 石田 徹 (相日防災(株)) 福住直幸 (Meiji Saikaファルマ(株) 小田原工場) 小藤田恵一 (第一三共ケミカルファーマ(株) 小田原工場) 桜井健一 (極東精機(株)) 飯野直枝 (久津間製粉(株)) 池谷和仁 (株)IKY) 鈴木孝正 (鈴木木工所)
12/8	第100回親睦 ゴルフ大会	小田原湯本 C C	18	優 勝 松浦秀敏 (松浦建設(株)) 準優勝 峠 千秋 ((有)峠製作所) 3 位 小川勝久 (株)ハイ・テック)
12/9	忘年パーティ	商工会議所	48	会員相互の親睦及び抽選会を実施
12/12 ～ 1/6	第 9 回 木工里まつり	HaRuNe 小 田 原 TAKUMI館	—	若手木工作家による展示販売、ワーク ショップ (新作展示販売) を開催
12/24	工業もの部会 新聞発行	—	—	工業もの部会新聞第61号
1/14	神 奈 川 県 優良工場・小規模 企業者表彰式	神奈川県庁 本庁舎 大会議場	2	当所推薦により「優良工場」1社受賞 久津間製粉(株) 「優良小規模企業者」1社受賞 (有)吉工
2/5	管 外 視 察 会	横浜方面	10	1. (株)IHI横浜事業所 2. テクニカルショウヨコハマ2020
2/5 ～7	第 4 1 回 工業技術見本市 テクニカルショウ ヨコハマ2020 県西ネット共同出展	パシフィコ 横浜展示 ホ ー ル A B C	10社	(有)川田製作所、(株)スズキ、(有)新玉製作所 (株)成信、(株)バスライン、(有)津田製作所、 ヤブタ塗料(株)、(株)FRPカジ 協力：小田原コンサルティンググループ 共催：県西ネット (神奈川県信用保証協会)

月日	会議名	開催場所	出席者数	内 容
				(株)三陽、(有)吉工
2/7	神奈川県優良産業人表彰表彰式	ロイヤルホール ヨコハマ	2	部会推薦により2名受賞 村上昌子(花王(株)小田原事業場) 佐藤良則(佐藤製材所)
3/6	ものづくりガイド交換会ブック掲載企業の情報交換会	関東学院 大 学 材料・表面 研 究 所	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】
3/31	工業もの部会新聞発行	—	—	工業もの部会新聞第62号

(ウ)観光飲食部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内 容
5/27	視 察 会	宮ノ下富士屋ホテル	14	耐震工事中の富士屋ホテルを見学
6/13	セ ミ ナ ー	商工会議所	26	テーマ：戦略的キャッシュレスの活用について 講師：中小企業診断士 高久 広氏
10/10 ・31	商店街観光ツアー (宮ノ下)	宮ノ下	30	箱根支部から1名参加
11/14	神奈川県優良小売店舗表彰表彰式	かながわ労働プラザ	2	当所推薦により2店舗受賞 花政 本店 金指ウッドクラフト
11/20	小田原市優良産業勤労者表彰並びに技能者表彰表彰式	おだわら市民交流センター UMECO	4	部会推薦により8名受賞 角田恵美子(有)だるま料理店) 篠塚 剛(株)小田原鈴廣) 一寸木康雅(株)しいの食品) 上田啓至(株)東華軒)
2/7	神奈川県優良産業人表彰表彰式	ロイヤルホール ヨコハマ	1	部会推薦により1名受賞 鈴木一朗(富士屋ホテル(株))

(エ)建設部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内 容
7/3	親睦ゴルフ大会	箱根CC	13	第1位 勝俣昭彦(箱根建設(株)) 第2位 井上岩男(株)サトー) 第3位 福田和之(株)日立ビルシステム)

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
7/24	合同視察研修会	柏の葉 スマート シティ・ 中央防波堤 埋立処分場	9	まちづくりビジョン特別委員会と合同で 柏の葉スマートシティ及び中央防波堤 埋立処分場及び廃棄物処理施設を視察見学
8/3	親睦花火鑑賞会	酒 匂 川	29	酒匂川花火大会の鑑賞会を開催
10/17	府中市視察会	府中市役所	15	道路包括管理委託事業の現地研修
11/20	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	おだわら 市民交流 センター UMECO	5	部会推薦により5名受賞 尾見好史(株秋山組) 山口昭夫(瀬戸建設株) 猪野良一郎(瀬戸建設株) 豊田伸治(株東海ビルメンテナンス) 柿崎享子(株東海ビルメンテナンス)
11/26	親睦ゴルフ大会	大箱根CC	13	第1位 巻田一浩(株日立ビルシステム) 第2位 佐々木雄二(マルセン株) 第3位 森田宏之(清水建設株)
12/1	都市と交通基盤を 考えるシンポジウム	三の丸小学校 アリーナ	—	交通基盤の重要性と未来の交通基盤を考 えるシンポジウムを開催
2/7	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰 表 彰 式	ロイヤル ホー ル ヨコハマ	1	部会推薦により1名受賞 頼朝 浩(有双馬塗装)
2/19	新春懇親会	だるま 料理店	28	
3/6	親睦ゴルフ大会	小田原湯本 C C	—	【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】

(オ)金融庶業部会

月日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6/19	講 演 会	商工会議所	34	テーマ：風魔一党が世界を変える！ —風魔忍者が現代に果たす役割とは— 講 師：野人流忍術 主宰 甚川 浩志氏
7/17	親睦ボウリング大会	小田原コロナ キャット ボウ ル	74	団体 優 勝 税理士法人エナリBチーム 準優勝 医療法人同愛会 小澤病院 3 位 税理士法人オフィスオハナ 個人 優 勝 石田光識 (税理士法人オフィスオハナ) 準優勝 嶋崎和典 (税理士法人エナリBチーム) 3 位 前田裕貴 (神奈川県信用保証協会)

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
11/20	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	おだわら 市民交流 センター UMECO	3	部会推薦により3名受賞 草柳 恵 (税理士法人 エナリ) 荒川 隆 (臥竜治療院) 鈴木雅子 (株式会社横浜銀行小田原支店)
2/7	神奈川県 優良産業人表彰 表彰式	ロイヤル ホール ヨコハマ	1	部会推薦により1名受賞 金子美代子 (株式会社横浜銀行大雄山支店)
2/18	講演会並びに 新年懇談会	料亭 門松	53	テーマ：富士屋ホテルと箱根の観光 講師：富士屋ホテル株式会社 代表取締役社長 勝俣 伸氏 新入部会員紹介

(カ)交通運輸部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/13	はんどるクラブ コンペ	小田原湯本 C C	8	優勝 秋山 実 (有)小田原ドライビングスクール) 準優勝 高橋光由 (箱根登山鉄道株) 3位 菊川鉄也 (菊川運送有)
8/2	ボウリング大会	小田原コロナ キャット ボウル	36	団体 優勝 箱根登山バス株 準優勝 箱根観光船株 3位 進星流通サポート株 個人 優勝 三根英裕 (箱根ロープウェイ株) 準優勝 来野堅一 (箱根登山バス株) 3位 楓川直道 (箱根登山鉄道株)
11/14 ・15	視察研修会	東京都 埼玉県	19	豊洲市場・首都圏外郭放水路・武蔵陵・朝霞駐屯地広報館等を視察
11/20	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	おだわら 市民交流 センター UMECO	4	部会推薦により4名受賞 磯崎浩人 (株)まるだい運輸倉庫) 早泉正太 (昭和運輸倉庫株) 相原貴子 (相原興業株) 鈴木清太郎 (箱根登山鉄道株)
1/21	はんどるクラブ コンペ	小田原湯本 C C	7	優勝 柴田直明 (株)アールワンロジ) 準優勝 服部純一 (ブリヂストンタイヤ関東株) 3位 高橋光由 (箱根登山鉄道株)

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
2/6	講演会並びに 新年懇談会	銀座ライオン	32	テーマ：道路交通法改正内容について 講師：小田原警察署交通第一課長 佐藤和子氏 テーマ：管内の犯罪情勢について 講師：小田原警察署生活安全課長 前原元樹氏
2/7	神奈川県 優良産業人表彰 表彰式	ロイヤル ホール ヨコハマ	1	部会推薦により1名受賞 狩野祐一（箱根登山鉄道株）

オ ふれあい体験市場

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/22	体験教室	白牡丹	1	革で作るコインケース作り体験
4/23	体験教室	ヤブタ塗料	3	簡単にできるDIY塗装体験～塗装の仕方
4/24	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
5/9	体験教室	白牡丹	1	革で作るコインケース作り体験
5/15	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
5/18	体験教室	松屋	1	若返りは頭皮から！
5/20	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
5/24	体験教室	スズア コーヒー店	5	伊達巻とコーヒーのフードペアリング
6/11	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
6/17	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
6/23	体験教室	小田原 HOJYO庵	5	パノフィーパイの作り方と美味しい紅茶 のいれ方体験
9/23	体験教室	白牡丹	1	革製三連ポーチ作り体験
10/3	体験教室	ヤブタ塗料	3	簡単にできるDIY塗装体験～塗装の仕方
10/9	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
10/16	体験教室	ヤブタ塗料	1	簡単にできるDIY塗装体験～塗装の仕方
10/16	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
10/19	体験教室	河内屋製菓舗	5	和菓子！季節のねりきりを作ろう

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
10/26	体験教室	河内屋製菓舗	4	和菓子！季節のねりきりを作ろう
11/6	体験教室	白牡丹	1	革製三連ポーチ作り体験
11/6	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
11/8	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
11/13	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
11/26	体験教室	ヤブタ塗料	1	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方
12/4	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
12/10	体験教室	ヤブタ塗料	1	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方
1/22	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
1/23	体験教室	ヤブタ塗料	1	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方
1/24	体験教室	白牡丹	2	手縫いで作る革のコインケース
1/29	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
2/4	体験教室	ヤブタ塗料	2	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方
2/4	体験教室	スズア コーヒー店	7	美味コーヒーの淹れ方教室
2/7	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
2/8	体験教室	河内屋製菓舗	4	和菓子！季節のねりきりを作ろう
2/11	体験教室	白牡丹	1	手縫いで作る革のコインケース
2/14	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
2/19	体験教室	中戸川 ボタン店	2	畳のへりで作るトートバッグ作り体験
2/20	体験教室	ヤブタ塗料	3	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方
3/5	体験教室	ヤブタ塗料	2	簡単にできるD I Y塗装体験～塗装の仕方

(2) 意見活動

「かながわグランドデザイン 第3期実施計画（素案）」に関する意見
(神奈川県に5月16日提出)

小田原箱根商工会議所は、小田原・箱根地域内における商工業の総合的な改善発達をはかり、かねて社会一般の福祉の増進を図ることを目的に活動しており、道路問題に関しては、伊豆湘南道路について、平成10年発足の建設促進期成同盟会に参加し、要望活動を行っております。

小田原・箱根地域は豊かな自然と歴史や文化などの地域資源に恵まれ、生活拠点ならびに観光地として、首都圏との間の交通基盤の整備は進んでいますが、一方、周辺の富士・伊豆と一体的に連なる道路網が不足しています。

第3期実施計画(素案)にある神奈川と静岡を跨ぐ自動車専用道路(伊豆湘南道路)はこれらを補う最適な解決策であり、是非進めていただくようお願いいたします。

これにより小田原・箱根地域の観光、商業、工業、物流等は飛躍的に改善し、防災面や生活面でも大きく改善されます。

また、この道路の建設に合わせて大規模災害時の「命の道」を考えて頂きたいと思っております。

この地域は豊かな自然に恵まれている反面、複雑な地形・地質であるため、住民の生活区域が分断し、災害にも強い高規格道路による強固な道づくりが必要であります。

このため自動車専用道を幹として、小田原から箱根に至る道路は国道1号しかないため、箱根町宮城野に至る道路(通称宮城野林道の一般道化)や小田原市の江之浦地区、真鶴町、湯河原町などに的確にアクセスできる道路を枝として整備し、災害に強いかながわづくりを推進していただくことを熱望いたします。

小田原市公共施設包括管理業務委託の選定方式に関する要望 (小田原市、小田原市議会へ8月26日提出)

当所ではかねてより、予算・政策に関する要望において、小田原市発注業務(入札)に関して、地元企業への優先発注を要望してまいりました。

そのような中、このたび、「小田原市公共施設包括管理業務委託」において『プロポーザル方式』による業者選定という公示が、詳細の説明が無くまま小田原市ホームページに掲載されました。この案件は現行の93施設の設備維持管理業務273案件の入札業務が該当致します。

当然のことながら、現行の業務を請け負っている事業者においては「寝耳に水」の話であり、関係する当所建設部会所属の会員企業も、小田原市側より何の説明もない状態であったと聞き、一方的な公示については甚だ遺憾と感じております。

つきましては、今後このような大きな変更がある場合は、事前説明を地元経済団体含めて、関係企業へ行うよう強く要望致します。

また、小田原市の財源の多くは地元企業と市民が負担しております。地域で廻るお金を増やすこと、そして廻るスピードを上げること、つまり「地域経済の循環」が地域経済を元気にしていくことと当

所は認識しています。つきましては、地元企業への配慮として他市でも行っている、発注業務（入札）における評価の加点はもとより、地元には本社のある企業を優遇するなどの条件を入れていただきたく併せて要望いたします。

令和2年度 箱根町予算・政策に関する要望について
(箱根町へ9月5日提出)

○会員企業の個別支援

項 目	理 由
<p>1. 小田原・箱根木製品の販路開拓事業等の継続支援について</p>	<p>当所では（一社）箱根物産連合会と連携して、小田原・箱根地方の伝統工芸である小田原漆器、小田原木製品、箱根寄木細工・木象嵌を神奈川県内はもとより各地域の展示会、イベント等に積極的に参加しPR活動を行ってきております。</p> <p>平成27年3月から、既存の「木製品フェア」に代わり中心市街地でのイベントとして、小田原地下街にて「木・技・匠の祭典」イベントを2年に1度開催し、限られた予算ながらも木の温もりと文化に触れる機会を提供して、中心市街地活性化の一翼を担っております。</p> <p>また、（一社）箱根物産連合会が伝統工芸品の店「WAZA屋」と小田原箱根地域の木製品の店「TAKUMI館」を営業し、木製品の販売、若手職人の作品の展示・販売を行うなど若手の育成指導や販路の開拓、木製品の情報発信に努めております。</p> <p>つきましては、神奈川県の名産100選にも指定されている「小田原漆器」、「小田原木製品」、「箱根寄木細工・木象嵌」、など次世代に継承していくためにも、昨年箱根町がセブンイレブンに続きファミリーマートとの包括連携協定を締結されましたので、両者バイヤーとの関係を密に持って、さらなる地場製品のPRに努めていただきたく、支援策も含め、従前にも増して強力にご支援いただけるよう要望します。</p>
<p>2. 公共工事について</p>	<p>県西地区の建設関連事業者は、アベノミクスの効果を実感できないまま依然として厳しい経営環境におかれています。</p> <p>このような中、地域経済の活性化だけでなく、災害時に対応する地元業者の確保・育成の観点から下記事項についてご高配賜りますよう、引き続き要望します。</p> <p>(1) 地元業者受注機会の確保について</p> <p>現在、箱根町における公共工事は、平成30年度の箱根町入札案件42件中、町内事業所の落札が38件となっており、</p>

項 目	理 由
	<p>地元業者の優先発注に格段の配慮をいただいておりますこと感謝申し上げます。</p> <p>町内の企業が工事等を受注することで、行政が投資した資金が地域内で循環して地域経済の活性化と地元企業の育成につながっていくものと認識しております。地域インフラの安定的な整備・維持管理を行う「地域の守り手」として、担い手を確保し、生産性の向上を図り、その社会的使命を継続していくためには、事業量の安定的・継続的な確保が重要であります。</p> <p>つきましては、今後ともできる限り地元業者が受注できるような取組を継続して推進いただきますよう要望します。</p> <p>(2) 社会貢献企業に対する優遇措置について</p> <p>箱根町におかれましては舗装工事において、除雪や災害時等における地域への貢献度を考慮した発注を行っていただいております。インセンティブ発注は、工事の品質向上、不良不適格事業者の排除、事業者の意欲向上につながるだけでなく、優良な事業者等の適正な評価にも結び付くものと認識しております。こうしたインセンティブ発注の対象工事の種類、件数の拡充を引き続き要望します。</p>
<p>3. 持続可能な中小企業のための支援施策について</p>	<p>我が国の中小・小規模事業者は、今後数年のうちに経営者である団塊の世代の本格的な引退がはじまり、「大事業承継時代」を迎え、事業承継問題を抱える事業者が増加することが小田原・箱根地方でも予想されます。</p> <p>商工会議所では、改正小規模支援法により、小規模事業者による意欲的取組みを支援するため、市場分析、経営分析、事業計画策定、販路拡大などを通じて、小規模事業者に寄り添い伴走型で支援していくことが求められておりますが、多様化・高度化する中小企業のニーズに対応するためには、経営指導員のスキルアップが必要です。</p> <p>少数精鋭で多様なニーズに対応できる指導員の指導力向上を図っていくためにも、今後の補助金措置においては、商工会議所が行う中小企業支援活動に支障をきたさないように、より充実した支援ができますよう安定的・継続的な予算措置を要望します。</p> <p>また、事業者が小田原・箱根地方で継続的に事業をおこなっていくためには、企業体力を強化し、経営改善し、良い形でスムーズに事業承継していくことが必要です。</p> <p>そのため、以下の項目について要望します。</p>

項 目	理 由
	<p>(1) マル経融資制度の利子補給制度の創設</p> <p>経営改善を目的とした、「小規模事業者経営改善資金（マル経資金）」（貸付限度額 2,000 万円、無担保・無保証人・低利）について、当所では積極的に事業者を活用していただき、県内でも利用件数、金額ともに上位を占め、小田原・箱根管内で、年間約 100 件、6 億円前後の融資を政府系金融機関である、日本政策金融公庫より実行していただいております。</p> <p>つきましては、経営改善を図り、県内他市町以上に事業継続し易い箱根に向かい、小規模事業者経営改善資金（マル経資金）への利子補給制度の創設の検討を引き続き要望します。</p> <p>(2) 信用保証料補助限度額の拡大</p> <p>信用保証料補助限度額の拡大についても、より多くの事業者の申請に応えるべく、補助金予算額の拡充を要望します。</p> <p>(3) 事業承継マッチング事業への支援</p> <p>企業体力の弱い中小・小規模事業者の経営改善を図り、持続可能な経営力を身に付けていくための支援とあわせて、さまざまな事業承継に対応するため、「神奈川県事業承継ネットワーク」の活用や、昨年 12 月に当所を中心に立ち上げた「小田原箱根事業承継マッチング事業～櫛をつなぐ～」を運営し、事業継続支援に力を注いでおります。箱根町においても、管内事業所数を維持するため、当事業の P R とともに、創業支援にも積極的にご支援賜りますよう要望します。</p>

○商売の環境整備としてのまちづくり

項 目	理 由
4. 空き家対策について	<p>(1) 空き家バンク周知の推進</p> <p>箱根町におかれましては、町内の空き家等の有効活用と定住人口の増加を目的とした空き家バンクの利用促進を図るために、平成 30 年 10 月から空き家バンク登録物件を対象としたリフォーム補助制度の対象範囲を賃貸にも広げたほか、補助額も対象額の 2 分の 1 (上限 50 万円) に増額されました。この施策が活力あるまちづくりの促進につながりますよう、更なる空き家バンク周知の推進を図っていただくことを要望します。</p> <p>(2) 既存建築ストックの有効活用</p> <p>国は建築基準法の一部を改正する法律を平成30年6月2</p>

項 目	理 由
	<p>7日に公布しました。戸建て住宅から特殊建築物（例：福祉施設・商業施設・宿泊施設等）への用途変更の際に、床面積200㎡までであれば確認申請が不要となりました。空き家活用の促進のため、既存建築物をそれ以外の用途に変更して活用することが社会的にも求められている現状であります。耐震診断や耐震改修にかかる費用に対する助成のみならず、既存建築ストックの有効活用に向けた取組みを一層図っていただけますよう併せて要望します。</p>

○小田原・箱根ならではの観光振興

項 目	理 由
<p>5. 箱根町の観光について</p>	<p>2016年6月に、小田原・箱根の問題点を整理し、「小田原箱根観光ビジョン」として提言しましたが、この提言を踏まえ、下記事項について昨年に引き続き要望いたします。</p> <p>(1) 「小田原箱根観光ビジョン」への対応について 当所で提言した「小田原箱根観光ビジョン」を箱根町の観光施策に活用願いたい。</p> <p>(2) 箱根湯本駅前公衆トイレのリニューアルについて 箱根湯本は、箱根の玄関口として多くの観光客が訪れており、その箱根湯本駅前の地下トイレは、利用頻度が非常に高いのにも関わらず、観光客を迎え入れる施設とは言いがたいものになっております。 箱根の玄関口として多くの観光客を迎え入れる施設として、箱根湯本駅前公衆トイレは重要であることから、リニューアルにつきまして早急に予算措置をしていただきますよう要望いたします。</p> <p>(3) 緊急時町内放送の外国語対応について 箱根町には、多くの外国人観光客が訪れますが、緊急時の町内放送について、大涌谷周辺以外には外国語での対応はされていない状況にあります。 外国人観光客の安全安心はもとより、質の高い観光地づくりを目指すとともに、国内外から更なる観光客の誘客を図るためにも必要な事ですので、外国語での緊急時町内放送について箱根全地域で早急に対応していただきますよう引き続き要望いたします。</p>

○安心・安全なビジネスインフラの整備

項 目	理 由
6. 防災生活幹線道路の整備について	<p>足柄幹線林道は林業等従事者のみができる道路と位置付けられておりますが、生活道として町民も利用しており、また災害時には小田原と箱根を結ぶ国道1号線の迂回道路としての重要な役割を担うものと想定されます。</p> <p>昨年当所では都市と交通基盤の観点から県西地域の未来を考える「みらいの道シンポジウム」を開催し、経済や観光、防災という観点からも道路整備の必要性を再認識いたしました。道路ネットワークの多重化により、地域孤立リスクの低減を図ることができることから、足柄幹線林道が大きな災害にも耐えうるハード面を強化し、安全を担保した施設になるよう引き続き神奈川県に更なる働きかけを要望いたします。</p>

○その他

項 目	理 由
7. 箱根湯本滝通り及び旧道（県道湯本・元箱根線）道幅拡張について	<p>湯本の滝通りには、多くの観光客の乗用車やシャトルバス、さらには、旧道を経由して滝通りの途中まで大型バスが通行しております。</p> <p>しかしながら、旧道及び滝通り共、数ヶ所に道幅が狭く、車の行き違いができずに渋滞が生まれるなど、観光客のアクセスに支障をきたしております。</p> <p>また、歩行者が多いにもかかわらず、道幅が狭いため歩行者の安全性についても問題がある状況となっております。</p> <p>観光客のアクセスのしやすさと、観光客の安全性のため、道路拡張用地の取得や県への働きかけなど継続的に道幅の拡張に向けた整備推進を引き続きしていただきますよう要望いたします。</p>
8. 箱根の総合的な雪害対策について	<p>箱根は平成26年に大雪があり、平成30年3月にも季節外れの降雪など、頻繁に雪害が発生しており、国際観光地に恥じない対策を取っていく必要があります。</p> <p>極端な災害に匹敵するような雪害対策については、凍・雪害対策本部を設置し、計画に従い行動することになっていることは理解しましたが、それに満たない降雪に対しても、電車やバスを待ち、さらには目的地まで徒歩で向かおうとする観光客の姿、ノーマルタイヤで立ち往生する車両、車の乗り捨てや、樹木の倒壊があり、それにより思うように除雪が進まない状況などを考えると、まだまだ問題が山積みの状況であります。</p> <p>これらの問題を1つ1つ解決し、多くの関係者が一体となって取り組むためにも、自治体をはじめ交通事業者、道路管理者、警察、観光事業者等の関係者が議論する場を神奈川県及び箱根町が</p>

項 目	理 由
	中心となり設けていただくことを要望します。

令和2年度 小田原市予算・政策に関する要望について
(小田原市へ9月24日提出)

○会員企業の経営支援

項 目	理 由
1. 小田原・箱根木製品の 販路開拓事業等の継続 支援について	<p>当所では（一社）箱根物産連合会と連携して、小田原・箱根地方の伝統工芸である小田原漆器、小田原木製品、箱根寄木細工・木象嵌を神奈川県内はもとより各地域の展示会、イベント等に積極的に参加しPR活動を行っており、平成27年3月から、既存の「木製品フェア」に代わり中心市街地でのイベントとして、小田原地下街にて「木・技・匠」イベントを2年に1度開催し、限られた予算ながらも木の温もりと文化に触れる機会を提供して、中心市街地活性化の一翼を担っております。</p> <p>また、（一社）箱根物産連合会が伝統工芸品の店「WAZA屋」と小田原箱根地域の木製品の店「TAKUMI館」を営業し、木製品の販売、若手職人の作品の展示・販売を行うなど若手の育成指導や販路の開拓、木製品の情報発信に努めております。</p> <p>つきましては、神奈川県の名産100選にも指定されている「小田原漆器」、「小田原木製品」、「箱根寄木細工・木象嵌」、など製品材料の仕入れが難しくなった状況の中、職人の高齢化も進み、伝統文化を絶えさせないよう次世代に継承していくため、また若手や今後木工業に関わる方々を育成する道筋を立てるためにも、人材育成支援や販路拡大支援とともに、時代のニーズをとらえるための商品開発支援なども、強力にご支援いただけるよう要望します。</p>
2. 地元建設業者の育成支援 及び公共工事について	<p>小田原市における公共工事は、市内業者で対応できない特殊案件以外は、市内本店企業への発注を行っていただき、大型工事も、可能な限り複数の工種に分離し、市内本店企業へ発注するなど、地元業者への発注についてご配慮いただいていることと存じます。平成29年度の受注割合の実績から予定価格130万円を超える工事の発注件数は222件で、市内本店企業が受注した件数は191件、86%となっております。一方、総金額は約60億47百万円で、市内本店企業が受注した契約金額は約6割弱程度となっております。</p> <p>市内本店企業が受注した工事の割合が地元建設業者の育成支援に役立ち、若年者の雇用確保にも繋がることから、出来る限り市内本店企業へ発注していただくこととともに、市内本店企業が受注す</p>

項 目	理 由
	<p>る工事の契約金額も引き続きご配慮くださいますようお願いいたします。また、より地元業者への発注が促進されますよう、大手建設業者が受注した案件でも、地元下請け業者に工事を発注する契約条項（仕様書）の義務化も併せて要望します。</p> <p>以下、さらに地元建設業界育成支援につながる項目内容を列挙し、要望します。</p> <p>(1) 工事の平準化について</p> <p>小田原市では、工事の早期発注や工事の平準化について、平成28年度・平成29年度・平成30年度と「ゼロ市債」による工事の前倒し発注を実施していただいております。工事金額や工事件数についてご配慮をいただいておりますこと感謝申し上げます。</p> <p>つきましては、引き続き配慮いただきますようお願いします。</p> <p>(2) 総合評価方式の見直しについて</p> <p>小田原市では、入札契約検討委員会において、「簡易型」の採用について検討され、平成28年度の総合評価方式に加えられましたが、平成30年度まで「簡易型」は実施されておられません。つきましては、本年度は「簡易型」を実施し、施行結果について検証していただきますようお願いします。</p> <p>(3) 公共工事における提出書類の簡素化について</p> <p>小田原市では、公共工事の契約金額により工事完成検査時の提出書類の簡素化を図っていることは承知しておりますが、建設業界から見ますと、依然として書類の提出量が多く、業務負担が過剰なものとなっております。</p> <p>つきましては、必要に応じて適宜見直しを図っていただき、公共工事の契約金額に応じて、更なる簡素化を図っていただきますようお願いします。</p> <p>(4) 小規模施工時の最低補償額の対応方針の遵守と130万円以下の工事発注における基準の見直しについて</p> <p>1日未満で完了する小規模施工は、作業時間を2時間で積算するため、数量による積算では実態と乖離が生じることから、機械・労務費は4時間以下を半日分、4～8時間を1日分とみなす最低補償額を設け、実態を正確に反映できるよう国土交通省より対応方針が出ております。つきましては、神奈川県や他市と連携を取りつつ対応方針に則った対応を引き続き要望します。</p> <p>また、予定額が30万円超130万円以下の工事発注は所管課の管轄となり、見積もり合わせについても3社見積もりを行っていることを承知しております。しかしながら、所管課での予定額と業者が提出した見積額の差が生じ、時として全ての業者が所管課での予定額を上回るケースがあります。つきましては、現場を十分</p>

項 目	理 由
	<p>調査した上での設定金額にさせていただきますよう併せて要望しますとともに、地方自治法施行令（随意契約）第67条の2の別表5で、工事又は製造の請負は、市町村は130万円以下と決まっていることは承知しておりますが、2019年10月1日の消費税率の更なる引き上げを控え、業者も価格転嫁が厳しい現状もご承知置させていただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>3. 持続可能な中小企業のための支援施策について</p>	<p>我が国の中小・小規模事業者は、今後数年のうちに経営者である団塊の世代の本格的な引退がはじまり、「大事業承継時代」を迎え、事業承継問題を抱える事業者が増加することが小田原・箱根地方でも予想されます。</p> <p>当所では、改正小規模支援法により、小規模事業者による意欲的取組みを支援するため、市場分析、経営分析、事業計画策定、販路拡大などを通じて、小規模事業者に寄り添い伴走型で支援していくことが求められております。</p> <p>事業者が小田原・箱根地方で継続的に事業をおこなっていくためにも、企業体力を強化し、経営改善し、良い形でスムーズに事業承継していくことが必要です。つきましては、下記項目についてご支援賜るよう要望します。</p> <p>(1) マル経融資の利子補給制度の創設</p> <p>経営改善を目的とした、「小規模事業者経営改善資金（マル経資金）」（貸付限度額2,000万円、無担保・無保証人・低利）について、当所では積極的に事業者を活用していただき、県内でも利用件数、金額ともに上位を占め、小田原・箱根管内で、年間約100件、6億円前後の融資を政府系金融機関である、日本政策金融公庫より実行していただいております。</p> <p>つきましては、経営改善を図り、県内他市町以上に事業継続し易い小田原に向かい、小規模事業者経営改善資金（マル経資金）への利子補給制度の創設の検討を引き続き要望します。</p> <p>(2) 信用保証料補助金予算額の拡充</p> <p>信用保証料補助限度額の拡大については、多くの事業者へ利用していただく観点から限度額の拡大は難しいとのこと回答ですが、より多くの事業者の申請に応えるべく、補助金予算額の拡充を要望します。</p> <p>(3) 事業承継マッチング事業への支援</p> <p>企業体力の弱い中小・小規模事業者の経営改善を図り、持続可能な経営力を身に付けていくための支援とあわせて、さまざまな事業承継に対応するため、「神奈川県事業承継ネットワーク」の活用や、昨年12月に当所を中心に立ち上げた「小田原箱根事業承継マッチング事業～櫛をつなぐ～」を運営し、事業</p>

項 目	理 由
	<p>継続支援に力を注いでおります。小田原市においても、管内事業所数を維持するため、積極的にご支援賜りますよう要望します。</p>

○商売の環境整備としてのまちづくり

項 目	理 由
<p>4. いのち輝くまちづくり構 想推進について</p>	<p>小田原市久野のイオングループ所有の土地（J T跡地）の開発計画について、平成27年7月にイオングループ、小田原市、神奈川県、小田原箱根商工会議所による「いのち輝くまちづくり構想4者研究会」が発足し、小田原市からは都市部長、経済部長、企画部政策調整担当部長に構成メンバーに加わって頂き、研究会を開催してまいりました。</p> <p>研究の成果として基本計画を発表し、現在は、商連会長、医師会代表などに加わっていただき、新たな構成メンバーで、基本構想で掲げた6本の柱の中心である地域医療体制との連携、健康増進施策の推進、県の「未病を改善する」拠点としての機能と位置付けの具現化や、求められる商業施設づくりにイオングループの進捗状況報告を受けながら懇談を行っております。</p> <p>つきましては、構想が具現化できますよう、引き続き行政としての支援を要望します。</p>
<p>5. 空き家・空き店舗対策に ついて</p>	<p>小田原市では、空き家等の活用を通じて、定住促進等による地域の活性化を図るため、空き家バンクの取り組みを始められておりますが、これについては人口増加対策として有効なものの一つであると認識しております。</p> <p>他地域の空き家バンクでは購入者に取得に要した費用や賃貸者・賃借者への住宅改修費用の一部助成など、利用促進を目指し、行政が各種補助金を盛り込んでおります。小田原市においても「店舗単位」ではなく、「商店街単位」での空き店舗対策の支援を行っておりますが、平成28年度から平成30年度の助成金採択件数は併せて1件となっており、その効果をみると空き店舗の利用促進に有効と見るには程遠い状況となっております。当所では第3新創業塾やおだわら起業スクールの開催を通じ、積極的な創業支援や移住の啓発を行っておりますが「店舗単位」であれば高い起業マインドを持った受講生が自ら支援を申し出ることができますが、商店街単位での支援実績から鑑みますと、そういった受講生の機会損失に繋がりがかねません。つきましては、空き家バンク周知の積極的な推進と、商店街単位に加えて店舗単位など効果のある支援を当所との連携も加味していただき、引き続き強く要望します。</p>

項 目	理 由
<p>6. 都市計画道路計画の再構築について</p>	<p>小田原駅周辺の都市計画道路については、計画決定されてから数十年経過していながら一向に事業決定されていない路線が存在しており、当所におきましては中心市街地活性化特別委員会にて、中心市街地の再開発を推進する観点から都市計画道路の計画見直しについて勉強会を開催するなど調査研究をしているところです。</p> <p>調査・研究のなかで現状の都市計画道路の幅員およびルートを変更しても円滑な交通体系を整えることは可能と思われます。</p> <p>現在当所中心市街地活性化特別委員会や小田原駅前まちづくり協議会等に市の担当者にも参加いただき、意見交換させていただいております。小田原市では都市計画道路の見直しを平成30年度に実施するとなっておりますがその作業はなされたのでしょうか。行っていないと認識しております。</p> <p>小田原駅前の活性化は、市全域の活性化に直結するものであり、極めて重要です。</p> <p>特に計画されたまま世紀的期間、硬直化している都市計画道路の見直しは必須の事と思われます。</p> <p>都市計画道路の見直しにつきましては現状の計画以外にも可能な方法等を提示し、現況に即した見直し、変更を必ず行っていただき、未来を見据えた計画へ速やかに再考していただけるよう要望します。</p>
<p>7. 小田原駅西口の開発について</p>	<p>小田原駅西口周辺については、平成29年1月に土地所有者などによる「小田原駅西口まちづくり協議会」が設立され、西口広場を含む一体的な再開発について、調査・研究しつつ協議を進めていると理解しております。</p> <p>その中心を成す西口広場は、平成15年に完成したアークロードの建設に合わせ、限られた用地の中、最善の再整備を行ったものと認識しておりますが、その現況は、ロータリーが雨天時に大混雑になるなどロータリーの機能を十分に果たしていない状況です。そんな中、個別の開発案件が進行しています。</p> <p>小田原市では、「小田原駅西口まちづくり協議会」の活動や建替え等の再生を絡めたまちづくりの動きにも呼応しながら、課題の解決策を探っていると認識しておりますが、最大の問題は西口広場を含めた西口全体の整備計画が不在であることと考えます。</p> <p>小田原市におかれましては、建物の高さ制限、日影規制等のハード面の課題と併せ、用途地域や地区計画といったソフト面の課題を含め、立地適正化計画の下、地権者、JR東海などを巻き込んだ将来的な西口の全体の整備構想の策定に対してリーダーシップを発揮していただき、率先して取り組んでいただくよう要望します。</p> <p>当所といたしても、積極的に協力させていただきますことを申し添えます。</p>

項 目	理 由
8. 土地利活用について	<p>都市機能誘導は今後増えていくであろう社会扶助費を支えていくうえでも有効な政策であると考えます。</p> <p>しかしながら、小田原駅前を鑑みますと、狭い路地が張り巡らされ、老朽化した建物が密集しており、美観とはとても言えない箇所も多く見受けられます。</p> <p>先般、高度利用の見直しにより、公開空地など優れた都市環境づくりが提案されていると認識しておりますが、1,000㎡以上の一団の敷地の権利者に活用が限定されかねず、複数の地権者が絡んだ再開発を促す政策も必要と考えられ、都市計画道路の見直しと併せて複合的に効果的な街づくり政策を作成する必要があると思います。</p> <p>県内には既に制度として全て整っている自治体がいくつもありますので、高さ制限の緩和だけでなく、都市計画道路の見直し、優良建築物等整備事業、税制上の優遇はセットで進めるべきと考えます。今回の見直しの地域に加え、少年院跡地も含めるべきであると考えます。</p> <p>また、立地適正化計画の都市機能誘導区域に含まれている鴨宮、国府津地区にも高度利用の緩和を適用するなど、都市計画道路と優良建築物等整備事業を見直し、高度利用の緩和と組み合わせることで、都市の再整備が加速すると思われま。地域のバランスも考え、小田原駅前以外の他地域にも適用の検討をすべきと考えます。</p> <p>他地域も参考にしつつ、持続可能な発展が期待できる都市計画の策定を要望するとともに、以下、土地の利活用に資する列挙項目について、見直し検討を要望します。</p> <p>(1) 市街化区域</p> <p>小田原市は地方再生コンパクトシティのモデル都市として選定されましたが、「小田原市立地適正化計画策定」にあたっては、一般的な、人口密度と照らし合わせた一局集中のコンパクトシティを目指すためのものではなく、小田原市の歴史・地域特性を踏まえたエリア視点を考慮した、「コンパクトシティ小田原モデル」ともいえるものを構築できるよう要望いたします。また、小田原駅を中心とした市街化区域にて都市機能の強化をはかるものと推測しますが、市民・地元事業者の意見やアイデアを柔軟に活かし、民間資本が参入しやすい仕組みづくりなど、積極的に反映していただくよう併せて要望します。</p> <p>(2) 市街化調整区域</p> <p>小田原市では、市街化調整区域の土地利用の在り方について、現行の開発許可制度による市街地の外延化や宅地化に伴う</p>

項 目	理 由
	<p>優良農地の営農環境の悪化などの課題に対応すべく、平成30年11月30日に新たな開発許可制度が施行されました。小田原市が目指すコンパクトシティを構築し、且つ地域コミュニティーを維持しつつ各地域の活性化を図るための制度であると認識しておりますが、外延部においても、調和がとれ、地域コミュニティーを維持する開発は認めるべきと考えます。</p> <p>民間主導の開発でも十分可能なことですので、改めて都市計画法34条の柔軟な運用など市街化調整区域の開発制度の見直しを要望します。</p> <p>(3) 立地適正化計画</p> <p>ア 都市機能誘導区域</p> <p>小田原市は小田原駅を中心とした広域中心拠点や鴨宮駅を中心とした地域中心拠点など、拠点ごとの特色を踏まえたエリア設定を行っておられますが、立地適正化計画は、施策の進捗管理指標や計画全体に係る目標値を居住誘導区域の設定と合わせて平成30年度末までに設定した上で、おおむね5年毎に進捗状況の評価・検証を行い、必要に応じて見直しを検討するものと認識しています。民間が進める計画につきましても本計画に照らし速やかなる行政の支援を図られるよう要望します。</p> <p>イ 居住誘導区域</p> <p>小田原市は①既存ストック（都市機能・都市基盤・住宅）が充実する区域への誘導②歩いて暮らせる区域（拠点周辺の市街地、公共交通沿線等）への誘導③災害リスクの高い区域への誘導抑制、という3つの居住誘導区域設定の考え方を踏まえ、平成30年度に設定しました。</p> <p>しかしながら、寿町、東町、久野地域や鴨宮地域などの一部は居住誘導区域に設定されていないところがあると認識しております。</p> <p>これらの地域は、人口密度もあり、また②の公共交通が既に1時間に3本以上の運行密度あり、①も③も該当します。</p> <p>つきましては、都市計画審議会の答申にも「適宜見直す」とありましたが、居住誘導区域の見直しを図って頂きたいと要望します。</p> <p>(4) その他</p> <p>居住誘導区域外の区域で建築物の開発行為を行おうとする場合などを対象に市長への届出が必要となること承知しておりま</p>

項 目	理 由
	<p>す。つきましては、居住誘導区域外で、生活上の支障や経済的不利益が発生しないよう、保全と対策を要望します。</p>
<p>9. 将来を見据えた都市構想の策定について</p>	<p>昨年当所では都市と交通基盤の観点から県西地域の未来を考える「みらいの道シンポジウム」を開催し、経済や観光、防災という観点から将来を見据えた道路整備の必要性を再認識いたしました。また、当所は伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の一員を担い、観光の活性化、広域的な都市間交流による新たな地域文化の創造、災害対策などに貢献する同道路建設を、当県と静岡県にまたがる経済界と行政が一体となり積極的に推進しております。かながわグランドデザイン第3期実施計画にありますように、「神奈川と静岡の県境をまたぐ道路計画の促進」が施策に盛り込まれており、富士・伊豆と一体的に連なる道路網建設は急務であります。</p> <p>小田原市においても人口減少・少子高齢化の時勢の高まりから、自治体間における広域連携の重要性はますます高まりを見せているものと認識しており、県西地域においては、各首長を中心とした「神奈川県西部広域行政協議会」を設置し、基礎自治体を取り巻く諸状況の変化への的確な対応及び高度化する広域的課題の確かな解決策について、共同して調査及び研究を進めてられることと思えます。</p> <p>しかしながら、市民が健康で快適な生活環境を確保できるよう住みやすい都市を作り上げていくためには、都市としての将来像をしっかりと示し、これを進めていく姿勢を市民に明らかにすることが重要であり、それがひいては人口流出の防止にも繋がるものと考えことから、下記の項目について要望します。</p> <p>(1) 県境を越えた圏域での都市構想の策定</p> <p>神奈川県西部広域行政協議会を軸に県西地域の市町とともに、圏域の課題認識の共有等を継続しながら、将来にわたる圏域の持続可能性について継続して追求していただくとともに、静岡県も含めた広域な都市間交流も鑑みての都市構想を策定いただき早急にお示しいただきたく要望します。</p> <p>(2) 都市構想策定における専門的知識を持った職員の配置</p> <p>また、策定に向けて専門的知識を持った職員を配置し、組織力を強化したうえで20年後・30年後の中核都市としての都市構想を至急策定されるよう引き続き要望します。</p>
<p>10. 優良建築物等整備事業における5案の運用について</p>	<p>一定の空地確保や土地の共同化、高度化に寄与する優良な建築物等に支援が行われる優良建築物等整備事業につきましては、既存市街地のリノベーションを促進する優良再開発型の「共同化タイプ」</p>

項 目	理 由
	<p>「市街地環境形成タイプ」「マンション建替タイプ」、住宅の供給を促進する「市街地住宅供給型」、既存ストックを現在の居住ニーズ等にあったストックに改修する「既存ストック再生型」の5種類があります。</p> <p>しかしながら、小田原市は2人以上の権利者等が2以上の敷地等を共同化して事業を行う「共同化タイプ」と、建築協定・地区計画等による市街地整備にあたる「市街地環境形成タイプ」の2種類の事業タイプのみ対応しております。</p> <p>市街地環境の向上や良質な市街地住宅の確保を推進していくためには、タイプを限定せず、全てを勘案しながら進めていくことが重要と考えますので、5種類の事業タイプ全ての運用を検討いただきますよう要望します。</p>
11. 市立病院建替えと機能整備について	<p>平成29年度からスタートした「小田原市立病院改革プラン」により、老朽化した市立病院の建て替えは喫緊の課題であり、建て替えを前提とした新病院の施設整備に向かっていることと存じます。市民、商工業者として、高度な医療が可能な新病院として一日も早い実現が待たれます。</p> <p>さて、現地建替えの方針で進められておりますが、現地建て替えは費用が多くかかるだけでなく、時間もかかると思われま。さらに、病人が工事現場の近くを通らざるを得ないこと自体避けるべきことと思います。再検討の余地があるならば、従前から提案させて頂いていますイオングループが取得されている土地への可能性の議論と、県と調整頂き、足柄上病院との機能分担による県西地域市民、外国人を含む観光客が安心して高度医療が受けられる病院としての運営を再検討願いたく要望します。</p>

○小田原・箱根ならではの観光振興

項 目	理 由
12. 小田原駅東西自由連絡通路における5路線を網羅した発車時刻表サインの設置について	<p>小田原駅は、JR東海道新幹線、JR東海道本線、小田急線、大雄山線、箱根登山線の5路線とバス会社4社が乗り入れております。背後に富士箱根伊豆国立公園を控え、神奈川県西部の交通の要衝として、また、広域的なアクセスの結節点として大きな役割を担っています。</p> <p>しかしながら通路内に5路線とバス路線を網羅した一覧できる発車時刻表サイン（電光掲示板）はありません。小田原市は駅利用者の乗継環境の円滑化に向け、鉄道のダイヤ改正に合わせた路線バスの到着・出発時刻の見直しや、ハルネ小田原におけるバス時刻表の統一化など、可能なものから実施しているとのことですが、外国人観光客を含めた利用者の乗り継ぎ環境の向上にも繋が</p>

項 目	理 由
	<p>ることから鉄道各社・バス会社への設置の働きかけを強く要望します。</p>
<p>13. 小田原駅に隣接する公共施設内のトイレ・授乳施設の実態把握について</p>	<p>小田原駅は国際的観光地である富士や箱根、伊豆をひかえた、いわば首都圏の西の玄関口として発展してまいりました。</p> <p>そして駅周辺は、就業・就学・消費活動・行政サービス・医療など、県西地域の社会経済の中心地となっており、市民の往来も多く、小田原城のみならず、数多くの歴史的・文化的資産が散在し、歴史・文化拠点ともなっております。</p> <p>小田原市としましても平成34年度までを対象期間とし、観光振興の指針となる「小田原市観光戦略ビジョン」を策定し、「小田原ファン倍増宣言」として、平成41年度までに現在451万人の入込観光客数を倍以上の1,000万人とすることを目指していることは承知しております。</p> <p>しかしながら、訪れた人が何度も小田原市を回遊し、小田原のよさを多く発見することによって、最終的に本市へ「住みたい」と思う来訪客を増やし、定住の人口増加につながる観光まちづくりを目指すのであるならば、回遊しやすい環境を整えることが重要であると認識しております。</p> <p>その環境整備の中でも公共トイレや授乳施設の設置については、観光地としておもてなしをする際には必須であります。市としましては桜の開花時期や北條五代祭り開催時などの繁忙期を除き、トイレ待ちの行列を確認していないことから、特に小田原駅周辺に公衆トイレが不足しているとの認識は無いとのことですが、要所要所にトイレがあることが定住の人口増加につながる観光まちづくりに大いにつながるものであると思います。また、授乳施設に関しては、小田原市のホームページの情報によりますと、子育て家庭を対象としたサービスを提供している施設や商店を掲載した「子育てにやさしいまなざしマップ」を携帯サイトで閲覧できるとのことですが、既に無い施設の情報が掲載されているなど来訪者の受け入れ環境の充実という面では程遠い内容となっております。つきましては、小田原市として小田原駅に隣接する公共施設内のトイレ・授乳施設の実態把握とともに、実情に応じた来訪者の受入環境の整備を進めていただきますよう要望します。</p>
<p>14. 小田原城への登城サインの更なる増設及び誘導について</p>	<p>小田原城は平成29年度に約74万人の入城者数となるなど、観光客のみならず、市民からも愛されるまさしく小田原市のシンボルとなっております。</p> <p>お堀端通りから馬出門を通り、住吉橋、銅門、常盤木門を通り本丸に向かうルートが正規登城ルートとなっておりますが、お城</p>

項 目	理 由
	<p>通りから、本丸に向かう際には、登城ルートが分かりづらいため、迷われる観光客も多数見受けられるのが実情です。小田原市としても課題認識を持ち、これまでも様々な取組を行ってきており、設置したサイン類の効果が確実にできていると認識されているようですが、2020年7月から開催を予定している東京オリンピック・パラリンピックなど世界的なイベントを控え、小田原市への来訪者も増える見込みであることから、正規登城ルートの確実な周知と登城サインの増設・充実も含めた受け入れ態勢の強化を要望します。</p>
<p>15. 来街の外国人観光客への対応について</p>	<p>新幹線とバスの乗り換えの拠点である小田原駅西口コンコースには大型の荷物を携えた大勢の外国人観光客が集まっており、さらに今後増加することが予想されます。</p> <p>小田原観光の玄関口である小田原駅に立ち寄って、お城や海が至近にある小田原を楽しんでもらえる施策として、外国語での観光の案内、荷物の預かりや宅配、市内観光への誘導等、サービスが提供できていない現状であることが、今年当所が実施した西口をご利用されている外国人観光客を対象としたアンケート結果からもわかりました。</p> <p>J R 東海には一昨年から要望を伝え、今年度に入り観光課、観光協会とともに仮設でも案内所の設置に向かえるよう打合せをして参りました。J R 東海として設置にあたっての契約の当事者は小田原市でないとできないとの話でした。インバウンドの方へ小田原で好印象を持って過ごして頂くため、行政が主体となって積極的に進めて頂きますよう要望します。</p>
<p>16. 早川新施設を含むエリアの整備と活性化計画の策定について</p>	<p>「小田原漁港交流促進施設 漁港の駅 T O T O C O 小田原」は、水産業の振興と地域活性化を図ることを目的に、鮮魚、活魚及び水産加工品など地場水産品の販売や飲食を核として、地場産の農産物、土産物等の提供を行い、さらには小田原の観光など情報発信機能を備え、2019年11月にオープンすると公表されていますが、小田原・箱根地方を訪れる観光の目的のひとつとして、非常に期待が持てる場所です。</p> <p>そのため、より一層旅まえ目的として観光客に訴求できるように、当該施設と既存の施設（本港とその周辺の商業施設も含めた施設）とJ R 早川駅という3つの基点を連携し、相乗効果を生むための施策を商業、漁業、観光を含む民の知恵を活かし、行政においては組織横断的な体制で推進していただきますよう要望します。</p>
<p>17. 小田原駅周辺商店街への回遊性向上策について</p>	<p>小田原駅前整備については、「小田原駅東口お城通り地区再開発事業 広域交流施設ゾーン整備事業」を万葉倶楽部(株)が事業</p>

項 目	理 由
	<p>者となり、商業施設や宿泊施設のほか、小田原市が求めている公共・公益施設としてライブラリーや子育て支援機能、コンベンション機能なども有した施設になると伺っております。また、交通機能については、観光バスの乗降場も設けるなど、小田原駅東口の商業・観光を担う施設として令和2年中の開業に向けて建設が行われていることと承知しております。</p> <p>商業や観光・交通の面で小田原駅東口の施設の充実が高まることは、小田原や箱根を訪れるお客様にとって、利便性の向上につながることで存じますが、小田原城へ向かうお客様の導線が、せっかく観光客に認知されつつある正規登城ルートを通らず、お城通り再開発事業の施設から小田原城北口から天守閣へ登り、また同じルートで小田原駅へ向かってしまうことが想定され、観光客の導線や、周辺商店街への回遊性が懸念されます。</p> <p>つきましては、小田原市としても、小田原駅周辺商店街への回遊性向上もはかるべく、小田原駅周辺機能の将来像をお示ししていただくとともに、回遊性向上策を商店街や商工会議所とともにご検討していただきたく要望します。</p>

○雇用開発

項 目	理 由
<p>18. J R 東海道線 上り 電車 終電 の 繰下 げ に つ い て</p>	<p>小田原駅発車の J R 東海道線 上り は、小田原駅 23 時 10 分 発 の 品川 行 き が 最 終 電 車 と な っ て お り、小田急線 最 終 電 車 の 00 時 03 分 発 に 比 べ 約 1 時 間 も 早 く 終 電 と な っ て お り、横 浜 や 東 京 方 面 に 帰 る ビジネス客や観光客にとって大変不便で、その結果、小田原での滞在時間の減少に伴い消費行動の妨げになっております。</p> <p>また、23 時 近く まで 営 業 を 行 っ て い る 飲 食 業 な の 店 舗 に お い て は 従 業 員 の 帰 宅 に つ い て も 考 慮 し な け れ ば な ら な い こ と か ら、東 海 道 沿 線 上 り 方 面 で の 人 材 確 保 が 難 し く な っ て お り、雇 用 面 で も 影 響 が 出 て お り ま す。</p> <p>さ ら に、当 地 で は 2020 年 東 京 オ リ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 競 技 大 会 の 事 前 キ ャ ン プ 候 補 地 へ の エ ン ト リ ー を し て お り、今 後、注 目 度 や 集 客 力 が さ ら に 高 ま っ て い く こ と が 予 想 さ れ ま す。</p> <p>こ の よ う な こ と か ら、県 西 地 域 の 拠 点 と し て さ ら に 利 便 性 の 強 化 を 図 り、ひ い て は 小 田 原 市 の 経 済 活 性 化 に も 繋 が る も の と 考 え て お り ま す の で、J R 東 海 道 線 の 上 り 最 終 電 車 の 時 刻 に つ い て、せ め て 小 田 急 線 同 様 の 30 分 ~ 40 分 後 の 0 時 に 近 い 時 間 に 設 定 し て い た だ き た い と 願 っ て お り、本 要 望 は J R 東 日 本 が グ ル ー プ 理 念 や サ ス テ ナ ビ リ ティ レ ポ ー ト で も 述 べ て い る 「『 J R 東 日 本 グ ル ー プ だ か ら で き る 』 地 域 活 性 化 策」 に 合 致 す る も の で あ る と 考 え ま す。</p>

項 目	理 由
	<p>つきましては、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議等において神奈川県をはじめ沿線自治体と歩調を併せて鉄道事業者へ要望いただきますようを要望します。</p> <p>なお、本要望につきましては、過去に利用率が低調であることを理由に聞き入れられていないと伺っておりますので、時季運行やテスト運行等により効果をJR東日本に検証いただきたく、申し添えさせていただきます。</p>
<p>19. 女性や障がい者が活躍できる職場づくりへの事業所への配慮について</p>	<p>日本で急速に進む少子高齢化問題は、将来的には老人が多くなり、働ける若者の数が少なくなることは必至であり、女性や障がい者の社会進出率を高めることが、至上命題となっております。</p> <p>そのため、新卒者はもとより産前後離職、介護離職をした後に社会復帰したい女性や新たに雇用された職員が働きやすい環境を作るため、女性活躍推進やワーク・ライフ・バランス人事制度の再構築など職場環境を整備する事が重要と考えますが、市内事業者の中には、保育施設（企業主導型保育事業）、男女共同トイレ（和便器の設置）及び男女共有の更衣室、ロッカー室の未設置などまだまだ多く見受けられるのが現状です。</p> <p>また、施設の整備遅れが原因で新採用職員が早期退職してしまう企業もございます。</p> <p>ついては、下記の項目について要望します。</p> <p>(1) 女性や障がい者の職場環境整備のための補助金</p> <p>つきましては、女性や障がい者の職場進出を促すために専用設備として男女別に利用できる施設や設備の設置を促し、市内の中小企業の事業主が、女性や障がい者の活躍を推進し継続的な雇用に結びつけるために、社内職場環境づくり改革に取り組む際の費用の一部を助成できる制度等の組織横断的な体制で推進していただきますよう要望します。</p> <p>(2) 先進事例の検証と市独自の支援策</p> <p>思うように求人が集まらない昨今、市内企業として、大変関心の高い事柄なので、他市町村（横浜市中小企業女性活躍推進助成金、東京都テレワーク活用・働く女性応援助成金）の取り組み等を参考にいただき、是非共小田原市独自の対策準備をすすめていただきたく重ねて要望します。</p>
<p>20. 建設業における働き方改革への支援</p>	<p>2018年6月29日に働き方改革法案が参議院本会議で可決されました。内容は残業時間の上限規制、非正規労働者の待遇改善など「同一労働同一賃金」の実現、高収入の一部専門職を労働時間規制から外す「高度プロフェッショナル制度」などです。これを</p>

項 目	理 由
	<p>受け国土交通省では、建設業における働き方改革について次の取り組みを実施することとなっております。</p> <p>(1) 適正な工期設定や適切な賃金水準の確保、週休2日の推進等の休日の確保など、民間も含めた発注者の協力が不可欠であることから、発注者を含めた関係者で構成する協議会を設置するとともに、制度的な対応を含め、時間外労働規制の適用に向けた必要な環境整備を進め、あわせて業界等の取り組みに対して支援措置を実施する。</p> <p>(2) 技術者・技能労働者の確保・育成を図るため制度的な対応を含めた取り組みを行うとともに、施工時期の平準化やICTを全面的に活用したi-Constructionの取組、書類の簡素化、中小建設企業への支援等により生産性の向上を進める。</p> <p>つきましては小田原市におかれましてもいち早く上記事業にご理解いただき、建設業における働き方改革についてのサポート及び環境整備への支援について、要望します。</p>

○安全・安心なビジネスインフラの整備

項 目	理 由
<p>21. 防災生活幹線道路の整備について</p>	<p>昨年当所では都市と交通基盤の観点から県西地域の未来を考える「みらいの道シンポジウム」を開催し、経済や観光、防災という観点から道路整備の必要性を再認識いたしました。</p> <p>また、当所は伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の一員を担い、観光の活性化、広域的な都市間交流による新たな地域文化の創造、災害対策などに貢献する同道路建設を、当県と静岡県にまたがる経済界と行政が一体となり積極的に推進しております。</p> <p>つきましては、道路ネットワークの多重化により、地域孤立リスクの低減を図ることができることから、足柄幹線林道が大きな災害にも耐えうるハード面を強化し、安全を担保した施設になるよう引き続き強く要望するとともに、県内道路だけでなく隣県も俯瞰してより広域な道路ネットワークの構築が図られるよう神奈川県に更なる働きかけを要望します。</p>

○その他

項 目	理 由
<p>22. 富士山噴火災害時の事業所への配慮について</p>	<p>小田原市におかれましては、地震や台風災害に備え既に防災マップを全戸配布し、洪水や土砂災害、津波被害などには万全の対応をされておりますが、富士山噴火対策（火山灰）については具体的な対策が示されておられません。</p>

項 目	理 由
	<p>富士山噴火で小田原市に降り積もる火山灰は30～50センチ以上降灰する可能性があり、市民や企業にとって健康や交通、インフラ等に与える火山灰の影響による被害は脅威であり廃棄方法や収集場所などについて、市民はもとより市内企業は具体的に何をどのように準備すべきか、想定できておりません。</p> <p>近年の火山活動に対する噴火被害対策（富士山噴火時の避難方法や公共交通機関の動向、火山灰に対する資産の防御方法や処理の仕方、物流の対策）については、市内企業としても、BCPを策定し災害等不測の事態に対応すべく組織体制を整えておりますが、今後も企業が安心して操業できるよう火山の噴火や降灰などの被害想定は、国や県の発表を待つだけではなく、不測の事態に備え速やかに対応できるよう、ぜひとも、小田原市独自の噴火被害対策や避難計画の策定を進めていただきたく要望します。</p>
<p>23. (仮称)小田原スポーツコミッションの設立について</p>	<p>ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、この圏域におけるスポーツ振興・都市セールスや地域活性化等に繋げるための方策を検討・推進することを目的に、ラグビー・オリパラ活性化委員会が、本年4月に設立され、現在、当所も加わり、活動しております。</p> <p>令和2年度は、オリンピック開催となり、活性化委員会でも様々な情報を事業が展開されることとは存じますが、オリンピック開催後のレガシーとして(仮称)小田原スポーツコミッションの設立に向け準備を進めていただけるよう要望します。</p>
<p>24. PPP, PFI手法の活用について</p>	<p>今後の公共施設の改修及び維持管理につきましては、民間の事業手法等の活用を通じた行政との連携が重要となってきます。近隣の市町行政を見ますと、民間提案による収益還元型の整備手法「Park-PFI」を導入して、町立公園整備を行うことを決定。民間事業者が収益施設周辺の共用部分と一体で整備することで自治体側の負担軽減にもつながるものと期待されています。</p> <p>当所におきましては平成30年度に引き続きPPP、PFI勉強会を開催、ノウハウを蓄積してまいりますので、今後当手法の研究や実践につきまして民間の参画を前提とした情報共有に引き続き努めていただきたく要望いたします。また、小田原市におかれましては、施設の統廃合などの情報を速やかに開示いただき、スケジュールの共有を図るとともに、活用法の検討について相互に連携が図られるよう併せて要望します。</p>
<p>25. 地方創生の戦略に再生可能エネルギー施策の推進について</p>	<p>市では、「小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例」を施行するとともに、「小田原市エネルギー計画」で、「エネルギーを地域で自給する持続可能なまち」を目指すべき将来像に掲げ、再生可能エネルギーの利用等の促進に向けた取組を進め</p>

項 目	理 由
	<p>ていただいております。</p> <p>人口減少、超高齢型社会、東京一極集中、グローバル競争の激化などの中で、地域の活性化のためには、地域循環の促進有効である再生可能エネルギーの地産地消への取り組みへのより一層の支援をお願いするとともに、中小企業・小規模事業者のエネルギーの効率化（省エネ）の推進へ小田原市独自の省エネ補助金の創設や省エネ設備導入の際の固定資産税の減免など具体的な支援を強く要望します。</p>
26. 小田原地下街の民間移管について	<p>小田原地下街の経営体制については、当初より、民間事業者へ移管する方針は伺っておりますが、どういう環境になったら移管を考えられているのかその時間軸も含めたスケジュールをあらためてお示ししていただきたく要望します。</p> <p>また併せて、小田原市からの補填も含めた事業収支を公表し、経営状態を明らかにしていただくよう要望します。</p>

令和2年度神奈川県予算・政策に関する要望
(神奈川県商工会議所を通じて神奈川県に11月8日提出)

重点共通要望

I 中小企業・小規模事業者支援及び地域活性化施策の充実強化

項 目	説 明
<p>1 中小企業・小規模事業者支援 施策の拡充・強化</p> <p>(1) 「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画（第4期）」の着実な推進と小規模企業に特化した支援策の充実強化 【重点要望】</p>	<p>県では、平成31年3月、中小企業・小規模企業の総合的かつ計画的な推進を図るため、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画（第4期）」を改定しました。計画の中では、「神奈川の未来を支える産業の振興」、「地域ぐるみで総力を挙げた中小企業・小規模企業の支援」、「生産性の向上を図る攻めの経営」等の重点的な取組みが盛り込まれていますが、本要望にも沿った、どれも重要なものばかりですので、「中小企業・小規模企業の元気で実現しよう！活気あふれるかながわ」のテーマのもと着実に実行するよう要望します。</p> <p>また、中小企業・小規模企業、とりわけ、小規模企業は、歴史的に見て我が国産業の「苗床」であり、これまで多くの大企業に成長した例があり、自動車・電機等のサプライチェーンの重要な担い手となっています。加えて、地域の雇用を支え、新たな需要の掘起しなど、地域の持続的発展の可能性や富を生み出す源泉と</p>

項 目	説 明
	<p>して重要な存在でもあり、こうした小規模企業への積極的支援は県計画のテーマである「活気あふれるかながわ」にとって不可欠です。県においては、「中小企業・小規模企業」という括りでなく、経営基盤が脆弱な「小規模企業」を対象にした小規模企業の活力強化につながる特段の支援策の充実・強化を要望します。</p> <p>また、小規模企業に関し、今年度6月補正予算において、当連合会が要望してきた県版持続化補助金（神奈川県小規模事業者支援推進事業費補助金）を創設されましたが、県においては、同補助金の継続とともに、初年度の実施状況を踏まえ、国補助金と相まって、望ましい公募期間や助成対象期間の設定など、人的資源が限られる中小企業・小規模事業者が使い勝手のよい補助金となるよう、さらに検討を加え、制度の充実を図るよう要望します。</p>
<p>(2) 中小企業の生産性向上、多様な人材確保のための支援策の充実強化</p> <p>【重点要望】</p>	<p>人口減少局面における人手不足は、我が国が経験したことのない初めての事態であり、人手不足が一層深刻な中小企業・小規模事業者においては、経営の持続性確保のため、人材の確保・定着や生産性向上に取り組むことが不可避になっています。</p> <p>県においては、女性・高齢者・外国人材など、多様な人材の活躍を一層促進するとともに、設備投資や技術革新、取引適正化など、中小企業の実業性向上に向けた支援を一層強化するよう要望します。</p> <p>① 中小企業の実業性向上、特に切り札となるIT・IoT等ICT技術の導入・活用に向けた支援策の充実</p> <p>人口減少社会の中で、中小・小規模事業者が生産性向上を図るには、業務の省力化・効率化や働き方の改善につながるIT・IoT・AI・ロボット等のICT技術が切り札となりますが、専門知識の不足や導入効果の不透明さなどから導入に踏み切れない事業所も少なくなく、未だ中小企業・小規模事業者に浸透していないのが実情です。</p> <p>県においては、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所と連携し、IT・IoT等の導入や普及啓発に取り組んでいますが、身の丈に合った形でのIT等の導入・活用を通じて身近な経営改善、生産性向上につながるよう、国の支援策とともに、一層の支援措置を講じるよう要望します。</p> <p>② 中小企業の実業性向上を後押しする経営革新のための県独自補助制度の創設</p> <p>国内のみならず、激しさを増す国際競争の中で、中小企業・小規模事業者が勝ち抜いていくためには、新製品や新</p>

項 目	説 明
	<p>サービスの開発、新たな生産・販売方式の導入等の経営革新に取り組み、付加価値を生み出すことで稼ぐ力を向上させていくことが不可欠です。県においては、新製品・新サービスの市場投入に向けた企画構想から事業化、販売促進まで、中小企業の付加価値向上に資する支援策の充実を図るよう要望します。</p> <p>また、県では、中小企業経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認をしており、承認企業には国の支援が用意されていますが、現状では、規模の小さい企業ほど、検討するものの経営資源の不足等により、挑戦を躊躇することが少なくありません。県においては、革新的な挑戦を目指す事業者のインセンティブを付与するため、商工会議所と一体となって、経営計画等を作成し経営革新に取り組むことにより、特徴ある企業、神奈川を代表する企業へと発展していけるよう、中小企業・小規模事業者の新たなチャレンジを後押しする経営革新のための県独自の補助金制度の創設を要望します。</p> <p>③ 中小企業の人材確保のための支援の充実</p> <p>経営資源に限りがある中小企業・小規模事業者は、大企業に比べ、知名度や職種の魅力、募集ノウハウの不足などにより、十分な採用活動ができず、採用してもミスマッチ等により退職してしまうなどの悩みを抱えています。</p> <p>県においては、中小企業・小規模事業者における人材確保が円滑に進むよう、人材確保の好事例の収集・提供や採用力向上のための研修機会など、必要な取組みを進めるとともに、新卒者向けや人手不足が深刻な業種の合同会社説明会等により求職者と中小企業等とのマッチング支援を強化するなど、人材確保のための支援策の継続・充実を要望します。</p> <p>加えて、優れた技術・サービスの提供等を行う地域の中小企業・小規模事業者を発掘し、その魅力を発信することも関心の惹起につながるため、「がんばる中小企業発信事業」の継続・充実のほか、様々な機会をとらえ、様々な方策により、中小企業等の魅力発信に取り組みされるよう要望します。</p> <p>④ 多様な人材、特に「女性」のさらなる労働参画と活躍推進の加速化</p> <p>今後、我が国が経済規模の縮小を防ぎつつ、成長し続けるには、生産性の向上とともに、女性、若年者、高齢者など、</p>

項 目	説 明
	<p>多様な人材の活躍促進に向けて、これまで以上に推進していく必要があります。</p> <p>特に、女性の活躍は、女性ならではの発想に基づくイノベーションの創出や企業価値・業績の向上を通じて経済社会の成長発展に寄与することから、県においては、引き続き一層の就業促進とその環境整備に取り組まれるよう要望します。</p> <p>⑤ 外国人材のさらなる受入れに向けた施策の充実強化</p> <p>本年4月、特定技能の在留資格に関する新たな制度が創設されましたが、中小企業・小規模事業者の中には、「制度の概要が分からない」、「そもそも何から取り掛かってよいか分からない」、「何をどのように準備すればよいか分からない」、「どこに相談してよいか分からない」などの声も多いため、人手不足に苦慮する事業者が、特定技能外国人材をはじめ、留学生等の外国人材を円滑に受け入れられるよう一層の支援を行う必要があります。県においては、中小企業・小規模事業者に対し、外国人材の採用・定着のための情報・ノウハウの提供をはじめ、外国人材向けの就職情報の提供、県内中小企業等への求職を求める外国人材と受入れを希望する中小企業等とのマッチング支援などを強化するよう要望します。</p> <p>⑥ 産業人材育成のための研修機会の拡充と参加促進策の実施</p> <p>深刻な人手不足の中、限られた人員で経営を行う中小企業・小規模事業者が成長を続けるには、人材を育成し、労働生産性を向上させることが不可欠となっています。</p> <p>I o TやA I等の新たな技術革新により産業構造が大きく変化する中で時代や企業が求める技術や能力も変わりつつあるため、県においては、中小企業の従業員の職業能力開発や専門的スキル向上のため、産業界や企業が求める多様なニーズに即応した研修・講習機会の継続・充実を要望します。</p> <p>また、中小企業の従業員の研修会等への参加促進のため、参加費助成などの措置を検討するとともに、専門資格を要する業種については、資格取得が円滑に進むよう、専門学校等と連携し、負担軽減措置など、支援措置を講じるよう要望します。</p>
<p>(3) 中小企業の災害等危機発生時の事業継続力強化に向けた支援策の充実</p> <p>【重点要望】</p>	<p>地震や集中豪雨等の自然災害や事故等の緊急事態の発生は、中小企業の事業継続に重大な影響を与え、経営資源が脆弱な中小企業は災害等に起因する事業中断がそのまま廃業や倒産につながる恐れがあり、地域経済にも大きな影響を及ぼします。昨年7月の「西日本豪雨」や9月の「北海道胆振東部地震」、また、最近</p>

項 目	説 明
	<p>では本県にも甚大な被害をもたらした「台風 15 号」など、相次ぐ自然災害の発生は、各企業が事業継続力を備える必要性を再認識させました。本年 7 月には、中小企業の事前の備え、事後のすみやかな復旧を支援するため、中小企業強靱化法が施行され、中小企業に防災・減災の取組みを促す国の認定制度（事業継続力強化計画）も創設されたところです。</p> <p>① 中小企業の事業継続力強化に向けた支援の強化と助成措置の創設</p> <p>中小企業の事業継続力強化に向けては、これまでも B C P（事業継続計画）策定の普及促進が進められてきましたが、中小企業においては認知度がまだまだであり、規模の小さな企業ほど関心も深まっていない現状にあります。</p> <p>県においては、今般の中小企業強靱化法を契機に、中小企業の関心を惹起するため、災害等の危機発生に対する事前の備えの必要性など、一層の普及啓発に努めるよう要望します。併せて、事業継続力強化計画や B C P の策定に向けたインセンティブを高めるため、国の支援措置とともに、必要な支援策を講じるよう要望します。B C P 策定企業に対する支援策として本年度は県の制度融資において優遇措置が図られたところですが、資金余力に乏しい中小企業の防災・減災対策を後押しするため、計画策定・改定の際のコンサルティング費用や災害等に備えるための事前準備や事業継続のための設備・システム等の導入費用に対し、県独自の助成措置の創設を検討するよう要望します。</p> <p>② 中小企業のサイバーセキュリティ対策への支援</p> <p>中小企業・小規模事業者においては、サーバーリスクの実態を知る機会が少なく、リスクも十分に理解されていないのが現状であり、リスクに対する認識不足や自社は大丈夫との思い込みなどから、必要な情報システムやソフトの導入、ファイアーウォール等の導入が依然進んでいない面があります。来年の東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を控え、企業の優れた技術やシステムがサイバー攻撃の標的となるリスクも高まっているため、県においては、中小企業・小規模事業者における情報セキュリティ強化のため、一層の普及啓発や必要な対策の情報提供に努めるとともに、情報システム・ソフト等の導入時費用や企業が実施する教育訓練費用等の助成について、特段の支援を講じるよう要望します。</p>

項 目	説 明
<p>(4) 中小企業の「働き方改革」の後押し</p> <p>【重点要望】</p>	<p>「働き方改革」は、これまでの労働慣行や社会の変革を促し、多様な人材の活躍と生産性向上を推進するきっかけとなるものであり、人手不足が現下の最大の経営課題となっている中小企業・小規模事業者にとって、人材の確保・定着に向けて避けて通れない課題となっていますので、県においては次の支援策を講じるよう要望します。</p> <p>① 「働き方改革関連法」の十分な周知と中小企業に対するきめ細かな支援の充実</p> <p>「働き方改革関連法（労働施策総合推進法）」が昨年6月に成立しましたが、法の柱である時間外労働の上限規制に中小企業・小規模事業者が対応するには、人員の新規採用や配置の効率化、業務の見直しや多様な働き方の制度導入、さらには取引先の理解を得ることなど、様々な準備を計画的に進めていく必要があります。もう1つの大きな柱である「同一労働同一賃金」も同様であり、中小企業、とりわけ規模が小さいところほど準備に時間がかかり、制度の認知も低いいため、十分な周知と支援が必要となっています。時間外労働の上限規制の中小企業への適用が来年4月からと迫っていますので、県においては、神奈川労働局、神奈川働き方改革推進センター等の関係機関と緊密な連携を図り、中小企業・小規模事業者の実態に配慮しながら、法の内容や求められる準備をきめ細かく周知するとともに、準備が円滑に進むよう、相談や専門家派遣など、引き続き、必要な支援を行うよう要望します。</p> <p>② 東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機とした働き方改革の一層の普及促進</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けて、テレワークやフレックスタイム、時差通勤、ボランティア休暇など、働き方改革に関する一連の制度が実施されていますが、同大会は制度をさらに普及・定着させるまたとない好機です。県においては、既にテレワークの体験セミナーや導入支援アドバイザーの派遣等の取組みを進めていますが、国等の機関との連携による施策の集中実施など、東京2020大会を契機に制度の一層の普及促進を図るよう要望します。</p> <p>③ 大企業の働き方改革による中小企業へのしわ寄せ防止</p> <p>時間外労働の上限規制により、大企業からの短期納期発注等に対応せざるを得ない中小企業・小規模事業者へのしわ寄せが懸念されています。</p>

項 目	説 明
	<p>県においては、長時間労働の是正に向けて、産業界のみならず、県全体での機運の醸成を図るとともに、大企業の働き方改革による中小企業・小規模事業者へのしわ寄せを防止するため、取引条件や商慣習を含め、企業間取引の適正化やその監視・推進体制の強化を図るよう要望します。</p>
<p>(5) 中小企業の経営力向上・成長に向けた支援の拡充・強化</p>	<p>中小企業・小規模事業者においては、消費者や市場ニーズの変化・多様化への対応に苦慮しており、加えて、人手不足が深刻になる中で、目の前の販売・受注機会を逃している企業も少なくないため、中小企業の経営力向上や持続的成長に向けて、次のことを要望します。</p> <p>① 販路拡大促進のための支援策の拡充</p> <p>販路開拓は企業の業績維持・拡大にとって非常に重要な活動ですが、経営資源の乏しい中小企業・小規模事業者は、販路が限られており、知名度の低さや資金不足等の様々な課題を抱えています。</p> <p>県では、(公財)神奈川県産業振興センターにおける受発注商談会の開催や工業技術見本市など、取組みを進めてきていますが、中小企業等の販路拡大に資する支援メニューの継続・充実を図るよう要望します。</p> <p>また、販売手法として、インターネット通販をはじめとするEC(電子商取引)市場が年々存在感を増しており、販路拡大に苦慮する中小企業が人的資源の少ない中でも活用できるため、中小・小規模事業者でのECサイトの開設・活用及び販売促進の支援について要望します。</p> <p>② 中小企業のビッグデータ等の利活用の促進</p> <p>販売促進や新製品開発・新サービス開発、マーケティング等の企業活動において、行政機関等が保有するオープンデータや、ビッグデータと呼ばれる気象や交通情報、購買情報など、多種かつ膨大な情報の活用が始まっていますが、多くの中小・小規模事業者では、分析手法等の知識や活用のノウハウ不足等により利活用が進んでいません。</p> <p>ビッグデータ等の活用は、特に、製造業と比べ生産性が低いとされるサービス業の生産性向上に有効であるため、県においては、生産性向上に資するITの利活用支援と併せて、県が公表するオープンデータの内容充実や国の地域経済分析システム(RESAS)等の活用支援など、中小企業・小規模</p>

項 目	説 明
	<p>事業者のビッグデータ等の活用促進が進むよう、必要な支援を要望します。</p> <p>③ 中小企業の海外展開の後押し</p> <p>中小企業・小規模事業者の持続的成長やさらなる発展にとって海外需要を取り込む必要性が一層高まっていますが、人材や資金はもとより、情報が圧倒的に不足している中小企業・小規模事業者にとってはハードルが高いのが現状です。</p> <p>県においては、海外展開前の準備から、現地での展示会出展や企業活動定着に向けた支援など、中小企業・小規模事業者が海外展開するための支援の一層の充実を図るとともに、県が率先して神奈川の魅力や製品・サービスの認知度向上のため情報発信に努めるよう要望します。</p> <p>また、世界的なインターネット市場の拡大を背景に、海外向けインターネット販売「越境EC」が中小企業においても徐々に注目を集めており、インバウンド需要との相乗効果も期待でき、中小企業・小規模事業者の海外展開のための第一歩となり得るものであるため、県においては、必要な支援策を実施するよう要望します。</p> <p>④ 産・学・公連携を推進する体制の充実・強化、中小企業における知的財産の創造・活用の促進</p> <p>優れた技術開発力を持つ中堅・中小企業や大学、研究機関が多数集積する本県の特長を最大限に生かし、さらに育成発展させるために、また、中小企業における付加価値の高い新製品・新サービスの開発を支援するために、企業単独ではなく、企業間や、大学、研究機関との産・学・公連携も有効な手段であり、これを促進するコーディネーターの活動が重要です。</p> <p>県においては、企業間及び産学公のマッチング支援、コーディネーターやコーディネート企業の育成など、産・学・公連携を推進する体制を一層充実・強化するよう要望します。</p> <p>また、中小企業にとって技術開発の成果を保護するための知的財産がますます重要になっていることに鑑み、特許取得の一層の促進のため、今般実施された中小企業の特許料金一律半額制度等の一層の周知に努めるとともに、中小企業・小規模事業者における知的財産の創造や活用の促進を図るよう要望します。</p>

項 目	説 明
<p>(6) 商店街の活性化・活力向上に向けた支援策の充実強化</p>	<p>商店街は商業活動の場であるとともに、地域住民の生活と交流を支えるコミュニティの核として重要な機能を有しています。しかし、近年、大型店との競合やネット販売の影響等による売上げの低迷、店主の高齢化・後継者不足による空き店舗の増加等から衰退を招いている商店街も少なくなく、商店街の活性化は地域の活性化に直結するため、商店街の活性化、活力向上を図るための一層の支援が必要になっています。</p> <p>県においては、県内各地で創意工夫をこらし魅力的な取組みや先駆的な取組みを実施している商店街も多いことから、これらの取組みに対し、引き続き、ハード・ソフトからの積極的な支援を行うとともに、こうした取組みをモデル事例として普及させるなど、商店街の活性化、活力向上に向けて必要な支援を充実・強化するよう要望します。</p> <p>また、県内商店街での開業や事業承継を促進するため、若者や女性等の新たな担い手の確保・育成を図るとともに、開業等の際の店舗の新装・改装等に要する経費等への助成措置や経営のノウハウを身に付けるための相談や継続的な助言など、各種支援策を充実・強化するよう要望します。</p>
<p>(7) 最低賃金引上げの慎重な対応と制度の抜本的見直しの国への働きかけ</p>	<p>最低賃金は、政府の方針により、毎年、大幅な引上げ（直近3年間で76円の引き上げ）が続いており、今年も、東京都（1,013円）とともに、初の1,000円超えとなり、10月1日から1,011円（前年度比28円増）に引上げられました。</p> <p>一般的な賃上げが、利益を上げた良好な企業業績を原資として行われるのに対し、最低賃金は、業績に関わらず、すべての企業に罰則付きで適用されるため、通常の賃上げとは異なる性格を有しています。このところの急速な引き上げは、賃金支払能力に乏しい中小企業・小規模事業者にも、収益の持続的改善や生産性向上が伴わない中で、深刻な人手不足に対応するために実力以上の賃上げを強いており、実感を伴わない足元の景況感や経済情勢と相まって、総じて厳しい経営環境にある中小企業・小規模事業者にとって極めて深刻な問題となっています。</p> <p>また、本県の最低賃金は、隣接する山梨県（837円）、静岡県（885円）との間に大きな格差があり、こうした隣接県と同じ地域経済圏にありながら、人件費の負担が重く、経済活動において隣接県の企業との競争に著しい不利益を生じております。</p> <p>さらに、現在、地域別最低賃金は、神奈川県内一律となっていますが、県内においても、東京都に接する横浜・川崎などの都市部と県西部・県北部と比べると、物価や賃金にかなりの格差があ</p>

項 目	説 明
	<p>ることは歴然としており、これは、公務員の地域手当や生活保護費が同じ県内であっても市町村によって異なっていることから明らかであり、県のエリアを区切った決め方が適切と考えています。こうした状況を踏まえ、当連合会では、毎年、当連合会単独で、また、県内中小企業経済団体と合同で、次の2項目について国に要望活動を実施していますが、県においても、こうした状況を斟酌の上、国への強い働きかけを要望します。</p> <p>【国要望項目】</p> <p>① 審議に当たっては、先に目標ありきでなく、足元の景況感や地域の経済情勢、中小企業・小規模事業者の置かれた厳しい実態を十分に把握され、厳に慎重に対応すること</p> <p>② 最低賃金については、生活保護費等と同様に、地域ごとの実態を踏まえた、きめ細やかな制度設計を導入すること</p>
(8) 創業・起業に対する支援策の拡充・強化	<p>県では、「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画」において、「2025（H37）年度までに開業率を10%にする」という数値目標を立て、（公財）神奈川産業振興センターを中核支援機関として取組みを進めてきていますが、引き続き、創業の前後にわたり、総合的な支援の充実を図られるよう要望します。</p> <p>特に、経営基盤が脆弱な創業初期企業に対する着実な成長への支援が大切ですので、創業前からの事業計画の磨き上げや成長性・将来性に重点を置いた資金供給など、充実かつ継続した支援を実施するよう要望します。</p> <p>また、我が国は欧米諸国に比べ創業無関心者の割合が高いというデータもあることから、若者、セカンドキャリア等の幅広い層に対し、創業・起業に関する関心を惹起するための普及啓発や創業・起業を促す機運醸成にも併せて取り組むよう要望します。</p> <p>また、創業者等のプロジェクトを支援する資金調達的手段としてクラウドファンディングも有効な選択肢であるため、県が実施する「神奈川ものづくり「わくわく」夢ファンド」については、利用促進のための一層の周知と制度の充実を図るよう要望します。</p>
(9) 中小企業の円滑な事業承継に向けた支援	<p>経営者の高齢化が進み「大企業承継時代」が到来する中、事業承継問題は、中小企業・小規模事業者のみならず、今や、地域経済の持続的発展・成長の基盤を揺るがしかねない課題となっています。県においては、「事業引継ぎ支援センター」をはじめ、市町村や地域の商工会議所、金融機関等との連携による「神奈川県事業承継ネットワーク」の設置、さらに、昨年6月には、地域別</p>

項 目	説 明
	<p>ネットワークのための「神奈川県事業承継支援戦略」の策定など、取組みを拡充してきていますが、こうした取組みにより、引き続き、喫緊の課題である事業承継支援を強化するよう要望します。</p> <p>特に、後継者の年齢を踏まえた適切な時期での経営者の交替は、企業の活力を高め、生産性の向上にも寄与することから、早期対策の重要性について経営者の気づきの促進を図るとともに、後継者がいる企業に対しては、現経営者だけでなく、経営者の年齢を考慮した事業承継支援策を実施するよう要望します。</p> <p>また、親族内や社内に後継者候補が存在しない中小企業・小規模事業者にとっては、第三者承継（M&A）が有効な手段となり得るため、その一層の周知や支援策を講じるよう要望します。</p> <p>また、昨年度に抜本拡充された事業承継税制については、5年以内に県に「特例承継計画」の提出が必要となりますが、その一層の周知を図るとともに、計画作成のための必要な支援など、利用促進をさらに強力に推し進めるよう要望します。</p>
<p>(10) 公共事業費予算の確保と地域内企業への優先発注</p>	<p>高度経済成長期などに集中的に整備された諸社会資本は老朽化等により重点的な整備が求められていますが、県においては、県民が安心・安全に生活することができるよう、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も必要な公共事業予算の確保について、引き続き要望します。</p> <p>併せて、事業に優先順位をつけ、競争原理だけによることなく県内企業育成と雇用確保の視点から、災害時における協力や地域のボランティア活動など、様々な面で地域と深く関わり地域貢献を行う地元企業優先に十分配慮した発注を行うよう、引き続き要望します。</p>
<p>(11) 農商工等連携の一層の促進</p>	<p>政府は「日本再興戦略」において、「農林水産業の成長産業化」を掲げ、生産現場の強化に向けた農林水産業界と産業界との連携強化を図ることとしており、中小企業の知見や技術・ノウハウを農林水産業の生産性向上に活かし、地域経済全体を底上げすることが重要です。</p> <p>国では、農商工等連携促進法に基づく農商工等連携促進事業等が実施・拡充されてきていますが、県においても、地域の基幹産業である農林水産業と商業・工業等の産業間での連携を強化し、相乗効果が発揮されるよう、各種施策の周知をはじめ、農商工等連携を希望する事業者のマッチングの促進、制度の利用を希望する事業者への相談・助言など、農商工等連携の一層の促進のために必要な支援の充実を図るよう要望します。</p>

項 目	説 明
(12) 地場産業の一層の振興に向けた支援策の充実強化	<p>県内には古くから地場産業が発達し、伝統的技術・工芸品が数多く残っていますが、地場産業を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化や海外からの安価な輸入品の増大、他産地との競争激化が進み、厳しい状況に置かれています。</p> <p>地場産業の振興は、農商工連携の活発化並びに観光の振興に多大な波及効果をもたらすため、県においては、地場産業の振興に向けた施策の充実強化を要望します。特に、経営基盤が脆弱な小規模事業者が多い地場産業の現状に鑑み、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発から販路開拓・地域ブランド化まで、人材面や資金面での積極的な支援を行うよう要望します。</p> <p>また、増加する外国人観光客に対する県内地場産品の魅力発信や販売促進のため、外国語観光情報ウェブサイト等での掲載や外国人がより多く集まる場所でのキャンペーン実施等の取組みを一層強化するよう要望します。</p>
(13) 企業誘致の一層の促進と支援策の充実強化	<p>本県は、研究開発機能の集積や豊富な研究開発人材、道路・鉄道等の広域ネットワークなど、企業が産業活動をする上で、高い立地ポテンシャルを有しています。</p> <p>県においては、県内各地への企業立地の促進が一層進むよう、市町村や関係機関・団体とも緊密な連携を図りながら、県内外への本県立地の魅力の発信や企業誘致のための支援措置の拡充など、必要な取組みを進めるよう要望します。</p> <p>また、現行の企業誘致策「セレクト神奈川」について、対象業種の拡充や要件の緩和、補助金の拡充等を盛り込んだ新しい企業誘致制度が、この11月から開始されますが、新たな実施策が有効かつ積極的に活用されるよう、必要な取組みを進めるよう要望します。</p>
(14) 特区制度の積極的活用による地域経済活性化施策の充実強化	<p>特区の活用は一層の地域経済活性化に資するため、県においては「さがみロボット産業特区」や「国家戦略特区」など、国が主導する産業政策を有効活用し、関連産業の集積を促進するとともに、従来から高度な技術力を有する地元中小企業を積極的に連携させ、相乗効果が発揮されるよう、一層、県が誘導策を積極的に展開されるよう要望します。</p> <p>また、こうした特区制度を有効活用し、さらなる企業集積を図るために、具体的・積極的な情報提供（参画の方法や参画企業、成果の公表等）を引き続き要望します。</p> <p>さらに、本年4月、新たに三浦市の三崎漁港で進む高級リゾート施設整備計画が、東京圏国家戦略特別区域会議において、国家</p>

項 目	説 明
	<p>戦略特区に位置付けて進めることが了承されました。同計画の推進は、県の「三浦半島魅力最大化プロジェクト」等とも相まって、三浦半島地域の一層の地域経済活性化に資するもので、県においては、同計画の早期認定に向けた取組みを進めるとともに、東京2020大会後の外国人観光客の誘致も視野に入れ、同計画を起爆剤とした三浦半島地域の地域経済活性化に向けた積極的な施策の展開を要望します。</p>
<p>(15) 中小企業の再生可能エネルギー施策の推進</p>	<p>県では、「かながわスマートエネルギー構想」を打ち出していますが、この構想を実現するためには中長期的に再生エネルギーの活用と省エネルギー推進のための新たな技術開発や産業の育成・支援等が不可欠です。</p> <p>県においては、昨年3月に「かながわスマートエネルギー計画」を改定し、平成32年度までの重点的な取組みを追加しましたが、同計画に基づき、再生可能なエネルギーの普及のみならず、地産地消の仕組みづくり、中小企業向けの省エネ施策の支援施策などを引き続き着実に推進されるよう要望します。</p>
<p>2 消費拡大・地域経済の活性化につながる観光施策の積極的展開</p> <p>(1) 県を挙げたインバウンド戦略の一層の推進</p>	<p>観光は、関連する産業の裾野が広く、地域や産業への高い波及効果が見込めるため、需要拡大や雇用機会の創出など、地域経済の活性化、持続的な成長に大きく寄与します。</p> <p>来年に迫った世界中から多数の観光客が訪日する東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、神奈川の魅力を発信する絶好の機会であり、神奈川が大会の先も世界の旅行者から選ばれる訪問先となるには、神奈川が持つ多様な資源をさらに磨き上げ、安全・安心な受入れ環境の整備や国内外への魅力の発信等に取り組み、観光客やMICE等ビジネス客の持続的な獲得や消費額の拡大を図ることが不可欠です。そこで、次のとおり要望します。</p> <p>① 1,000本インバウンドツアーの快適性・回遊性の向上に向けた広域観光圏の一層の充実・強化</p> <p>県では、「神奈川県観光魅力創造協議会」を早々に立ち上げ、県内各地の魅力ある観光資源の発掘・磨き上げ、それらを活用した周遊ルートの開発などに取組んできており、本年7月、目標とするインバウンドツアーが1,000本を達成しました。</p>

項 目	説 明
	<p>県においては、1,000本のツアーの魅力が海外の人々に的確かつ継続的に伝わるよう、積極的なプロモーション活動を強化するとともに、1,000本ツアーがより快適な旅になるよう、県内及び県周辺都県の自治体や関係者との連携を密にし、多言語対応やおもてなし等のホスピタリティの向上、交通アクセス等による回遊性の確保など、広域観光圏の充実・強化を図るよう要望します。</p> <p>② 消費拡大につながるナイトタイムエコノミーの活性化</p> <p>観光振興を通じ、地域経済の活性化を図っていくには、入込観光客の増加以上に宿泊観光客の増加の方が大きな経済効果を生むことから、滞在型の観光を促進し、観光消費を増やしていく必要があります。このためには、特に、日没から翌朝までの経済活動を活性化させる「ナイトタイムエコノミー」の経済効果が高いことから、県内に宿泊・滞在してもらえるよう、夜の時間帯の多様で魅力的な観光資源を発掘し、満足度の高い体験・交流型観光の充実が必要です。併せて、文化施設の開館時間や娯楽施設の開演時間の延長、鉄道・バス等の夜間交通、夜間の安心・安全等の取組も重要ですので、県においては、ナイトタイムエコノミーの活性化に向けて、神奈川県観光魅力創造協議会等を通じて、官民一体となった取組みを進めていくよう要望します。</p> <p>③ 訪日外国人観光客の滞在中の利便性の確保</p> <p>インバウンドの一層の推進を図るには、訪日外国人観光客の滞在中の利便性の確保・向上が不可欠です。県においては、県有施設のネット利用環境の整備（無料Wifi等）や案内表示等の多言語対応、民間施設の多言語表記等の助成などを図ってきていますが、こうした措置の継続と一層の拡充を図るほか、SIMカードの滞在中の無償提供の試みも始まっていることから、こうした事例も参考に、さらに滞在中の利便性確保のための仕組みを検討されるよう要望します。</p> <p>また、キャッシュレス決済が進んでいる国・地域からの訪日外国人観光客が急増していることから、観光需要を的確に取り込めるよう、現金決済が中心の中小・小規模の飲食・小売店をはじめ、鉄道・タクシーや美術館・博物館等の一層のキャッシュレス化など、決済手段としてのキャッシュレス環境が一層進むよう、普及啓発や導入支援等の促進を図るよう要望します。</p>

項 目	説 明
	<p>④ 戦略的なプロモーション活動の推進</p> <p>観光消費額を拡大し、地域経済の活性化につなげていくには、国内外への積極的なプロモーション活動が欠かせません。このため、多くの観光客が世界中から集まる東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催地の東京から県内に観光客を呼び込むプロモーションや、ビジネス客等の高い消費が見込まれる大規模な国際会議や展示会等の MICE 誘致のプロモーションをより強化する必要があります。また、東アジアからの訪日観光客が約7割を占める一方、欧米豪からの観光客は約1割に留まるものの当該国の観光客は日本の文化・歴史に高い関心を有し、かつアジアに比べ長期滞在と高い消費が見込めるため、当該国をターゲットとしたプロモーションをより強化する必要があります。また、団体旅行から個人旅行へのシフトにより旅行情報の入手手段が、ウェブサイトやSNS・個人のブログ等が主流になっています。県においては、国・地域別のきめ細かいプロモーションや外国人目線を取り込んだプロモーションなど、本県に観光客を呼び込むための戦略的なプロモーション活動を積極的に展開するよう要望します。</p> <p>⑤ 観光危機管理体制の構築</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック大会等の大規模イベントやゴールデンウィーク・夏休み等の観光のトップシーズン等には、県内外から観光客が集中するため、テロ等の発生も想定し、来訪者の安心・安全に万全を期す観光危機管理体制の構築が重要になっています。</p> <p>県においては、災害・緊急時の多言語による防災・災害情報の提供や正確・迅速な情報伝達の仕組み等の整備充実を図るとともに、平時から、自治体や観光団体・事業者等と連携し、避難誘導サインの普及や観光・宿泊施設等の避難訓練など、訪日外国人観光客も想定に入れた避難誘導體制を構築するよう要望します。</p> <p>なお、国の防災基本計画において、在住外国人及び訪日外国人観光客への配慮が明記されたところですので、県においても、「神奈川地域防災計画」に位置付け、観光担当部局と防災担当部局との連携を一層強化するなど、災害時の観光危機管理体制の構築に努めるよう要望します。</p>

項 目	説 明
<p>(2) 海洋ツーリズムの構築を目指す「相模湾からの経済活性化会議」への協力・支援</p>	<p>県では、神奈川の海の魅力の発信と国内外から観光客を呼び込むため「かながわシープロジェクト」を推進しています。</p> <p>一方で、相模湾に面して海と海岸という共通の地域資源を持つエリアの経済団体が連携し、それぞれの地域資源を活かした経済活性化策を共に考え、実行していくことを目的に、県内の7商工会議所と7商工会で「相模湾からの経済活性化会議」を昨年4月に発足したところであります。将来的に海洋ツーリズムの構築を目指す同会議の諸活動への協力・支援、また、県の「かながわシープロジェクト」で展開する事業など、県のプロジェクトとの連携を引き続き要望します。</p>
<p>3 産業活動の基盤となる道路・鉄道等の社会資本の整備・充実</p> <p>(1) 主要幹線道路網の整備及びネットワーク化の促進</p>	<p>道路は、社会経済の発展や災害時において大きな役割を果たしていますが、県内における道路整備状況は十分でなく、県内各所では広域交通による容量を超える流入や、都市交通の集中による激しい交通渋滞が生じています。この解消と未来に向けた交通網の整備は、社会経済を支える重要なインフラとして進めていく必要があります。</p> <p>県においては、国に対し道路整備計画の促進の働きかけを強化するとともに、県によるアクセス道路の整備推進を要望します。</p> <p>また、県では法人二税の超過課税延長に伴う財源の活用により東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた対応を予定していますが、いよいよ来年に迫ったオリンピック等開催時に関係する高速道路へのアクセス道路及び幹線道路を含め、特に、次に掲げる主要幹線道路の整備等を優先して強力な取組みを要望します。</p> <p>① 首都圏中央連絡自動車道（神奈川県区間の高速横浜環状南線・横浜湘南道路）及びアクセス道路の整備促進</p> <p>県内の交通渋滞の緩和、CO₂排出量削減を促進するには圏央道神奈川県区間である高速横浜環状南線、横浜湘南道路の整備は急務であり、このことにより周辺の幹線道路等の慢性的な交通渋滞の緩和とともに、県内への新たな企業立地の促進や、沿道市町の活性化なども図られます。また、高速横浜環状南線及び横浜湘南道路は、横浜横須賀道路と連結することにより保土ヶ谷バイパスに集中する交通量を分散し、圏央道の一部として東名高速、中央道及び関越道への所要時間の大幅な短縮と交通量の適正化、県中部、県西部からの新たな</p>

項 目	説 明
	<p>な観光客誘致に格段の効果、さらには地震等の災害時における被災者支援の物資輸送など緊急輸送道路としての機能が期待されるなど、その効果は計り知れないものがあります。</p> <p>県においては、これまで以上に、国等の関係機関に対し、完成目標年次に向けて、遅延することなく事業展開を図るよう特段の働きかけを行うとともに、インターチェンジ周辺に重点をおいたアクセス道路の一体的な整備促進を行うよう要望します。</p> <p>② 横浜・藤沢線の早期供用開始</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技開催会場となる江の島周辺の幹線道路、主要アクセス道路の整備は、開催に向けて早急に整備すべき路線の1つですので、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の整備と合わせ、「かながわのみちづくり計画」の「整備推進箇所」に位置付けられている横浜・藤沢線の早期供用開始を要望します。</p> <p>③ 新東名高速道路、厚木秦野道路の早期建設とアクセス道路となる主要地方道の渋滞区間や危険箇所の改善</p> <p>新東名高速道路、厚木秦野道路につきましては、県の相模川以西の社会経済の発展に多大な効果をもたらすものであることから、早期整備について国等の関係機関に対して積極的な働きかけを行うよう要望します。</p> <p>また、首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道）など高規格道路へのアクセス道路や地域間ネットワーク道路として非常に重要な役割を担っている主要地方道のうち、慢性的に渋滞を惹起している区間や歩車分離が未整備で危険性の高い区間について、早急に改善を図るよう要望します。</p>
(2) 道路・橋梁・トンネル・港湾施設等の既存社会資本の再整備促進	<p>神奈川県は、人口が 900 万人超、県内総生産が33兆円超と、人口・経済規模とも大きく成長し、これに相応し、大変多くの社会資本を積み上げてきました。東日本大震災以降、公共建築物の耐震化は進められてきましたが、道路や橋梁、トンネル、港湾施設等の社会資本についても、県内企業を有効活用しながら、補修・修繕、更新等を着実に推進するよう要望します。</p>
(3) 鉄道網の整備、ネットワーク化の促進	<p>鉄道網の整備は道路網の整備と並んで、社会資本整備の基本であり、環境面の負荷も少なく、大量で高速の人・モノの移動を可能にする次の鉄道網の整備、ネットワーク化に関して今後も着実に推進されるよう、一層の尽力を要望します。</p>

項 目	説 明
	<p>① リニア中央新幹線・神奈川県駅整備の促進</p> <p>早期開業に向け、今後の円滑な工事進捗等についてJR東海へのできる限りの協力と中間駅への周辺アクセスの整備や地元市等のまちづくり、地元企業の事業への参画など積極的な関係機関との連携・支援を要望します。</p> <p>② 交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」（平成28年4月）対象プロジェクト路線（本県関係6路線）の早期実現</p> <p>早期実現を図り、地域経済の発展につなげるよう、目標を定め、関係自治体、鉄道事業者、国の連携した積極的な取り組みを引き続き要望します。</p> <p>【答申対象プロジェクト路線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東海道貨物支線貨客併用化及び川崎アプローチ線の新設 ○ 小田急小田原線の複々線化及び小田急多摩線の延伸 ○ 東急田園都市線の複々線化 ○ 横浜3号線の延伸 ○ 横浜環状鉄道の新設 ○ 相鉄いずみ野線の延伸 <p>③ 東海道新幹線新駅の設置促進とツインシティ構想の早期実現</p> <p>東海道新幹線新駅誘致活動を取り巻く環境の好転の中、圏域全体の発展という枠組みにおける住民意識の更なる高揚を図るための新駅誘致とこの地域を中心とした環境共生モデル都市ツインシティ整備の早期実現に向け一層の尽力を要望します。</p> <p>④ 相模線複線化の早期実現</p> <p>相模線は東海道本線や横浜線など東京・横浜方面に向かう複数の路線と接続し、神奈川県を南北に縦断する都市圏の公共交通として、重要な役割を担うとともに、相模川以西発展に向けた広域的な大量交通機関を目指し、リニア中央新幹線新駅を北の玄関口として、また、東海道新幹線新駅を南の玄関口とする南北方向を結ぶJR相模線の輸送力増強のため、複線化の早期実現に向け一層の尽力を要望します。</p>

II 商工会議所の中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制の充実強化

項 目	説 明
<p>1 経営指導員の業務の変化や増大する業務等に対応した「地域振興事業費補助金」の必要額の確保・充実</p> <p>【重点要望】</p>	<p>平成 26 年度の改正小規模支援法により、小規模事業者の持続的発展を支援する「経営発達支援事業」が新たに規定され、これにより、商工会議所は、個社の経営戦略まで踏み込んだ支援を実施することになりました。併せて、同事業を推進するための「経営発達支援計画」を国が認定・支援する制度が創設され、本県では、平成 29 年 3 月にはすべての商工会議所が同計画の認定を受け、同計画に基づき積極的支援を行っています。</p> <p>平成 26 年度の法改正は、経営指導の現場に大きな変化をもたらした。現在、経営指導員は、経営相談や税務・金融指導等の従来業務（経営改善指導）に加え、経営分析に基づいた事業計画策定・実行支援など、きめ細かい伴走型支援（経営発達支援）を実施し、従来以上に手間のかかる業務になっています。</p> <p>また、生産性向上・IT支援、働き方改革、事業承継、消費税率軽減税率等の国の政策課題も加わり、さらには、企業経営の未病改善等の県の施策推進にも関わり、年々業務が増大する中であって、経営指導の現場は、慢性的なマンパワー不足にあります。加えて、本年 7 月、小規模支援法改正を含む中小企業強靱化法が施行になり、法定経営指導員の新設や経営指導のフォローアップ強化（新・経営発達支援計画）等のほか、新たに中小・小規模事業者の防災・減災対策の支援（事業継続力強化支援計画）にも取り組むことになり、経営指導の現場は、さらなるマンパワー不足が懸念され、事業者に寄り添った支援が危ぶまれる状況になっています。</p> <p>一方で、経営指導員の活動の財源となる「地域振興事業費補助金」は、国の三位一体改革により平成 18 年度から県単独補助金となりましたが、その財源は、地方税財政制度（普通地方交付税）において「商工会議所等の事業の助成に関する事務」として都道府県に財源保障されています。この補助金は、平成 22 年度に、県財政の逼迫等により大幅な減額（14.7%減）が実施され、翌年一部復元（6.1%）されたものの、それ以降、平成 26 年度の経営指導業務の質的転換等による業務増も十分に考慮されずに、ほぼ同水準（22 年度比で約 91%）のまま現在に至っています。</p> <p>今般の中小企業強靱化法の改正により、国により、必要額が地方交付税措置（9 年ぶりに増額）されたと同っています。県においては、商工会議所の現場のマンパワー不足の現状やこの補助金の担う役割を十分に考慮され、経営指導員が、求められる経営支援を積極的に展開できるよう、経営指導員体制の強化のための必</p>

項 目	説 明
	<p>要額の確保及び充実した予算措置を要望します。</p> <p>なお、今般の法改正により、新しい「経営発達支援計画」や「事業継続力強化支援計画」の認定の際には、新たに「法定経営指導員」の配置が義務付けられました。法定指導員は、自ら経営指導に当たるとともに、計画の目標達成や遂行のための進捗管理や経営指導員全体の統括などの重要な役割を担いますので、当該経費については、補助金の中で特段の予算措置を要望します。</p>
<p>2 商工会議所の経営支援力の強化に向けた一層の支援（「かながわ中小企業成長支援ステーション」の商工会議所支援機能の強化）</p>	<p>県では、平成23年度に、多様化・高度化する中小企業のニーズに応え、総合的・効率的な支援や地域密着型のきめ細かな支援を図るなどの観点から県と商工団体等の役割分担を見直し、「新たな中小企業支援体制」を構築する中で、県の相談業務を各地商工会議所等に移管・集約する一方、①経営・技術の両面から商工会議所等を支援する窓口、さらには、②中小企業を支援する窓口として、中小企業診断士を配置した「かながわ中小企業成長支援ステーション」を設置しました。</p> <p>一方、社会経済環境の変化や中小企業の直面する課題に即し、年々、国や県により新たな施策の実施や事業が拡充されていますが、これらを実効ある取組みとするには、PDCAサイクルに沿って、地域ごとに異なる現場のニーズの把握や、それらを施策等に的確に反映させる仕組みが必要です。また、施策等の進捗とともに、類似のものや、報告書類等が重複することも少なくないため、効率的な支援のためには、これらの整理や進め方の情報共有等が必要となっています。</p> <p>県においては、県の施策等が国の施策等と相乗効果を発揮し、より実効的な支援とする上で、ステーションを活用し、各地域の現場と県（企画・政策部門等）との橋渡し、パイプ役としての役割を担わせる観点から、商工会議所支援機能を一層強化する方向での検討を要望します。</p> <p>《強化の検討の具体的項目》</p> <p>(1)ステーション職員の「ブロック別担当制」による地域固有の課題等の把握や情報共有、施策への反映</p> <p>今年7月施行の中小企業強靱化法は、国と県の連携強化とともに、新・経営発達支援計画や事業継続力支援計画など、小規模事業者支援への県の関与や機能を強化しました。これを契機に、計画を策定・実践する商工会議所をブロック分けし、ステーション職員の「ブロック別担当制」により、担当職員が、日常的な現場の意見や地域固有の課題等の把握や情報共有を図るとともに、現場と県とのパイプ役となって、より効果的な施策・事業の実施や新たな施策の実現につなげる。</p> <p>(2)ステーション職員による商工会議所への出張説明会等の強化</p> <p>ステーションをもっと身近な存在とする上で、ステーションが所管する業務（経営革新計画申請支援や事業承継円滑法の認</p>

項 目	説 明
	<p>定等) や新たな県施策の実施等について、ステーション職員による商工会議所での出張説明会や連合会研修での講師等を実施する。</p>
<p>3 「地域連携推進事業費補助金」の継続・充実</p>	<p>平成 23 年度に、県の相談業務の商工会議所への移管など、県が新たな中小企業支援体制を構築した際に創設した「地域連携推進事業費補助金」については、地域課題に即応し、商工会議所活動上極めて有用な支援策となっていますので、引き続き、充実した予算措置を要望します。</p>
<p>4 「経営発達支援計画」の実行を促す支援策の継続・充実の国への働きかけと県支援策の創設</p>	<p>本県では、平成 29 年 3 月、すべての商工会議所が「経営発達支援計画」の認定を受け、現在、同計画に基づく積極的な支援を行っており、国では、認定商工会議所向けに「伴走型小規模事業者支援推進事業」のほか、認定商工会議所の経営支援を効果あるものとするため、日本政策金融公庫による融資制度などを設けています。</p> <p>県においては、商工会議所が、「経営発達支援計画」に基づき、より実効ある支援ができるよう、「伴走型小規模事業者支援事業」の継続・拡充と支援措置の充実を国に働きかけるとともに、県においても、認定商工会議所向けに、国の支援と相まって、より小規模事業者の持続的発展に資する支援策の充実を要望します。</p> <p>小規模事業者の持続的発展に関しては、今年度 6 月補正予算において、県版持続化補助金が創設されましたが、この他、認定商工会議所の支援の下で経営計画を策定・実行する小規模事業者について、融資の金利減免措置など、特段の支援策の検討について要望します。</p>
<p>5 商工会議所会館の整備への財政支援の継続・拡充</p>	<p>商工会議所会館は、地域の中小企業支援と地域活性化の中核的な拠点施設ですが、最近では、商工業を支援する他の関係機関等が入居し、商工業者にワンストップサービスを提供する核の機能を果たしています。また、会議室等の集会施設は、地域の利用者の用に供するよう開放され、藤沢警察署と藤沢商工会議所との間で結ばれた大規模災害時における代替施設使用に関する協定に見られるように、建物そのものが準公共的施設の性格を有しています。</p> <p>現在、県内商工会議所のうち、新会館の建設や会館のリニューアル、大規模修繕等を検討している商工会議所がありますので、県においては、商工会議所会館の役割の重要性を踏まえ、会館整備に対する県の積極的な財政支援を要望します。</p>

個別要望【小田原箱根商工会議所】

項 目	理 由
<p>1 土地の利活用について</p>	<p>県は、都市計画法に基づく開発許可行政の推進にあたり、小田原市を含む開発許可権限を有する県内12市と県で構成している連絡協議会を設け、必要な情報共有や技術的な意見交換などを行っておられることを認識しております。また、市街化調整区域における開発についても、地域活性化の必要性もあることから、地域の実情に応じて一定の利用を図ることができる地区計画制度の充実を図ってこられたことも認識しております。</p> <p>つきましては、小田原市が市街化区域のみならず、市街化調整区域も含め、画一的な人口密度にとられない計画的かつ柔軟な土地利用を図ることができるよう、技術的支援も含めた市への積極的な働きかけをお願いします。</p>
<p>2 J R 東海道線 上り 電車 終電の繰下げについて</p>	<p>小田原駅発車の J R 東海道線 上りは、小田原駅 23 時 10 分発の品川行きが最終電車となっており、小田急線 最終電車の 00 時 03 分発に比べ約 1 時間も早く終電となっており、横浜や東京方面に帰るビジネス客や観光客にとって大変不便で、その結果、小田原での滞在時間の減少に伴い消費行動の妨げになっております。</p> <p>また、23 時近くまで営業を行っている飲食業などの店舗においては従業員の帰宅についても考慮しなければならないことから、東海道沿線 上り方面での人材確保が難しくなっており、雇用面でも影響が出ております。</p> <p>さらに、当地では 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ候補地へのエントリーをしており、今後、注目度や集客力がさらに高まっていくことが予想されます。</p> <p>このようなことから、県西地域の拠点としてさらに利便性の強化を図り、ひいては県西地域の経済活性化にも繋がるものと考えておりますので、J R 東海道線の 上り 最終電車の時刻について、せめて小田急線同様の 30 分～40 分後の 0 時に近い時間に設定していただきたいと願っており、本要望は J R 東日本がグループ理念やサステナビリティレポートでも述べている「『J R 東日本グループだからできる』地域活性化策」に合致するものと考えます。</p> <p>つきましては、県におかれましても、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議等において鉄道事業者へ要望される際には、活性化の観点から重点的に要望いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、本要望につきましては、過去に利用率が低調であることを理由に聞き入れられていないと伺っておりますので、時季運行やテスト運行等により効果を J R 東日本に検証いただきたく、申し添えさせていただきます。</p>

項 目	理 由
<p>3 防災幹線道路の整備について</p>	<p>昨年当所では都市と交通基盤の観点から県西地域の未来を考える「みらいの道シンポジウム」を開催し、経済や観光、防災という観点から道路整備の必要性を再認識いたしました。また、当所は伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の一員を担い、観光の活性化、広域的な都市間交流による新たな地域文化の創造、災害対策などに貢献する同道路建設を、当県と静岡県にまたがる経済界と行政が一体となり積極的に推進しております。</p> <p>つきましては、道路ネットワークの多重化により、地域孤立リスクの低減を図ることができることから、伊豆湘南道路の促進を図るとともに、国道135号線沿線や国道1号線の迂回道路にもなっており小田原と箱根を結んでいる足柄幹線林道が、大きな災害にも耐えうるハード面を強化し、安全を担保した施設になるよう引き続き強く要望するとともに、県内道路だけでなく隣県も俯瞰してより広域な道路ネットワークの構築が図られるよう要望します。</p>
<p>4 酒匂川流域下水道事業における箱根小田原幹線工事の地元発注について</p>	<p>神奈川県県土整備部においては、箱根町湯本地区、小田原市風祭及び入生田地区の下水道の未普及解消に向け、平成24年度から箱根小田原幹線の整備を進めておられますこと承知しております。全延長約9.2Kmのうち、これまでに右岸処理場から久野川橋までの約2Kmが完成し、本年度は引き続き小田原市役所前から小田原厚木道路荻窪ICに至る約1.7kmの管きよの整備を進めるとのことですが、工事の発注においても地元配慮した事業推進をしていただいておりますこと感謝申し上げます。</p> <p>整備目標では、2019年度以降も工事の発注が見込まれていることから引き続き、今後も災害などによる不測の事態に速やかに対応が可能な地元事業者を、その育成の観点からも優先的に取り扱っていただきますよう重ねて要望します。</p>
<p>5 小田原・箱根の木工業に対する支援について</p>	<p>(1) 工芸技術所の専門的知識を持った県職員配置について</p> <p>工芸技術所は、県内工芸品産業の発展を図るため、デザイン、加工技術、塗装の各技術分野から、ものづくり支援、研究開発、人材育成、技術情報連携・交流を事業の柱に昭和12年にこの小田原に設立され、平成29年4月1日から工芸技術所は神奈川県中小企業支援課の管轄となり、翌年には常駐職員が配置されました。</p> <p>古くから木工の名産地として栄えてきた小田原箱根においても、工芸技術所は技術指導や後継者育成など業界指導に貢献していただいております。館内に常設されている木工機械も多くの木工業者が利用してまいりました。</p> <p>また、ここ数年では「雑木囃子」や「いぶき会」などの次代を担</p>

項 目	理 由
	<p>う若手育成にもご尽力を賜わり、技術指導をはじめ、この小田原箱根の特性を活かした付加価値の高い木製品製造への助言をいただき業界支援に大変寄与していただいております。</p> <p>近年、木工芸を取り巻く環境は製品原材料の仕入れが難しく、外国製品との価格競争等も依然厳しい中、伝統工芸のみならず新しいスタイルの製品の製造に日々取り組んでいる状況であり、このような時こそお客様ニーズやインバウンド対応も踏まえ、技術指導やデザイン指導など専門的な知識と機械を所有する工芸技術所の機能がますます求められております。</p> <p>つきましては、工芸技術所の今後のあり方をお示しいただくとともに、木工産業の支援と若手育成、また組合によって異なる業態のためさらなる専門的知識・実務に精通した職員の配置・増員についてご高配いただけるよう要望します。</p> <p>(2) 木製品への支援について</p> <p>当所では(一社)箱根物産連合会と連携して、小田原・箱根地方の伝統工芸である小田原漆器、小田原木製品、箱根寄木細工・木象嵌を神奈川県内はもとより各地域の展示会、イベント等に積極的に参加しPR活動を行ってきております。</p> <p>平成27年3月から、既存の「木製品フェア」に代わり、中心市街地でのイベントとして、小田原地下街にて「木・技・匠」イベントを2年に1度開催し、限られた予算ながらも木の温もりと文化に触れる機会を提供して、中心市街地活性化の一翼を担っております。</p> <p>また、(一社)箱根物産連合会が伝統工芸品の店「WAZA屋」と小田原箱根地域の木製品の店「TAKUMI館」を営業し、木製品の販売、若手職人の作品の展示・販売を行うなど若手の育成指導や販路の開拓、木製品の情報発信に努めております。</p> <p>つきましては、神奈川県の名産100選にも指定されている「小田原漆器」、「小田原木製品」、「箱根寄木細工・木象嵌」など次世代に継承していくための支援策とともに、時代のニーズをとらえるための商品開発支援なども強力にご支援いただけますよう要望します。</p>
<p>6 富士山噴火災害予想と自然災害に対する事業所への配慮について</p>	<p>近年の富士山火山防災対策に関しては、噴火警戒対策、物流の移動手段対策、避難計画などの対応が懸念されているところではありますが、山梨県、静岡県、神奈川県を中心に国、市町村、学識者で構成する「富士山火山防災対策協議会」を設立し、3県にわたる防災対策の検討や防災訓練等を実施や「広域降灰対策検討ワーキンググループ」の検討の開始や「九都県市首脳会議」等を通じて国への要望を継続的に推進していただき感謝申し上げます。</p> <p>神奈川県では独自で富士山の噴火や降灰などの被害想定を検討されていると思いますが、富士山噴火で県内に降り積もる火山灰は30</p>

項 目	理 由
	<p>～50センチ以上降灰する可能性があり、県民にとって健康や交通、インフラ等に与える火山灰の影響による被害は脅威であります。よって、企業の敷地内に降灰する火山灰収集場所や廃棄方法については、具体的な指示をいただけますようお願いいたします。</p> <p>そして、企業は火山活動に対する噴火警戒対策（避難方法や公共交通機関の動向、火山灰に対する資産の防御方法や処理の仕方、廃棄方法や収集場所など対策、物流の対策）について、BCPを作成し災害等不測の事態に対応すべく組織体制を整えております。</p> <p>また、県内へ想定される降灰被害について、各市町村の火山防災対策の検討及び計画の推進を、小田原市ならびに周辺自治体への働きかけをいただけますよう要望いたします。</p> <p>併せて、今後も企業が安心して操業できるよう、そして従業員等へ十分な安全対応ができるよう、併せてご指導いただきますようお願いいたします。</p>
<p>7 いのち輝くまちづくり構想推進について</p>	<p>小田原市久野のイオングループ所有の土地（JT跡地）の開発計画について、平成27年7月にイオングループ、小田原市、神奈川県、小田原箱根商工会議所による「いのち輝くまちづくり構想4者研究会」が発足し、神奈川県からは県西地域県政総合センター所長、企画調整部長に構成メンバーに加わって頂き、研究会を開催してまいりました。</p> <p>研究の成果として基本計画を発表し、現在は、新たな構成メンバーを加えて、基本構想で掲げた6本の柱の中心である地域医療体制との連携、健康増進施策の推進、県の「未病を改善する」拠点としての機能と位置付けを深化するための懇談会を開催しております。</p> <p>「いのち輝くまちづくり構想」の具現化は県が係っている県西地区の地域医療構想に基づく医療関係整備にも資すると考えておりますので、小田原市ならびに周辺自治体への働きかけを含め積極的に推進いただけますよう引き続き要望します。</p>
<p>8 箱根の総合的な雪害対策について</p>	<p>箱根は平成26年に大雪があり、平成30年3月にも季節外れの降雪など、頻繁に雪害が発生しており、国際観光地に恥じない対策を取っていく必要があります。</p> <p>極端な災害に匹敵するような雪害対策については、凍・雪害対策本部を設置し、計画に従い行動することになっていることは理解しましたが、それに満たない降雪に対しても、電車やバスを待ち、さらには目的地まで徒歩で向かおうとする観光客の姿、ノーマルタイヤで立ち往生する車両、車の乗り捨てや、樹木の倒壊があり、それにより思うように除雪が進まない状況などを考えると、まだまだ問題が山積みの状況であります。</p>

項 目	理 由
	これらの問題を1つ1つ解決し、多くの関係者が一体となって取り組むためにも、自治体をはじめ交通事業者、道路管理者、警察、観光事業者等の関係者が議論する場を神奈川県及び箱根町が中心となり設けていただくことを要望します。

令和2年度税制改正に関する要望
(牧島かれん衆議院議員へ11月15日提出)

事業承継の円滑化、新事業展開・生産性向上を促す税制の整備を！

2019年11月
小田原箱根商工会議所
日本商工会議所

1. 価値ある事業を次世代へ繋ぐ「第三者承継」を後押しする税制措置の創設

- ▶ 早期の事業引継を促すため、株式等の譲渡に対するインセンティブ措置および買い手企業に対する買収リスク軽減措置(「のれん」の一括償却等)を講じるべき

2. 中小・スタートアップ企業の企業連携等による地域の新たな産業の創出

- ▶ 中小企業等によるスタートアップ投資を通じて、オープンイノベーションを促す税制措置の創設
- ▶ 個人からの出資を促すエンジェル税制の要件緩和(創業期間要件(3年)の延長等)

3. 約50万社が活用する「少額減価償却資産の損金算入特例」の延長

- ▶ 本特例は、減耗の激しい器具の更新等、恒常的に発生する設備投資に活用されており、中小企業の事務負担の軽減・生産性向上に大きく寄与
- ▶ 軽減税率対応、最低賃金引上げ、時間外労働規制等により、中小企業の実業生産性向上が急務。遅れているIT化・IoT対応を促すためにも、本特例は縮減することなく延長すべき

4. 中小企業の販路開拓を後押しする「交際費の損金算入特例」の延長

- ▶ 取引先が限定される中小企業において、交際費は販路開拓等のため不可欠な支出。地域の消費喚起にも資することから、本特例は確実に延長すべき

5. 2023年10月から導入予定のインボイス制度は、廃止を含め慎重に検討すべき

- ▶ 消費税軽減税率制度導入によって制度が複雑化したうえに、適格請求書等(インボイス)の発行・保存・確認に係る事務負担の増加は、生産性向上に逆行
- ▶ 免税事業者(約500万者)の取引排除等、地域経済への影響も極めて大きく、インボイス制度は、廃止を含め慎重に検討すべき

(3) 調査・研究

ア 件名	第42回・第43回景況調査
実施期間	令和元年8月、令和2年2月
内容の概要	管内商工業者の景況状況を把握するための資料とする (1) 景況感についての調査 (2) 経営状況についての調査 (3) 経営上の問題点についての調査
調査発表	当所会報令和元年11月号に掲載(第42回) 当所会報令和2年5月号に掲載予定(第43回)
イ 件名	第75回小田原市主要商店街流動客調査
実施期間	令和元年12月14日(土)
内容の概要	小田原市中心部主要商店街及び小田原駅東西自由連絡通路の流動客の状況を把握し、商業施設及び中小商業の経営改善対策の資料とする (1) 市内主要地点における時間帯別流動状況の調査
調査発表	調査の集計・分布結果を関係機関・団体等に配布する他、 当所会報令和2年2月号付録にて発表
ウ 件名	LOBO調査
実施期間	毎月(7業種7団体)
内容の概要	業況・売上・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの状況などを調査

(4) 広 報

ア 刊 行

- (ア) 定期刊行
- *会報「商工小田原箱根」発行
 - ・刊行期日 毎月1回20日発行／1月15日新春特別号
 - ・掲載内容 会議所活動、諸制度、諸事業、経営指導など
 - ・発行部数 3,300部
 - ・配付先 会員、特定商工業者、関係諸団体、各地商工会議所等に配付
 - *PRペーパー「商工会議所通信」発行
 - ・刊行期日 毎月1回1日発行
 - ・掲載内容 セミナー・講習会・イベントなど
 - ・発行部数 500部
 - ・配布先 税務署・県・市等に配布
 - *メールマガジン
 - ・刊行期日 毎月第2・第4月曜日配信
 - ・掲載内容 セミナー・講習会・イベントなど
 - ・配信数 599件
 - ・配信先 会員に配信
- (イ) 不定期刊行
- *観光ガイドブック「パスポート小田原・箱根2020」発行
 - ・刊行期日 令和2年3月1日
 - ・掲載内容 小田原・箱根の名所・観光施設を満載
 - ・発行部数 100,000部
 - ・配布先 鉄道各社、日本道路公団・その他関係官公庁、団体

- イ 定例記者会見 会頭による定例記者会見
 第1回 平成31年4月24日
 第2回 令和元年11月1日

(5) 証明・鑑定・検査

ア 証明

(ア) 貿易関係証明 (該当国のみ)

品名 国名	機械及び金属製品	食 品	そ の 他	合 計
台湾		85		85
中国	52		2	54
アメリカ	13			13
ベトナム	2	2		4
クウェート		3		3
タイ			3	3
インド	2			2
トルコ	2			2
南アフリカ		1		1
合 計	71	91	5	167

- (イ) 国内取引関係証明 0件
 (ウ) 会員証明 0件
 (エ) 特定退職金共済制度加入証明 55件

イ 商品メーカーコード (GS1事業者コード) 申請

(ア) 申請件数

業種 種類	区分I (製造業)	区分II (卸・小売業、 サービス業等)	合 計
新規申請	0	0	0
更新登録	5	3	8
合 計	5	3	8

(6) 信用調査

- ア 信用調査 他商工会議所より当地方業者に対する調査 0件
 当所より他商工会議所に対する調査 1件

(7) 各種行事

ア 一般行事

行事の名称 主催者	開催日	会場等	
小田原おでんサミット2019 小田原おでんサミット実行委員会 小田原おでん会	4 / 6 ~ 7	小田原城址公園二の丸広場	後援
第12回小田原木工団地フェスティバル 小田原木工団地協同組合	4 / 20 ~ 21	小田原木工団地	後援
QCサークル関東支部神奈川地区 行事 QCサークル関東支部神奈川地区	5月~12月	神奈川県内	後援
第82回ゴルフ大会 (株)神静民報社	5 / 9	大箱根カントリークラブ	協賛
第13回西さがみ俳句大会 (株)神静民報社	6月~9月	公募・表彰	協賛
m a m a J o bサミット N P O法人m a m a ' s h u g	6 / 1	小田原ガスエコリア	後援
小田原城アート NOW 2019 小田原文化芸術協会	6 / 1 ~ 30	小田原城4階・ 小田原城址公園・ 清閑亭・UMECO・ 市内店舗	後援
街なみ活性化事業 (市民アート展とにぎわいオブジェ展) 小田原銀座商店会	6 / 1 ~ 3 / 31	銀座商店街	後援
第24回かながわ夢絵コンテスト (特非) こどもネットミュージアム	6 / 1 ~ 3 / 31	横浜新都市ビル センタープラザ	後援
第7回ビジネスマッチングwithかながわ8信金 神奈川県信用金庫協	6 / 7	大さん橋ホール	後援
箱根マルシェ in 仙石原 箱根マルシェ in 仙石原実行委員会	6 / 9	箱根淡水魚養殖場跡地	後援
事業承継セミナー さがみ信用金庫	6 / 14	さがみ信用金庫本店	共催
第22回「園児たちの夢の七夕2019」 お堀端商店街振興組合	7 / 4 ~ 15	お堀端通り	後援
第35回箱根馬子唄日本一全国大会 箱根馬子唄保存会	7 / 7	星槎レイクアリーナ箱根	後援
芦ノ湖ショア・バスフィッシング大会 芦之湖漁業協同組合	7 / 13	芦之湖元箱根湾	後援

行事の名称 主催者	開催日	会場等	
小田原水れもんバル 小田原プロモーションフォーラム 小田原水れもんバル実行委員会	7/20	小田原駅周辺	後援
第52回氷彫刻技術コンクール小田原大会 (一社)全日本司厨士協会関東総合地方本部	7/28	お堀端通り	後援
創立150周年記念 丸う創業記念祭 (株)丸う田代	8/10~18	丸う蒲鉾本店	後援
童謡100周年～北原白秋が愛した小田原箱根物語～(キャラリー龍宮殿)オープン記念音楽イベントコンサート (株)ピエロタ箱根ドールハウス美術館	8/24	龍宮殿別館	後援
第59回小田原地方官公庁親睦野球大会 小田原地方官公庁親睦野球大会	8/31~10/12 土・日・祝日	上府中公園小田原球場 酒匂川スポーツ広場 他	後援
第4回小田原宿場祭り 小田原かまぼこ通り活性化協議会	9/28	小田原かまぼこ通り	後援
中小企業問題に関するシンポジウム及び無料法律相談会 神奈川県弁護士会	10/1	神奈川県中 小企業センター	後援
令和元年度中期労働講座 神奈川県かながわ労働センター湘南支所	10/4・9・11 15・24・29 11/5・8	小田原合同庁舎	後援
第17回小田原おでん祭り 小田原おでん祭り実行委員会 小田原おでん会	10/12~13	小田原城址公園二の丸広場	後援
箱根パンコレクション 小田急箱根ホールディングス(株)	10/12~12/1	箱根エリア	後援
湘南ひらつかテクノフェア 平塚商工会議所	10/17~19	ひらつかサン・ライフ アリーナ	協力
Shonan Autumn Fes 2019 Honan Autumn Fes実行委員会	10/19~20	県立辻堂海浜公園	後援
西湘日中友好協会創立50周年記念 講演会・伝統文化芸能鑑賞 西湘日中友好協会	10/20	小田原お堀端通り 万葉の湯	後援
mama Jobサミット NPO法人mama's hug	11/3	ダイナシティイースト	後援
第83回ゴルフ大会 (株)神静民報社	11/12	仙石ゴルフコース	協賛

行事の名称 主催者	開催日	会場等	
田崎清忠杯 第1回小学生英語暗唱大会 in SHONAN (一社)教育支援協議会	11/23	旭丘高等学校	後援
からくりパズルフェスタ からくり創作研究会	1/1 ~2021年3/31	小田原市内 箱根町内他	後援
小田原七福神めぐり「宝船号バスツアー」 小田原七福神会	1/4~7	市内社寺	後援
小田原・箱根超若手会議 野村證券(株)小田原支店	1/21	小田原お堀端 コンベンションホール	後援
西湘蘭展2020 西湘蘭展実行委員会	1/22~27	ダイナシティウエスト	後援
まちづくりフォーラム「小田原一頭のよい子が育つまち」 頭のよい子が育つまち小田原実行委員会	2/2	小田原箱根商工会議所 ホール	後援
第56回小田原梅まつり俳句大会 小田原俳句協会	2/9	おだわら市民交流 センターUMECO	協賛
創立7周年記念講演会 認定NPO法人みんなでお城をつくる会	2/11	おだわら市民交流 センターUMECO	後援
風魔NINJA月間/風魔NINJA遊園地 小田原城本通り活性化協議会	2/22	小田原城本通り	後援
企業等連携プログラム 「いつもここに安心を」 日本赤十字社神奈川支部	2/27・3/3 3/4	ホテルおかだ	後援
芦ノ湖ルアー・フライ限定特別解禁釣大会 芦之湖漁業協同組合	3/1	芦之湖元箱根湾	後援
事業承継セミナー さがみ信用金庫	3/4	さがみ信用金庫 板橋支店	共催
箱根スイーツコレクション2020 小田急箱根ホールディングス(株)	3/6~4/30	箱根エリア	後援
第33回小田原尊徳マラソン大会 (公財)小田原市体育協会	3/8 【中止】	小田原アリーナ	協賛
第24回小田原かまぼこ桜まつり 小田原蒲鉾協同組合	3/28~29 【中止】	小田原城址公園二の丸広場	後援

イ 観光関係

行事の名称 主 催 者	開催日	会 場 等	
第28回小田原の四季観光写真コンクール (一社)小田原市観光協会	4 / 1 ~ 3 / 31	公募・表彰	後援
第55回小田原北條五代祭り (一社)小田原市観光協会	5 / 3	小田原城址公園 市内パレード	後援
第28回小田原ちょうちん夏まつり (一社)小田原市観光協会	7 / 27・28	小田原城址公園	後援
第30回小田原酒匂川花火大会 (一社)小田原市観光協会	8 / 3	酒匂川スポーツ広場	後援
第29回小田原みなとまつり 小田原みなとまつり実行委員会	8 / 4	小田原漁港及び周辺	協賛
ODAWARAえっさホイまつり2019 ODAWARAえっさホイおどり実行委員会	9 / 14~15	小田原城址公園二の丸広場他	共催
第35回一夜城まつり (一社)小田原市観光協会	10 / 20	石垣山一夜城歴史公園	後援
第69回小田原城菊花展 (一社)小田原市観光協会 小田原清香会	11 / 2 ~ 17	小田原城址公園本丸広場	後援
第50回小田原梅まつり (一社)小田原市観光協会 曾我梅まつり実行委員会	2 / 1 ~ 3 / 1	曾我梅林 小田原城址公園	後援

(8) 技術・技能の普及検定

ア 検 定

(ア) 珠 算

回 数	期日・会場	級別		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級・ 10級	合計
		人数・%											
216回	6/23 商工会議所	受験者数		3	6	21	8	5	5	2	1	0	51
		合格者数		0	2	11	5	5	5	2	1	0	31
		合格 率		0.0	33.3	52.4	62.5	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	60.8
217回	10/27 商工会議所	受験者数		5	14	14	9	4	1	1	1	0	49
		合格者数		0	8	5	9	3	0	1	1	0	27
		合格 率		0.0	57.1	35.7	100.0	75.0	0.0	100.0	100.0	0.0	55.1
218回	2/9 商工会議所	受験者数		13	12	21	5	3	2	0	0	1	57
		合格者数		3	6	10	3	3	1	0	0	1	27
		合格 率		23.1	50.0	47.6	60.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	47.4
合計		受験者数		21	32	56	22	12	8	3	2	1	157
		合格者数		3	16	26	17	11	6	3	2	1	85
		合格 率		14.3	50.0	46.4	77.3	91.7	75.0	100.0	100.0	100.0	54.1

(イ) 簿 記

回 数	期日・会場	級別		1級	2級	3級	合計
		人数・%					
152回	6/9 商工会議所 旭丘高校	受 験 者 数		9	86	140	235
		合 格 者 数		1	25	68	94
		合 格 率		11.1	29.1	48.6	40.0
153回	11/17 商工会議所 旭丘高校	受 験 者 数		8	92	170	270
		合 格 者 数		2	22	57	81
		合 格 率		25.0	23.9	33.5	30.0
154回	2/23 商工会議所 旭丘高校	受 験 者 数			103	145	248
		合 格 者 数			29	54	83
		合 格 率			28.2	37.2	33.5
合計		受 験 者 数		17	281	455	753
		合 格 者 数		3	76	179	258
		合 格 率		17.6	27.0	39.3	34.3

(ウ) 福祉住環境コーディネーター

回数	期日・会場	級別		合計	
		人数・%			
42回	7/7 小田原市保健センター	受験者数	23	10	33
		合格者数	6	9	15
		合格率	26.1	90.0	45.5
43回	11/24 小田原市梅の里センター	受験者数	23	16	39
		合格者数	11	8	19
		合格率	47.8	50.0	48.7
合計		受験者数	46	26	72
		合格者数	17	17	34
		合格率	37.0	65.4	47.2

(エ) ビジネス実務法務検定

回数	期日・会場	級別		合計	
		人数・%			
45回	6/30 小田原市保健センター	受験者数	15	16	31
		合格者数	8	9	17
		合格率	53.3	56.3	54.8
46回	12/8 小田原市梅の里センター	受験者数	8	16	24
		合格者数	1	9	10
		合格率	12.5	56.3	41.7
合計		受験者数	23	32	55
		合格者数	9	18	27
		合格率	39.1	56.3	49.1

(オ) 日商ネット試験

回数・期日	試験名	受験者数	合格者数	合格率 (%)
随時	日商PC	16	11	68.8
	原価計算初級	4	3	75.0
	簿記初級	5	5	100.0
	キーボード操作	0	0	0

認定会場：PCアカデミーオーシャン、パソコン教室岸、パソコンくらぶおぐぼそ

(9) 取引紹介（照会を含む）あっせん

- ア 国内取引 62件
- イ 国外取引 なし

(10) 取引紛争のあっせん

- ア 取引紛争のあっせん なし
- イ 調停 なし
- ウ 仲裁 なし

(11) 相談・指導・あっせん等

- ア 下請あっせん相談（相談機関・公益財団法人神奈川産業振興センター） 1件
- イ 創業支援相談 66件

(12) 会員の増強対策

会員増強特別委員会で実施計画・目標数を設定し、役員・議員・会員挙げて会員増強運動を展開した年度中増強実績 115件

(13) 経営改善普及事業（中小企業相談部）

ア 巡回指導

業種別	対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製造業	76	196	0	0	0	12	1	3	19	0	1	232
建設業	47	101	0	0	0	23	0	1	3	1	1	130
小売業	133	312	0	0	0	36	0	0	19	0	4	371
卸売業	40	89	0	0	0	14	1	0	5	0	0	109
サービス業	232	569	0	0	0	48	1	4	21	0	6	649
その他	11	33	0	0	0	2	0	0	0	0	1	36
計	539	1,300	0	0	0	135	3	8	67	1	13	1,527

イ 窓口指導

業種別	対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製造業	70	182	0	0	0	27	3	8	55	18	4	297
建設業	40	117	0	0	0	52	1	6	4	0	4	184
小売業	69	278	0	0	0	39	0	0	14	1	0	332
卸売業	20	102	0	0	0	15	1	0	9	1	0	128
サービス業	212	791	0	1	0	121	6	9	48	3	49	1,028
その他	7	27	0	0	0	6	0	0	1	1	1	36
計	418	1,497	0	1	0	260	11	23	131	24	58	2,005

(3) 講習会の開催による指導

ア 集団指導

区分	経営革新	経営一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境対策	取引	その他	計
回数	10	17	0	12	15	7	5	0	1	0	67
人数	175	258	0	223	330	85	155	0	38	0	1,264

イ 個別指導

区分	経営革新	経営一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境対策	取引	その他	計
回数	9	1	0	2	6	0	5	3	0	2	28
人数	39	2	0	9	80	0	22	120	0	4	276

ウ 講習会開催状況表（青年部・女性会を除く）

月日	時間	場所	参加人員	講演テーマ	講演		講演内容	種別
					職業	氏名		
4/1	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/4	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/8	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/9	14:00～ 16:30	商工会議所	38	新入社員安全衛生教育セミナー	労働安全衛生コンサルタント	竹内春樹	新入社員への安全衛生教育について	労働
4/10	14:00～ 16:30	商工会議所	54	新入社員安全衛生教育セミナー	労働安全衛生コンサルタント	竹内春樹	新入社員への安全衛生教育について	労働
4/11	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/15	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/18	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
4/22	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
5/9	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
5/13	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融
5/16	18:30～ 20:30	商工会議所	22	簿記3級講習会	税理士	鈴木美帆	日商簿記3級試験対策（全15回）	金融

月日	時間	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 演		講演内容	種別
					職 業	氏 名		
5/18	13:00～ 18:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪 熊 正 美 伊 藤 裕 美 黒 石 陽 子 天 満 正 俊	経営者の心構え、 ビジネスコミュニ ケーション	創業
5/20	14:00～ 16:00	商工 会議所	19	人材採用・人材 育成セミナー 開催について	社会保険労務士 (株)フリーシ ェアードジ ャ パ ン	吉 川 直 子 海 野 優	人手不足の中、ど うしたら必要な人 材を維持できるか について	労働
5/20	18:30～ 20:30	商工 会議所	22	簿記3級講習会	税 理 士	鈴 木 美 帆	日商簿記3級試験 対策 (全15回)	金融
5/23	18:30～ 20:30	商工 会議所	22	簿記3級講習会	税 理 士	鈴 木 美 帆	日商簿記3級試験 対策 (全15回)	金融
5/25	13:00～ 17:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪 熊 正 美 伊 藤 裕 美 黒 石 陽 子 天 満 正 俊	マーケティング戦 略・創業の基礎知 識	創業
5/27	18:30～ 20:30	商工 会議所	22	簿記3級講習会	税 理 士	鈴 木 美 帆	日商簿記3級試験 対策 (全15回)	金融
5/28	14:00～ 15:40	商工 会議所	38	防災勉強会	小田原市防 災部副部長	中 村 信 也	「水防」をテーマ とした勉強会	環境
5/29	18:00～ 20:00	商工 会議所	12	IT導入補助金 対策セミナー	中小企業診断士	岩 永 武 大	IT導入補助金で 生産性向上を実現	経営 革新
5/30	18:30～ 20:30	商工 会議所	22	簿記3級講習会	税 理 士	鈴 木 美 帆	日商簿記3級試験 対策 (全15回)	金融
6/1	13:00～ 17:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪 熊 正 美 伊 藤 裕 美 黒 石 陽 子 天 満 正 俊	会計の仕組み、売 上の立て方、先輩 創業体験談	創業
6/3	18:30～ 20:30	商工 会議所	22	簿記3級講習会	税 理 士	鈴 木 美 帆	日商簿記3級試験 対策 (全15回)	金融
6/12	17:00～ 19:00	商工 会議所	12	消費税改正につ いての基礎知識	税 理 士	鈴 木 一 彦	消費税増税の対応 のための基礎知識	経営 一般
6/13	16:00～ 18:00	商工 会議所	26	戦略的キャッシ ュレスの活用につ いて	中小企業診断士	高 久 広	キャッシュレス導 入の方法と効果に ついて	経営 一般
6/15	13:00～ 17:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪 熊 正 美 伊 藤 裕 美 黒 石 陽 子 天 満 正 俊	収支計画・利益計 画の立て方、必要 資金及びコストの 把握	創業

月日	時間	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 演		講演内容	種別
					職 業	氏 名		
6/18	15:00～ 16:30	商工 会議所	6	経営者の相続・ 事業承継 セミナー	ファイナン シャルプラ ンナー	小澤 智	事業承継における 相続について	経営 一般
6/22	13:00～ 17:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪熊正美 伊藤裕美 黒石陽子 天満正俊	資金調達、創業者 向け融資等の紹 介、ビジネスプラ ンの作成	創業
6/29	13:00～ 17:00	商工 会議所	27	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 税 理 士 中小企業診断士	猪熊正美 伊藤裕美 黒石陽子 天満正俊	ビジネスプランの 発表会	創業
7/24	14:00～ 17:00	商工 会議所	22	新人営業マンが 営業実践力を 身に付ける方法	中小企業診断士	香川 哲	営業力強化の実践 方法	経営 一般
7/25	18:00～ 20:00	商工 会議所	12	軽減税率対策・ 実務のポイント 講座 ①	税 理 士	黒石陽子	消費税・軽減税率 制度の基礎知識	税務
7/31	18:00～ 20:00	商工 会議所	11	軽減税率対策・ 実務のポイント 講座 ②	税 理 士	黒石陽子	消費税・軽減税率 制 度の実務	税務
8/5	18:30～ 20:30	商工 会議所	18	神奈川県小規模 事業者支援推進 事業費補助金対 策セミナー	中小企業診断士	天満正俊	経営計画立案・補 助金対策	経営 革新
8/8	18:00～ 20:00	商工 会議所	11	軽減税率対策・ 実務のポイント 講座 ③	税 理 士	黒石陽子	業種別対策、総ま とめ	税務
8/21	15:00～ 17:00	商工 会議所	29	簿記のキソの基 礎から経営分析 ができるまで	税 理 士	石川和男	簿記の基本と自社 の経営分析	経営 一般
8/28	15:00～ 17:00	商工 会議所	29	簿記のキソの基 礎から経営分析 ができるまで	税 理 士	石川和男	簿記の基本と自社 の経営分析	経営 一般
9/5	18:00～ 20:00	商工 会議所	17	消費者心理の掴 み方講座	日経BP総 合研究所	品田英雄	トレンドとヒット 商品の着眼点を学 ぶ	経営 革新
9/11	18:00～ 20:00	商工 会議所	10	社員のやる気と 定着率アップ セミナー	ひとみ コーティング オフィス	吉澤史実	社員の定着率をア ップさせるための コーチング手法に ついて解説	経営 一般

月日	時間	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 演		講演内容	種別
					職 業	氏 名		
9/27	15:00～ 17:00	商工 会議所	12	もらっているから話せる助成金と補助金申請と採択の注意点セミナー	1 級 F P 技 能 士	竹 内 一 信	労務系助成金、補助金のメニュー紹介及び活用の際してのポイントについて説明	経営 一般
10/2	13:30～ 15:45	商工 会議所	13	展示効果拡大セミナー	(株)トゥルー ミッション コンサル ティング 中小企業診断士	森 智 亮	展示会の成果獲得に向けて取り組むべきポイント	経営 一般
10/9	14:00～ 16:00	商工 会議所	52	地方創生！ 地域企業応援 セミナー	神戸国際大学 経済学部教授	中 村 智 彦	県西地域の中小企業事業者への事業継続のための必須事項について解説	経営 革新
10/19	14:00～ 16:00	商工 会議所	13	みんなのビジネススクール i n 小 田 原	専 修 大 学 経営学部准教授	三 宅 秀 道	新しい市場のつくりかた	創業
10/23	18:30～ 20:30	下曾我 神戸会館	7	下曾我商店会 役員向け キャッシュレス 決済勉強会	小田原箱根 商工会議所	本 山 三 男	同年10月からの消費税増税に関するレジ、キャッシュレス決済に関する勉強会	経営 一般
10/27	14:00～ 16:00	川東タ ウンセ ンター マロニエ	3	みんなのビジネススクール i n 小 田 原	(株)エリアコ ンシェル 代表取締役 フリーランス デザイナー	前 島 真 弓 藤 森 華 子	ママ起業における仕事・子育て・自分のバランスの取り方	創業
11/2	14:00～ 16:00	商工 会議所	12	みんなのビジネススクール i n 小 田 原	(株)RiceWine 代表取締役 (株)旧三福不 動産共同代表	酒 井 優 太 渡 邊 実	営業マンじゃなくても必要な営業の考え方	創業
11/5	13:00～ 17:00	商工 会議所	15	令和元年度伴走 型小規模事業者 支援推進事業	マーケティ ングプランナー	古 河 正 己 内 藤 雅 生	事業承継のための売り上げ改善 事業承継のための財務改善	経営 一般
11/12	14:00～ 16:00	商工 会議所	16	『神奈川県 の経済情勢と 今後の動向』 セミナー	(株)浜銀総 合研究所上 席主任研究 員	新 瀧 健 一	神奈川県 の経済情勢 と今後の動 向を統計デ ータに基づ き解説	経営 一般
11/13	13:00～ 17:00	商工 会議所	13	令和元年度伴走 型小規模事業者 支援推進事業	弁 護 士 税 理 士	太 田 茂 松 本 俊 明	事業承継のための 法務 事業承継のための 税務	経営 一般

月日	時間	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 演		講演内容	種別
					職 業	氏 名		
11/13	19:00～ 20:30	UMECO	21	小田原市労働講 座働き方改革と ワーク・ライ フ・バランス	神奈川県働 き方改革推 進支援セン ターアド バイザー 特定社会保 険 労 務 士	押 元 靖 貴	長時間労働の是 正、公正な処遇の 確保、労働環境の 改善など新しい働 き方に関して取り 組むべき課題につ いて学ぶ	労働
11/14	19:00～ 21:00	商工 会議所	8	みんなのビジ ネススクール i n 小 田 原	湯河原十二 庵 代 表 N P O 法 人 ママズハグ 代 表 理 事	浅 沼 宇 雄 山 本 加 世	10年間自転車 を漕ぎ続ける技術。 あきらめないメン タル	創業
11/19	18:00～ 20:00	商工 会議所	8	消費税率引上げ と軽減税率制度 のポイント講座	税 理 士	中 村 茂 幸	消費税率引上げと 軽減税率制度のポ イントを解説	税務
11/19	19:00～ 20:30	下曾我 神戸会館	15	下曾我商店会 会 員 向 け キャッシュレス 決 済 勉 強 会	小田原箱根 商工会議所	本 山 三 男	同年10月からの 消費税増税に 関するレジ、 キャッシュレス 決 済 に 関 する勉強会	経営 一般
11/21	13:00～ 17:00	商工 会議所	15	令和元年度伴走 型小規模事業者 支 援 推 進 事 業	中小企業診断士	川 崎 朋 子	事業承継のケース スタディ 総括質疑応答	経営 一般
11/23	14:00～ 16:00	商工 会議所	11	みんなのビジ ネススクール i n 小 田 原	R 不 動 産 (株) 代 表 取 締 役	吉 里 裕 也	組織3.0個人と 会 社 の 間 に あ る 新 し い 組 織 の か た ち	創業
11/29	18:00～ 20:00	商工 会議所	8	消費税率引上げ と軽減税率制度 のポイント講座	税 理 士	中 村 茂 幸	消費税率引上げと 軽減税率制度のポ イントを解説	税務
11/30	14:00～ 16:00	商工 会議所	14	みんなのビジ ネススクール i n 小 田 原	Greenz.jp ビジネスアド バイザー (株)旧三福不 動産共同代表	小 野 裕 之 山 居 是 文	ローカル起業を成 功させる心構え	創業
12/6	14:30～ 16:30	商工 会議所	10	価 格 戦 略 と 価 格 の 決 め 方 セ ミ ナ ー	ネクストマー ケティング(株)	水 下 智 則	マーケティングの 観 点 か ら 価 格 戦 略 を 解 説	経営 革新
12/11	18:00～ 20:00	商工 会議所	12	I T 徹 底 活 用 術 セ ミ ナ ー	(株)スプラム	竹 内 幸 次	I T 活 用 術 を 解 説	経営 革新
12/16	18:00～ 20:00	商工 会議所	8	簿記3級講習会	税 理 士	黒 石 陽 子	消費税・軽減税率 制度の基礎知識と 決算書の見方	税務

月日	時間	場所	参加人員	講演テーマ	講演		講演内容	種別
					職業	氏名		
12/17	18:00～20:00	商工会議所	20	集客と売上アップを実現するセミナー	神奈川県よろず支援拠点コーディネーター	天満正俊	経営分析の手法、販促ツール作成方法の手法を学ぶ	経営革新
12/18	18:00～20:00	商工会議所	27	決算書の見方講座(法人コース)	税理士	黒石陽子	消費税・軽減税率制度の基礎知識と決算書の見方	税務
12/19	19:00～20:00	国府津学習館	8	国府津商工振興会向け商店街にぎわい創出事業補助金の説明会	小田原箱根商工会議所	本山三男 内田信也	令和元年台風19号による災害によって被害を受けた商店街等が行う、にぎわい創出のためのイベント等の事業に対する補助金の説明。	経営一般
1/7	15:00～17:00	箱根町役場	10	持続化補助金台風19号型説明会	小田原箱根商工会議所	内田信也	令和元年台風19号による災害によって被害を受けた小規模事業者向け持続化補助金の説明	経営一般
1/19	15:00～16:30	UMECO	23	保護者のための就活セミナー	(株)リクルートキャリア	杉村希世子	就職事情の現状と就職動中の子供とのかかわり方	労働
1/20	18:00～20:00	商工会議所	13	儲かるビッグデータの使い方	神奈川県よろず支援拠点コーディネーター	天満正俊	ビッグデータの活用方法について解説	経営革新
2/12	18:00～20:00	商工会議所	7	資金繰りから考える事業計画の作り方	神奈川県よろず支援拠点コーディネーター	天満正俊	事業計画の作り方の説明	経営革新
3/18	13:30～15:30	商工会議所	14	IT活用販路拡大セミナー	中小企業診断士	竹内幸次	インターネットを活用した販路拡大策について説明	経営革新

エ 巡回・個別指導

月日	時間	参加人数	内容	講師・担当等	
				職業	氏名
4/2	9:00～17:00	4	小規模事業者持続化補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
4/9	9:00～17:00	5	小規模事業者持続化補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
4/16	9:00～17:00	4	小規模事業者持続化補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員

月 日	時間	参加人数	内容	講師・担当等	
				職業	氏名
4/17	10:30～ 15:00	8	畑宿地区巡回指導	商工会議所	古川・内田
4/18	11:00～ 15:00	15	栄町2丁目地区等 巡回指導	商工会議所	樋口・小林
4/23	9:00～ 17:00	4	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
4/24	10:00～ 14:00	10	栄町4丁目地区等 巡回指導	商工会議所	長田・飯田
5/7	9:00～ 17:00	4	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
5/7	10:00～ 16:00	6	寿町地区等巡回指導	商工会議所	本山・小林
5/9	9:00～ 17:00	4	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
5/14	9:00～ 17:00	3	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	商工会議所	相談員
5/15	10:00～ 14:00	10	扇町地区巡回指導	商工会議所	飯田
5/23	10:00～ 14:00	6	城山・荻窪地区 巡回指導	商工会議所	本山
5/30	10:00～ 16:00	6	浜町地区等巡回指導	商工会議所	長田・小林
5/31	10:00～ 16:00	6	東町地区等巡回指導	商工会議所	小林・樋口
6/12	10:00 (10:30) ～16:00	7	公的融資相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小田原市	
6/12	13:00～ 17:00	50	キャッシュレス決済・ レジ導入商談会①	商工会議所	
6/13	10:00～ 17:00	40	キャッシュレス決済・ レジ導入商談会②	商工会議所	
6/21	10:00～ 14:00	6	鴨宮地区巡回指導	商工会議所	本山・小林
7/1	13:00～ 16:00	6	久野地区等巡回指導	商工会議所	長田・小林
7/9	10:00～ 13:00	10	国府津・高田地区 巡回指導	商工会議所	飯田・樋口
7/16	10:00～ 15:00	8	酒匂・西酒匂地区等 巡回指導	商工会議所	長田・飯田

月 日	時間	参加人数	内容	講師・担当等	
				職業	氏名
7/22	13:00～ 14:30	5	中町地区巡回指導	商工会議所	本山・大川
7/22	14:30～ 16:00	6	本町地区巡回指導	商工会議所	本山・大川
8/1	10:00～ 15:00	8	久野・南鴨宮地区等 巡回指導	商工会議所	長田・小林
8/20	9:30～ 13:30	6	大友地区等巡回指導	商工会議所	小林
8/20	11:00～ 15:00	7	蛭田・中曾根・ 栢山地区等 巡回指導	商工会議所	本山・大川
8/21	10:30～ 15:00	8	箱根地区巡回指導	商工会議所	古川・内田
8/27	13:30～ 16:00	6	城山地区巡回指導	商工会議所	本山・小林
8/30	10:00～ 13:00	8	小八幡・新屋地区等 巡回指導	商工会議所	長田・飯田
9/3	10:00～ 16:00	30	キャスレス決裁・ レジ導入展示商談会	商工会議所	本山・内田
9/3	13:00～ 16:00	9	栄町・寿町地区等 巡回指導	商工会議所	長田・大川
9/6	13:00～ 16:00	7	本町・南町地区等 巡回指導	商工会議所	大川・米山
9/9	13:00～ 16:00	6	曾我地区等巡回指導	商工会議所	本山・小林
9/12	11:00～ 16:00	7	蓮正寺地区等巡回指導	商工会議所	樋口・飯田
9/18	10:00～ 16:00	11	矢作地区等巡回指導	商工会議所	長田・飯田
9/25	9:00～ 14:00	6	寿町地区等巡回指導	商工会議所	小林・樋口
10/1	10:00～ 13:00	6	浜町・本町地区等 巡回指導	商工会議所	長田・飯田
10/2	10:30～ 15:00	9	宮ノ下地区巡回指導	商工会議所	内田
10/3	10:00～ 16:00	6	飯田岡・北ノ窪地区 巡回指導	商工会議所	樋口・小林
10/15	10:00～ 15:00	9	箱根地区巡回指導	商工会議所	古川・内田
10/17	13:30～ 16:00	6	鴨宮地区巡回指導	商工会議所	本山・飯田

月 日	時間	参加人数	内容	講師・担当等	
				職業	氏名
10/19	13:00～ 17:00	4	第5回小田原起業 スクールアフター フォロー相談会	商工会議所	山口・飯田
10/30	10:00～ 15:00	8	板橋地区等巡回指導	商工会議所	長田・小林
10/31	10:00～ 17:00	12	台風被害経営相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 税 理 士 社会保険労務士 中小企業診断士 弁 護 士	
11/7	10:00～ 15:00	6	久野地区巡回指導	商工会議所	本山・小林
11/7	13:00～ 16:00	5	桑原地区巡回指導	商工会議所	樋口・大川
11/8	10:00～ 17:00	14	台風被害経営相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 税 理 士 社会保険労務士 中小企業診断士 弁 護 士	
11/12	13:00～ 16:00	9	栄町地区巡回指導	商工会議所	長田・大川
11/16	13:00～ 17:00	5	第5回小田原起業 スクールアフター フォロー相談会	商工会議所	山口・飯田
11/19	13:30～ 16:00	6	飯泉地区巡回指導	商工会議所	本山・高橋
11/29	10:00～ 17:00	10	台風被害経営相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 社会保険労務士	
12/2	13:30～ 16:00	6	酒匂・西酒匂地区 巡 回 指 導	商工会議所	長田・小林
12/4	9:00～ 13:00	5	鬼柳地区等巡回指導	商工会議所	小林・米山
12/11	10:00～ 15:00	11	栢山地区等巡回指導	商工会議所	飯田・長田
12/17	10:00～ 12:00	6	本町地区巡回指導	商工会議所	本山・小林

月 日	時間	参加人数	内容	講師・担当等	
				職業	氏名
1 / 14	13:00～ 16:00	7	曾我地区等巡回指導	商工会議所	小林・樋口
1 / 16	13:00～ 16:00	6	栢山・飯田岡・堀之内地区 巡回指導	商工会議所	大川・米山
1 / 17	13:30～ 16:00	7	中里・南鴨宮地区他 巡回指導	商工会議所	長田・大川
1 / 28	10:00～ 12:00	6	城山地区巡回指導	商工会議所	本山・小林
2 / 6	13:00～ 16:00	5	北ノ窪地区他巡回指導	商工会議所	樋口・小林
2 / 12	10:00～ 14:00	6	寿町地区他巡回指導	商工会議所	小林・本山
2 / 13	13:00～ 16:00	6	南町地区巡回指導	商工会議所	大川
3 / 5	13:30～ 16:00	8	浜町地区他巡回指導	商工会議所	長田・小林
3 / 6	11:00～ 14:30	6	荻窪地区巡回指導	商工会議所	本山・米山
3 / 10	13:00～ 16:00	5	成田地区等巡回指導	商工会議所	樋口・大川
3 / 13	10:00～ 16:00	6	久野地区他巡回指導	商工会議所	小林・本山
3 / 16	10:00～ 17:00	33	台風第19号被害・新 型コロナウイルスに 関する経営相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小田原市 社会保険労務士	
3 / 18	9:00～ 17:30	6	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員
3 / 19	10:00～ 17:00	32	台風第19号被害・新 型コロナウイルスに 関する経営相談会	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 社会保険労務士	
3 / 19	9:00～ 17:30	5	小規模事業者持続化 補助金個別相談会	よろず支援拠点	相談員

オ 金融のあっせん

単位：千円

金融機関名	あっせん延件数	貸付決定延件数	あっせん総額	貸付決定総額
日本政策金融公庫	56	56	493,050	493,050
小企業事業者経営改善資金	103	100	842,400	811,400
神奈川県 <small>の</small> 資金	2	2	2,000	2,000
小田原市 <small>の</small> 資金	0	0	0	0
その他金融機関	0	0	0	0
計	161	158	1,337,450	1,306,450

カ 小規模企業専門相談員

相 談 件 数									
指導対象企業数	窓口指導（通信、通話等によるものを含む）								
	金融	税務	経理	経営	労働	取引	特許	法律	計
指導件数	0	0	0	0	0	0	24	5	29

キ 社会保険、共済制度等に関する事務代行

- (ア) 労働保険事務組合 委託事業者数 156事業所 対象従業員数 793名
- (イ) 小規模企業共済制度 対象者数 228名
- (ウ) 特定退職金共済制度 加入事業者数 284事業所 対象従業員数 1,637名
- (エ) 中小企業倒産防止共済制度 加入件数 43件
- (オ) 神奈川県民共済 加入者数 2,617名
- (カ) 小企業PL保険制度 加入件数 35件
- (キ) 情報漏えい賠償責任保険制度 加入件数 1件
- (ク) 休業補償プラン 加入件数 154件
- (ケ) 業務上災害補償プラン 加入件数 375件
- (コ) 中小企業海外PL保険制度 加入件数 3件
- (サ) ビジネス総合保険制度 加入件数 208件

7. 登 録

(1) 法定台帳

- ア 作 成 年 月 日 平成30年4月1日
- イ 登 録 業 者 数 2, 261事業所
- ウ 負担金賦課の許可 平成30年4月6日・神奈川県指令企支第1006号をもって次のとおり負担金の賦課について神奈川県知事より許可を得た。
負担金 1, 500円 (1業者)
- エ 管 理 運 用 特定商工業者より登録した法定台帳は、既登録業者分については内容の点検・修正を行い、新規登録業者分については法定台帳調査表の提出を求め随時補正を行い、地区別に収録し利用の便宜を計っている。管理運用に当っては常に善良な管理者の注意をもって対処している。
- オ 利 用 の 周 知 当所会報への利用勧奨記事の掲載、一般広報（情報関係誌）への掲示などにより周知を図っている。

(2) 任意台帳

当所会員の所在を明らかにし、取引や事業面に利用するため、地区別に事業所名、営業種目等の事項につき台帳の整備を行い活用を図っている。

8. 会館・事務所等

(1) 土 地

- ア 所 在 地 小田原市城内1番21号
- イ 面 積 敷地面積 992.00平方米
- ウ 所有状況 小田原市有地の借地

(2) 建 物

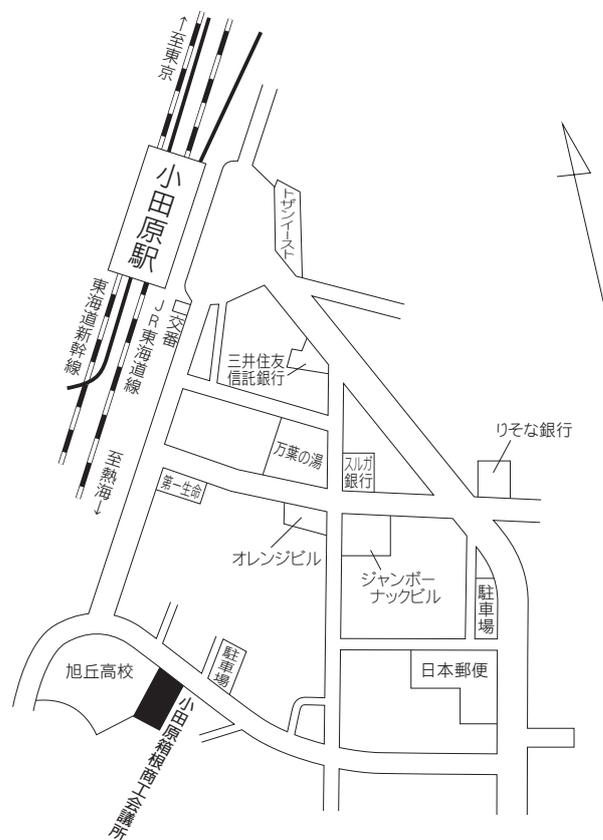
- ア 構 造 鉄筋コンクリート造地下1階・地上5階・塔屋1階
- イ 延床面積 2,842.28平方米
- ウ 事 務 室 面 積 231.17平方米
(内訳) 事 務 室 162.00 〃
相 談 室 24.38 〃
印 刷 室 22.50 〃
書 庫 12.06 〃
更 衣 室 10.23 〃
- エ 会 頭 室 45.80 〃
専 務 室 29.75 〃
会 員 談 話 室 54.50 〃
- オ 入館団体機関

階 層	入 居 団 体 名	面 積 (坪)
2	神奈川県信用保証協会小田原支店	37.79
2	公益財団法人神奈川産業振興センター	6.53
3	株式会社日本政策金融公庫小田原支店	123.11
5	小田原市商店街連合会	11.01
5	アクサ生命保険株式会社	49.89
5	公益社団法人小田原法人会	22.08
5	東京地方税理士会小田原支部	7.30
5	一般社団法人小田原市観光協会	30.65

(3) 設 備

ア	貸 室	大ホール	243.00平方米	収容人数	200人
		(附帯倉庫)	48.00 "		
		第1会議室	56.10 "		35人
		第2会議室	49.50 "		25人
イ	物産陳列場	5ケース	10コマ分		
ウ	電気設備				
(ア)	変電設備	契約電力	180KVA		
(イ)	変圧器容量	電灯用	75 "		1台
		電力用	200 "		1台
		PAS	7.2KV300A		1台
(ウ)	動力設備		168KW		
(エ)	電灯設備		75 "		
(オ)	電話設備	局 線	8回線		
		内 線	43回線		
(カ)	自動火災報知設備				
		受信盤 P型		1級	15窓
		総合盤		6台	
(キ)	非常用放送設備	1-ア100W自立型ラック式防災アンプ (15回路用)			
		1架			
		壁掛用ボックススピーカー他	25台		
(ク)	冷暖房設備	氷蓄熱システム		大2台	
				小1台	
		空冷式空調システム	22台		
		ガスヒートポンプ式空調機	1台		
		換気設備	1式		
(ケ)	給排水衛生設備	用水ポンプ	2台		
		消火栓ポンプ	1台		
		浄化槽ポンプ・汚水ポンプ	2台		
		雑排水ポンプ	2台		
		屋上水槽	1基		
		消防隊専用栓付消火栓	6基		
		消火ポンプ予備水槽	1基		
		衛生器具設備 (各種)	1式		
(コ)	エレベーター設備	乗用及び荷台	1台		
		積載荷重	750kg		
		最大定員	11名		
		速 度	60m/min		
		制御方式	交流二段速度コレクティブコントロール		
(サ)	ガス湯沸設備			3台	
(シ)	機 械 室			92平方米	
(ス)	倉 庫 (地下)			20 "	
(セ)	変 電 室			34 "	
(ソ)	守 衛 室			32 "	
(タ)	配 膳 室 (各階)			11 "	
(チ)	非 常 階 段	屋外階段 (地階~5階)			

- (ツ) 避難器具 スローダン6台 (2階～屋上)
- (テ) その他 エレベーター機械室・ファンルーム
- (ト) 駐車場 18台収容
- (ナ) 小田原箱根商工会議所位置図



(二) 会場施設使用状況

月 別	ホ ー ル				第一会議室	第二会議室	談話室
	大ホール	Aホール	Bホール	計			
平成31年4月	12	3	5	20	31	24	4
令和元年5月	15	6	2	23	18	35	13
6月	12	3	3	18	19	27	6
7月	4	6	7	17	19	28	3
8月	11	5	8	24	24	31	16
9月	10	6	4	20	24	45	8
10月	14	5	2	21	17	33	9
11月	14	5	3	22	20	24	5
12月	14	4	5	23	10	27	12
令和2年1月	11	8	2	21	21	32	14
2月	13	5	3	21	20	22	11
3月	10	2	1	13	4	25	4
計	140	58	45	243	227	353	105

9. 関係団体への加入及び連携

(1) 日本商工会議所

ア 当所の地位 会員

イ 所属委員会名

観光委員会、中小企業委員会、情報化委員会

ウ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
4 / 17	観光委員会他	東商グランドホール	山岡専務理事
9 / 17	産業経済委員会他	東商グランドホール	山岡専務理事
9 / 19	第130回通常会員総会	帝国ホテル	鈴木会頭 山岡専務理事
10 / 16	観光委員会他	東商グランドホール	山岡専務理事
2 / 19	情報化委員会他	東商グランドホール	山岡専務理事
3 / 19	常議員会・議員総会 第131回通常会員総会	帝国ホテル	鈴木会頭 山岡専務理事

(2) 関東商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
5 / 30 ・ 31	第62回総会	東京都 立川市	山岡専務理事

(3) 神奈川県商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
4 / 23	4月定例専務理事会議	横浜商工会議所	山岡専務理事
5 / 28	5月定例専務理事会議	横浜商工会議所	山岡専務理事
6 / 24	令和元年度定時総会	ロイヤルホール ヨコハマ	鈴木会頭 山岡専務理事
7 / 23	7月定例専務理事会議	横浜商工会議所	山岡専務理事
9 / 24	9月定例専務理事会議及び政策委員会	横浜商工会議所	山岡専務理事

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
10/23	10月定例専務理事会議及び政策委員会	横浜商工会議所	山岡専務理事
11/8	令和元年度臨時総会並びに会頭会議	ロイヤルホール ヨコハマ	鈴木会頭 山岡専務理事
11/14	神奈川県優良店舗表彰式 11月定例専務理事会議	かながわ 労働プラザ	山岡専務理事
12/11 ・12	専務理事会県外視察	兵 庫 県 姫 路 市	山岡専務理事
1/28	1月定例専務理事会議	ローズホテル横浜	山岡専務理事
2/7	神奈川県優良産業人表彰式	ロイヤルホール ヨコハマ	山岡専務理事
2/25	2月定例専務理事会議	横浜商工会議所	山岡専務理事
3/25	令和元年度臨時総会 【新型コロナウイルス感染拡大防止により中止】	ロイヤルホール ヨコハマ	鈴木会頭 山岡専務理事

10. 研修

(1) 経営指導員・補助員研修

月 日	研 修 内 容	場 所	出席者
6 / 5	令和元年度経営指導員等研修会 「企業の売り上げアップを実現する最新ノウハウと成功事例」～販路開拓、ヒット商品開発、企業ブランディング、経営戦略～	横 浜 商 工 会 議 所	古 川
6 / 27	令和元年度経営指導員等研修会 商談力向上／事業計画づくりのポイント	横 浜 商 工 会 議 所	長 田 米 山
7 / 4	令和元年度経営指導員等研修会 経営計画の作成支援及び補助金採択のポイント／事業承継計画の策定支援、事業承継税の活用支援	横 浜 商 工 会 議 所	古 川 樋 口 内 田 大 川 飯 田
7 / 19	令和元年度経営指導員等研修会（ブロック別研修会） 事業承継のポイント解説と事業承継の進め方について／事業承継関連税務の概要	藤 沢 商 工 会 議 所	小 林 大 川 飯 田
7 / 30	令和元年度経営指導員等研修会 中小企業白書・小規模企業白書の概要／経営発達支援計画とマーケティング／統計データ活用	横 浜 商 工 会 議 所	長 田 小 林
8 / 29	令和元年度経営指導員等研修会 知的財産関係の法令・制度、経営への活用方法、地域資源のブランディング戦略等／記者が思わず取材したくなるプレスリリースの作り方	横 浜 商 工 会 議 所	本 山 樋 口 飯 田 大 川
9 / 4	令和元年度経営指導員等研修会 サイバー犯罪・サイバー攻撃の最新動向と中小企業の対応策について／SDGs 推進に向けた神奈川県の実施展開／中小企業のSDGs 経営の基礎、補助金の活用	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	古 川 長 田 内 田 小 林
9 / 26	令和元年度経営指導員等研修会 小規模企業の生産性向上のためのIT活用・WEB活用2019	横 浜 商 工 会 議 所	本 山 樋 口 米 山
10 / 8	令和元年度経営指導員等研修会 中小企業強靱化（事業継続力強化）の推進（防災対策、BCP策定支援等）／中小企業支援に係る県政の重要課題や重要施策（障がい者雇用）／働き方改革関連法の段階的実施	横 浜 商 工 会 議 所	古 川 大 川

月 日	研 修 内 容	場 所	出席者
	と経営指導員が知っておくべき法の要諦 (同一労働同一賃金を中心に労働法の基礎から学ぶ)		
10/24	令和元年度経営指導員等研修会(ブロック別研修会) 事業承継のポイント解説と事業承継の進め方について/事業承継関連税務の概要 /神奈川県事業引継ぎ支援センターの取組みについて	神奈川中小企業センター	本 山
11/28	令和元年度経営指導員等研修会 今後の金融経済をどう見る/小規模事業者経営力向上支援事業実施結果報告会	横浜商工会議所	長 田 本 山 小 林
2/5 ・6	令和元年度経営指導員等研修会 「第89回東京インターナショナルギフト・ショー」	東京ビッグサイト	古 川 樋 口 本 山
2/7	令和元年度経営指導員等研修会「テクニカルショウヨコハマ2020」	パシフィコ横浜	飯 田

(2) 職員研修等

月 日	研 修 内 容	場 所	出席者
4/5	全国労働保険事務組合連合会 総コンシステム年度更新説明会	横浜技能文化会館	松 下 露 木
4/9	生命共済制度研修会	茅ヶ崎商工会議所	露 木 山 田
4/15	キャッシュレス消費者還元事業及び商店街活性化・観光消費創出事業に関する説明会	さいたま新都心	本 山 内 田
4/17	企業経営の未病改善ワーキング	神奈川産業振興センター	樋 口
4/24	生命共済(16)に関連する 共済担当・部課長・実務担当者会議	アクサ生命(株) 横浜支社	松 下
4/26	2019年度検定事業説明会	A P 浜 松 町	露 木
5/13	令和元年度創業支援等 事業者補助金公募説明会	さいたま新都心	山 口 飯 田
5/14	神奈川県中小企業制度融資等説明会	小田原合同庁舎	山 口 飯 田
5/15	令和元年度中小企業 国際化支援連絡会議	神奈川中小企業センター	本 山
5/17	令和元年度 第1回中小企業相談部(所)長会議	横浜商工会議所	古 川
5/21	神奈川県優良小売店舗表彰担当者会議	横浜商工会議所	樋 口

月 日	研 修 内 容	場 所	出席者
5/24	G S 1 事 業 者 コ ー ド 登 録 受 付 業 務 担 当 者 説 明 会	T K P 品 川 カ ン フ ェ レ ン ス セ ン タ ー	米 山
5/31	か な が わ 中 小 企 業 支 援 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム 構 成 機 関 向 け 施 策 説 明 会	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	樋 口
6/5	消 費 税 軽 減 税 率 対 策 窓 口 相 談 等 事 業 経 営 指 導 員 向 け ブ ロ ッ ク 研 修	T K P 東 京 駅 日 本 橋 カ ン フ ェ レ ン ス セ ン タ ー	大 川
6/25	中 小 企 業 強 靱 化 法 等 説 明 会	さ いた ま 新 都 心 合 同 庁 舎	小 林
7/23	第 1 回 事 業 承 継 ス キ ル ア ッ プ セ ミ ナ ー	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	山 口
7/24 ～26	商 工 会 議 所 経 理 担 当 職 員 研 修 会 (初 級)	フ ク ラ シ ア 東 京 ス テ ー シ ョ ン	近 藤
7/30 ・31	商 工 会 議 所 組 織 強 化 研 修 会 (会 員 増 強)	日 本 商 工 会 議 所	松 下
8/6	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰 事 業 担 当 者 会 議	横 浜 商 工 会 議 所	松 下
8/6	第 2 回 事 業 承 継 ス キ ル ア ッ プ セ ミ ナ ー	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	山 口 飯 田
9/10	第 3 回 事 業 承 継 ス キ ル ア ッ プ セ ミ ナ ー	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	山 口
9/11	改 正 小 規 模 事 業 者 支 援 法 説 明 会	さ いた ま 新 都 心 合 同 庁 舎	内 田
10/8	第 4 回 事 業 承 継 ス キ ル ア ッ プ セ ミ ナ ー	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	山 口 飯 田
10/23	労 働 保 険 事 務 組 合 職 員 研 修	万 国 橋 会 議 セ ン タ ー	露 木
10/29	経 営 支 援 基 幹 シ ス テ ム 『 B I Z ミ ル 』 説 明 会	東 京 ビ ジ ョ ン セ ン タ ー	本 山
11/5	第 5 回 事 業 承 継 ス キ ル ア ッ プ セ ミ ナ ー	神 奈 川 中 小 企 業 セ ン タ ー	山 口 飯 田
11/6	県 西 地 区 経 営 指 導 員 研 修 会	商 工 会 議 所	古 川 本 樋 飯 口 大 田 米 川 高 山 橋
11/17	令 和 元 年 度 第 2 回 中 小 企 業 相 談 部 (所) 長 会 議	横 浜 商 工 会 議 所	古 川
11/25 ・26	神 奈 川 県 商 工 会 議 所 連 合 会 新 人 ・ 若 手 職 員 研 修 会	湘 南 国 際 村 セ ン タ ー	高 橋
12/3	F e e l N I P P O N 春 出 展 者 説 明 会	東 京 ビ ッ グ サ イ ト	内 田
12/4	労 働 保 険 事 務 組 合 職 員 研 修	万 国 橋 会 議 セ ン タ ー	露 木

月 日	研 修 内 容	場 所	出席者
12/9	障がい者雇用のための企業交流会	ひらつか市民センター	内 田
1/27	東商企画検定試験担当者会議	東京商工会議所	露 木
1/30	マ ル 経 総 合 研 修 会	アジュール竹芝	本 山
2/3	e スポーツを活用した 地域活性化セミナー	横浜情報文化センター	大 川
2/3	令和元年度 第3回中小企業相談部(所)長会議	横浜商工会議所	古 川
2/4 ・5	商工会議所会員組織強化研修会(会員増強)	日本商工会議所	大 川
2/6	全国労働保険事務組合連合会神奈川支部 代表者担当者研修会	関内ホール	飯 田
2/20	企業経営の未病改善事業研修会	小田原合同庁舎	樋 口
2/27 ・28	全 国 商 工 会 議 所 共 済 ・ 保 険 担 当 者 研 修 会	フクラシア八重洲	大 川
3/18	県西地区経営指導員研修会	商 工 会 議 所	古 川 本 山 飯 田

11. 関 係 団 体

小田原箱根商工会議所内に事務所を有し、事務代行を行っている団体は次の通り。

1. 小田原箱根商工会議所労働保険事務組合
2. 小田原市地場産業振興協議会
3. 箱根町商店連絡協議会
4. 小田原地区産業廃棄物対策協議会
5. 小田原市大型店連絡協議会
6. 西湘異業種研究会
7. 日本珠算連盟小田原支部
8. 西さがみ教育旅行誘致推進協議会
9. 県西地域経済懇話会

令和元年度

収支決算書

令和元年度収支決算書総括表

(単位=円)

会 計 別	繰越金 (A)	収 入 (B)	支 出 (C)	収支残高 (A+B-C)= (D)	繰入金 (支出は△印) (E)	差引収支 残 高 (D-E) = (F)	備 考
一 般 会 計	7,501,453	192,702,226	180,366,644	19,837,035	△ 13,861,496	5,975,539	収支剰余金 次年度へ繰越
会 館 管 理 特 別 会 計	16,884,053	57,551,371	55,119,516	19,315,908	△ 2,779,520	16,536,388	"
共 済 事 業 特 別 会 計	2,957,679	27,147,197	18,254,554	11,850,322	△ 5,198,104	6,652,218	"
特 定 退 職 金 共 済 特 別 会 計	513,375	315,103,915	315,113,343	503,947	△ 408,000	95,947	"
運 営 資 金 積 立 金 特 別 会 計	136,142,632	1,206	0	136,143,838	△ 13,798,000	122,345,838	"
退 職 給 与 資 金 特 別 会 計	12,305,593	9,633,427	18,002,265	3,936,755	6,045,120	9,981,875	"
会 館 建 設 資 金 特 別 会 計	695,418,394	3,884,305	253,361,903	445,940,796	30,000,000	475,940,796	"
合 計	871,723,179	606,023,647	840,218,225	637,528,601	0	637,528,601	

- ・ (A) ……前年度からの繰越金
- ・ (B) ……収支決算書の収入の部の合計から前年度繰越額・他会計からの繰入金を除いた額
- ・ (C) ……収支決算書の支出の部の合計から他会計への繰出金・次年度への繰越金を除いた額
- ・ 差引収支残高と収支剰余金は同額となり次年度へ繰越

令和元年度 一般会計収支決算書

収入の部

(単位=円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
款 項 目				
1 会 費	73,101,000	72,716,000	385,000	
1 会 費	69,835,000	69,416,000	419,000	
2 特 別 会 費	3,260,000	3,260,000	0	役員特別会費
3 過 年 度 会 費	6,000	40,000	△ 34,000	過年度分
2 負 担 金	3,302,200	3,342,000	△ 39,800	
1 負 担 金	3,299,200	3,342,000	△ 42,800	特定商工業者負担金
2 過 年 度 負 担 金	3,000	0	3,000	過年度分
3 議員選挙負担金	3,840,000	3,840,000	0	
1 議員選挙負担金	3,840,000	3,840,000	0	議員選挙負担金
4 事 業 収 入	29,567,013	23,700,000	5,867,013	
1 検 定 事 業 収 入	4,731,753	4,900,000	△ 168,247	珠算・簿記・PC・福祉住環境・ ビジネス実務法務検定他
2 部 会 事 業 収 入	5,992,643	0	5,992,643	
3 使 用 料 手 数 料	682,173	800,000	△ 117,827	事務機器使用料他
4 その他の事業収入	18,160,444	18,000,000	160,444	従業員健康診断・ 会報広告料・事業参加費他
5 交 付 金	81,064,028	83,289,000	△ 2,224,972	
1 県 補 助 金	52,545,000	52,245,000	300,000	神奈川県
2 市 補 助 金	14,270,000	14,270,000	0	小田原市
3 町 補 助 金	1,161,000	1,161,000	0	箱根町
4 県 連 補 助 金	6,166,444	7,204,000	△ 1,037,556	神奈川県商工会議所連合会
5 委 託 金	4,011,664	5,346,000	△ 1,334,336	日本商工会議所、ジオパーク協議会 他
6 負 担 金	290,000	260,000	30,000	流動客調査負担金
7 日 商 補 助 金	2,619,920	2,803,000	△ 183,080	伴走型小規模事業者支援推進事業
6 雑 収 入	1,827,985	800,000	1,027,985	
1 雑 収 入	1,827,985	800,000	1,027,985	原産地証明書発行手数料他
7 繰 越 金	7,501,453	7,000,000	501,453	
1 繰 越 金	7,501,453	7,000,000	501,453	平成30年度より
合 計	200,203,679	194,687,000	5,516,679	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
1 事業費	145,627,064	143,489,000	2,138,064	
1 一般事業費	73,767,708	71,083,000	2,684,708	
1 選挙事務費	1,641,375	2,000,000	△ 358,625	会員名簿作成費・選挙公報費他
2 商工振興費	38,889,769	38,953,000	△ 63,231	会員表彰式・産業まつり・まちづくり・地域振興対策他
3 調査広報費	6,550,647	7,000,000	△ 449,353	会報発行他
4 検定事業費	1,781,240	2,150,000	△ 368,760	珠算・簿記・PC・福祉住環境・ビジネス実務法務検定他
5 部会事業費	11,071,428	6,080,000	4,991,428	6部会事業費
6 議員活動費	2,748,268	3,400,000	△ 651,732	議員総会・議員例会・石垣購読料他
7 会員福祉振興費	11,084,981	11,500,000	△ 415,019	健康診断他
2 法定台帳作成管理運用費	4,368,790	4,319,000	49,790	
1 管理運用費	842,048	800,000	42,048	管理費・印刷費・通信費・車輛1台維持費他
2 俸給	2,880,000	2,880,000	0	職員1名
3 諸手当	137,850	137,000	850	通勤費
4 福利厚生費	508,892	502,000	6,892	法定・一般福利厚生費
3 経営支援事業費	66,634,886	66,587,000	47,886	
1 指導事業費	8,369,416	8,400,000	△ 30,584	景気対策・講習会・金融指導・創業相談・専門家相談他
2 俸給	28,168,420	28,197,000	△ 28,580	職員9名
3 諸手当	9,238,237	9,108,000	130,237	調整・通勤費他
4 賞与	12,895,885	12,968,000	△ 72,115	年2回
5 福利厚生費	7,962,928	7,914,000	48,928	法定・一般福利厚生費
4 会議費	855,680	1,500,000	△ 644,320	正副会頭、常議員会、特別委員会、委員会、タスクフォース他
2 管理費	34,739,580	36,311,000	△ 1,571,420	
1 給与	16,013,126	15,832,000	181,126	
1 俸給	13,281,000	13,286,000	△ 5,000	役員2名、職員1名
2 諸手当	1,427,578	1,273,000	154,578	調整・通勤費他
3 賞与	1,304,548	1,273,000	31,548	年2回
2 福利厚生費	3,037,432	3,279,000	△ 241,568	法定・一般福利厚生費
3 旅費交通費	261,653	500,000	△ 238,347	役職員出張旅費

勘定科目		決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目					
4	事務費	8,810,412	11,300,000	△ 2,489,588	
	1 通信運搬費	1,061,840	1,400,000	△ 338,160	電話・FAX・郵送料他
	2 什器備品費	0	300,000	△ 300,000	
	3 修繕費	1,800	300,000	△ 298,200	自転車修繕費
	4 消耗品費	514,100	600,000	△ 85,900	事務消耗品代
	5 図書費	30,393	150,000	△ 119,607	参考図書・資料代
	6 印刷費	2,122,316	2,200,000	△ 77,684	諸印刷費
	7 車輛維持費	309,360	400,000	△ 90,640	1台維持費・保険料・燃料費他
	8 電算機事務費	1,167,876	1,500,000	△ 332,124	処理料・保守料他
	9 賃借料	807,304	1,710,000	△ 902,696	箱根支部室料・電話設備・パソコン他リース料
	10 事務諸費	698,159	650,000	48,159	支払手数料他
	11 リース債務返済支出	2,097,264	2,090,000	7,264	パソコン他リース料
5	渉外費	1,202,144	1,300,000	△ 97,856	
	1 一般渉外費	503,614	700,000	△ 196,386	慶弔費他
	2 役員渉外費	698,530	600,000	98,530	役員・議員慶弔費他
6	公課分担金	5,414,813	4,100,000	1,314,813	
	1 公課	1,788,813	300,000	1,488,813	消費税他
	2 分担金	3,626,000	3,800,000	△ 174,000	日商・県連・関商連・観光協会
3	繰出金	13,861,496	13,887,000	△ 25,504	
	1 運営資金会計繰出金	11,009,000	11,009,000	0	
	2 退職給与会計繰出金	2,852,496	2,878,000	△ 25,504	
4	予備費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
	1 予備費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
5	繰越金	5,975,539	0	5,975,539	
	1 繰越金	5,975,539	0	5,975,539	令和2年度へ
合計		200,203,679	194,687,000	5,516,679	

令和元年度 会館管理特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
款 項 目				
1 貸 室 収 入	46,416,042	45,711,000	705,042	
1 貸 室 使 用 料	34,382,812	34,111,000	271,812	入居団体、物産陳列料
2 会 議 室 使 用 料	12,033,230	11,600,000	433,230	ホール及び会議室使用料
2 共 益 費 収 入	10,603,674	10,551,000	52,674	
1 共 益 費 収 入	10,603,674	10,551,000	52,674	入居団体より
3 雑 収 入	531,655	500,000	31,655	
1 雑 収 入	531,655	500,000	31,655	自販機手数料、駐車場管理費他
4 繰 越 金	16,884,053	16,917,300	△ 33,247	
1 繰 越 金	16,884,053	16,917,300	△ 33,247	平成30年度より
合 計	74,435,424	73,679,300	756,124	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 維持費	27,222,065	29,126,000	△ 1,903,935	
1 保守料	4,393,190	4,420,000	△ 26,810	会館整備保守
2 委託費	5,232,000	5,232,000	0	警備他委託料
3 保険料	486,610	500,000	△ 13,390	火災保険料
4 水道光熱費	6,265,574	6,300,000	△ 34,426	電気、水道、ガス
5 清掃料	6,248,591	6,200,000	48,591	会館清掃他
6 修繕費	4,596,100	6,474,000	△ 1,877,900	会館設備修繕
2 管理費	27,897,451	27,865,000	32,451	
1 給与	10,931,530	10,908,000	23,530	職員4名、パート1名
2 諸手当	2,789,029	2,248,000	541,029	調整・通勤費他
3 賞与	4,151,186	4,094,000	57,186	年2回分
4 福利厚生費	2,905,062	2,879,000	26,062	法定・一般福利厚生費
5 旅費交通費	1,812	10,000	△ 8,188	
6 通信運搬費	191,250	330,000	△ 138,750	電話料、郵送料、貸室Wi-Fi回線料
7 什器備品費	964,440	1,000,000	△ 35,560	貸室用モバイルスクリーン、ホールアコーディオンカーテン他
8 消耗品費	530,161	500,000	30,161	貸室用備品、トイレ用品他
9 公課分担金	3,945,896	4,500,000	△ 554,104	消費税・固定資産税他
10 事務諸費	1,345,353	1,300,000	45,353	電話設備リース料、振込手数料他
11 リース債務返済支出	141,732	96,000	45,732	パソコン他リース料
3 繰出金	2,779,520	2,771,000	8,520	
1 運営資金会計繰出金	2,000,000	2,000,000	0	
2 退職給与会計繰出金	779,520	771,000	8,520	
4 繰越金	16,536,388	13,917,300	2,619,088	
1 繰越金	16,536,388	13,917,300	2,619,088	令和2年度へ
合計	74,435,424	73,679,300	756,124	

令和元年度 共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
款 項 目				
1 取扱手数料	25,600,270	23,620,000	1,980,270	
1 県連生命共済	1,263,902	920,000	343,902	
1 制度運営費収入	1,202,613	870,000	332,613	40事業所
2 取扱手数料	61,289	50,000	11,289	
2 県民共済	2,972,971	3,000,000	△ 27,029	1,808件
3 経営者共済	1,230,375	800,000	430,375	財団・組合
4 企業・個人保険	5,976,026	5,300,000	676,026	アクサ生命保険(株)
5 日商保険制度	7,340,601	7,000,000	340,601	業務災害補償・ビジネス総合他
6 火災共済	879,595	900,000	△ 20,405	193件
7 労働保険手数料	2,651,021	2,800,000	△ 148,979	156事業所
8 汚染賦課金手数料	578,826	600,000	△ 21,174	27事業所
9 その他手数料	2,706,953	2,300,000	406,953	容器包装リサイクル他
2 交付金	1,542,500	1,300,000	242,500	
1 報奨金	1,542,500	1,300,000	242,500	労働保険事務組合
3 雑収入	4,427	10,000	△ 5,573	
1 雑収入	4,427	10,000	△ 5,573	預金利息他
4 繰越金	2,957,679	750,000	2,207,679	
1 繰越金	2,957,679	750,000	2,207,679	平成30年度より
合 計	30,104,876	25,680,000	4,424,876	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 事業費	1,172,304	1,600,000	△ 427,696	
1 事業推進費	702,295	900,000	△ 197,705	
2 労働保険事業推進費	465,009	600,000	△ 134,991	電算処理料、郵送料他
3 見舞金等給付金	5,000	100,000	△ 95,000	
2 管理費	17,082,250	18,907,000	△ 1,824,750	
1 給与	6,247,450	6,257,000	△ 9,550	職員2名、パート1名
1 俸給	5,047,450	5,057,000	△ 9,550	
2 労働保険俸給	1,200,000	1,200,000	0	労働保険事務人件費
2 諸手当	1,825,360	1,387,000	438,360	調整・通勤費他
3 賞与	2,330,747	2,311,000	19,747	年2回分
4 福利厚生費	1,541,615	1,857,000	△ 315,385	法定・一般福利厚生費
5 旅費交通費	12,908	50,000	△ 37,092	
6 通信運搬費	184,212	450,000	△ 265,788	電話料、郵送料
7 印刷費	80,000	120,000	△ 40,000	コピー代
8 消耗品費	0	10,000	△ 10,000	
9 会議費	8,000	100,000	△ 92,000	
10 車輛維持費	353,510	400,000	△ 46,490	2台維持費・保険料・燃料費他
11 公課分担金	4,101,359	5,200,000	△ 1,098,641	消費税、法人税
12 事務諸費	360,369	715,000	△ 354,631	振込手数料他
13 リース債務返済支出	36,720	50,000	△ 13,280	パソコン他リース料
3 繰出金	5,198,104	5,173,000	25,104	
1 運営資金会計繰出金	4,693,000	4,693,000	0	
2 退職給与会計繰出金	505,104	480,000	25,104	
4 繰越金	6,652,218	0	6,652,218	
1 繰越金	6,652,218	0	6,652,218	令和2年度へ
合計	30,104,876	25,680,000	4,424,876	

令和元年度 特定退職金共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
款 項 目				
1 共済事業掛金収入	145,249,000	149,676,000	△ 4,427,000	
1 掛 金	145,249,000	149,676,000	△ 4,427,000	284事業所、11,985口
2 共済事業事務費収入	7,290,800	7,484,000	△ 193,200	
1 事 務 費 収 入	7,290,800	7,484,000	△ 193,200	
3 企業年金契約 給付金受入	162,547,654	190,000,000	△ 27,452,346	
1 給 付 金 受 入	162,547,654	190,000,000	△ 27,452,346	
4 雑 収 入	16,461	10,000	6,461	
1 雑 収 入	16,461	10,000	6,461	預金利息他
5 繰 越 金	513,375	460,000	53,375	
1 繰 越 金	513,375	460,000	53,375	平成30年度より
合 計	315,617,290	347,630,000	△ 32,012,710	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 事業費	0	250,000	△ 250,000	
1 事業推進費	0	250,000	△ 250,000	
2 共済事業給付金	162,547,654	190,000,000	△ 27,452,346	
1 退職金	162,547,654	190,000,000	△ 27,452,346	
3 管理費	7,316,689	7,296,000	20,689	
1 給与	5,800,000	5,800,000	0	職員1名
2 諸手当	165,210	165,000	210	通勤費
3 福利厚生費	1,020,376	637,000	383,376	法定・一般福利厚生費
4 旅費交通費	0	10,000	△ 10,000	
5 通信運搬費	55,312	100,000	△ 44,688	郵送料
6 什器備品費	0	60,000	△ 60,000	
7 消耗品費	0	50,000	△ 50,000	
8 印刷費	7,100	30,000	△ 22,900	コピー代
9 渉外費	0	10,000	△ 10,000	
10 会議費	0	10,000	△ 10,000	
11 公課分担金	0	44,000	△ 44,000	
12 事務諸費	268,691	380,000	△ 111,309	振込手数料他
4 積立金	145,249,000	149,676,000	△ 4,427,000	
1 保険料積立金	145,249,000	149,676,000	△ 4,427,000	
5 繰出金	408,000	408,000	0	
1 退職給与会計繰出金	408,000	408,000	0	
6 繰越金	95,947	0	95,947	
1 繰越金	95,947	0	95,947	令和2年度へ
合計	315,617,290	347,630,000	△ 32,012,710	

令和元年度 運営資金積立金特別会計収支決算書

収入の部

(単位=円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 雑収入	1,206	10,000	△ 8,794	
1 雑収入	1,206	10,000	△ 8,794	預金利息
2 繰入金	17,702,000	17,702,000	0	
1 一般会計繰入金	11,009,000	11,009,000	0	
2 会館管理会計繰入金	2,000,000	2,000,000	0	
3 共済事業会計繰入金	4,693,000	4,693,000	0	
3 繰越金	136,142,632	136,142,000	632	
1 繰越金	136,142,632	136,142,000	632	平成30年度より
合計	153,845,838	153,854,000	△ 8,162	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 繰出金	31,500,000	31,500,000	0	
1 退職給与会計繰出金	1,500,000	1,500,000	0	
2 会館建設会計繰出金	30,000,000	30,000,000	0	
2 予備費	0	122,354,000	△ 122,354,000	
1 予備費	0	122,354,000	△ 122,354,000	
3 繰越金	122,345,838	0	122,345,838	
1 繰越金	122,345,838	0	122,345,838	令和2年度へ
合計	153,845,838	153,854,000	△ 8,162	

令和元年度 退職給与資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位=円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
1 退職共済金収入	9,633,303	0	9,633,303	
1 退職共済金収入	9,633,303	0	9,633,303	全国商工会議所共済会
2 雑収入	124	5,000	△ 4,876	
1 雑収入	124	5,000	△ 4,876	預金利息
3 繰入金	6,045,120	6,037,000	8,120	
1 一般会計繰入金	2,852,496	2,878,000	△ 25,504	
2 会館管理会計繰入金	779,520	771,000	8,520	
3 共済事業会計繰入金	505,104	480,000	25,104	
4 特定退職金共済事業会計繰入金	408,000	408,000	0	
5 運営資金会計繰入金	1,500,000	1,500,000	0	
4 繰越金	12,305,593	12,305,000	593	
1 繰越金	12,305,593	12,305,000	593	平成30年度より
合 計	27,984,140	18,347,000	9,637,140	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
1 退職給与金	13,457,145	0	13,457,145	
1 退職給与金	13,457,145	0	13,457,145	職員2名
2 退職共済掛金	4,545,120	4,537,000	8,120	
1 退職共済掛金	4,545,120	4,537,000	8,120	全国商工会議所共済会
3 予備費	0	13,810,000	△ 13,810,000	
1 予備費	0	13,810,000	△ 13,810,000	
4 繰越金	9,981,875	0	9,981,875	
1 繰越金	9,981,875	0	9,981,875	令和2年度へ
合 計	27,984,140	18,347,000	9,637,140	

令和元年度 会館建設資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 雑収入	3,884,305	100,000	3,784,305	
1 雑収入	3,884,305	100,000	3,784,305	預金利息、消費税還付
2 繰入金	30,000,000	30,000,000	0	
1 運営資金会計繰入金	30,000,000	30,000,000	0	
3 繰越金	695,418,394	695,412,000	6,394	
1 繰越金	695,418,394	695,412,000	6,394	平成30年度より
合計	729,302,699	725,512,000	3,790,699	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 管理費	11,187,988	12,364,000	△ 1,176,012	
1 事務費	5,527,748	6,593,000	△ 1,065,252	
1 支払手数料	5,522,470	6,588,000	△ 1,065,530	移転計画策定費用他
2 事務諸費	5,278	5,000	278	振込手数料他
2 公課分担金	5,660,240	5,771,000	△ 110,760	登記料、印紙代
2 固定財産取得支出	242,173,915	240,987,000	1,186,915	
1 土地取得支出	144,399,494	144,400,000	△ 506	土地購入費
2 建物取得支出	97,774,421	96,587,000	1,187,421	建物購入費
3 繰越金	475,940,796	472,161,000	3,779,796	
1 繰越金	475,940,796	472,161,000	3,779,796	令和2年度へ
合計	729,302,699	725,512,000	3,790,699	

貸借対照表

令和2年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
〔資産の部〕	円	〔負債の部〕	円
流動資産	672,823,259	流動負債	35,294,658
現金及び預金	645,507,336	未払金	22,307,847
未収金	25,785,133	前受金	12,962,061
前払金	1,530,790	預り金	24,750
固定資産	2,235,686,462	固定負債	1,956,027,873
(有形固定資産)	297,486,179	預り保証金	13,917,300
土地	144,399,494	退職給与引当金	58,633,856
建物	131,973,223	退職給付金準備金	1,875,339,865
建物付属設備	12,541,766	リース債務	8,136,852
車両運搬具	261,096	負債計	1,991,322,531
什器備品	173,748		
リース資産	8,136,852	〔正味財産の部〕	
(その他の固定資産)	1,938,200,283	剰余金	917,187,190
投資有価証券・出資金	4,176,562	固定財産	279,658,589
保証金	50,000	一般会計収支剰余金	5,975,539
退職給与積立金	58,633,856	会館管理特別会計収支剰余金	16,536,388
保険料積立金	1,875,339,865	共済事業特別会計収支剰余金	6,652,218
		特定退職金共済特別会計収支剰余金	95,947
		運営資金積立金特別会計収支剰余金	122,345,838
		退職給与資金特別会計収支剰余金	9,981,875
		会館建設資金特別会計収支剰余金	475,940,796
		正味財産計	917,187,190
合 計	2,908,509,721	合 計	2,908,509,721

[注]固定資産の減価償却累計額 218,588,120円

[注2]商工会議所会計基準に基づき、会計間貸付は除去して作成しております。

特定退職金共済事業特別会計 貸借対照表

令和2年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
	円		円
流動資産	12,019,947	流動負債	11,924,000
現金及び預金	12,005,744	前受金	11,924,000
未収金	14,203	固定負債	1,875,339,865
固定資産	1,875,339,865	退職給付金準備金	1,875,339,865
保険料積立金	1,875,339,865	剰余金	95,947
		本年度剰余金	95,947
合計	1,887,359,812	合計	1,887,359,812

〔注〕 保険年度(平成31年1月1日～令和元年12月31日)における保険料積立金等の状況

1. 保険年度 期首残高	1,915,234,910
2. 本年度払込	139,022,050 (共済掛金収入相当額)
3. 本年度取崩	△1,811,596,688 (共済給付金支払相当額)
4. 運用実績	1,638,953,348
5. 保険年度 期末残高	1,881,613,620
6. 保険年度 期末要支給残高	1,836,208,238
7. 差 引(5-6)	45,405,382

付属明細表(固定財産明細表)

令和2年3月31日現在

勘定科目	期首残高 (A)	当期増加額 (B)	当期減少額 (C)	当期減価 償却額(D)	期末残高 (A+B-C-D)	備 考
一般会計						
I 固定資産						
車 両 運 搬 具	2				2	
什 器 備 品	86,882			10,860	76,022	
リ ー ス 資 産	2,763,504	6,905,376		2,097,264	7,571,616	
投 資 有 価 証 券 ・ 出 資	4,176,562				4,176,562	
保 証 金	50,000				50,000	
II 固定負債						
リ ー ス 債 務	2,763,504	6,905,376		2,097,264	7,571,616	
固定財産計(① = I - II)	4,313,446	0	0	10,860	4,302,586	
会館管理特別会計						
I 固定資産						
建 物	35,788,577			1,589,775	34,198,802	
建 物 付 属 設 備	14,314,160			1,772,394	12,541,766	
什 器 備 品	154,973			57,247	97,726	
リ ー ス 資 産	183,600	468,288		141,732	510,156	
II 固定負債						
預 り 保 証 金	13,917,300				13,917,300	
リ ー ス 債 務	183,600	468,288		141,732	510,156	
固定財産計(② = I - II)	36,340,410	0	0	3,419,416	32,920,994	
共済事業特別会計						
I 固定資産						
車 両 運 搬 具	522,187			261,093	261,094	
リ ー ス 資 産	91,800			36,720	55,080	
II 固定負債						
リ ー ス 債 務	91,800			36,720	55,080	
固定財産計(③ = I - II)	522,187	0	0	261,093	261,094	
特定退職金共済特別会計						
I 固定資産						
保 険 料 積 立 金	1,891,002,121	146,885,398	162,547,654		1,875,339,865	
II 固定負債						
退 職 給 付 金 準 備 金	1,891,002,121	146,885,398	162,547,654		1,875,339,865	
固定財産計(④ = I - II)	0	0	0	0	0	
退職給与資金特別会計						
I 固定資産						
退 職 給 与 積 立 金	63,595,061		4,961,205		58,633,856	
II 固定負債						
退 職 給 与 引 当 金	63,595,061		4,961,205		58,633,856	
固定財産計(⑤ = I - II)	0	0	0	0	0	
会館建設資金特別会計						
I 固定資産						
土 地	0	144,399,494			144,399,494	
建 物	0	97,774,421			97,774,421	
固定財産計(⑥ = I)	0	242,173,915	0	0	242,173,915	
合計(①~⑥)	41,176,043	242,173,915	0	3,691,369	279,658,589	

1. 重要な会計方針

①資金の範囲

流動資産及び流動負債を資金の範囲としています。

②有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債権・・・移動平均法による原価法を採用しております。

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法を採用しております。

③有形固定資産の減価償却の方法

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については定額法によっております。

④リース資産の処理方法

リース期間定額法によって減価償却を行っております。ただし、平成28年3月31日以前に契約したリース契約については、賃貸借取引に係る方法を採用しております。

⑤退職給与引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当該年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。

⑥消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

勘定科目	摘要		金額	
〔資産の部〕		円		円
流動資産				
現金及び預金	現金手許有高	79,947		
	当座預金	9,412,616		
	普通預金	204,026,069		
	収納用預金	306,791		
	定期預金	431,681,913		645,507,336
未収金	小田原市補助金他			25,785,133
前払金	ICカード保証料他			1,530,790
固定資産				
(有形固定資産)				
土地建物	697.38㎡(小田原市本町4-2-39)			144,399,494
	取得価額	97,774,421		
	償却累計額	0		97,774,421
建物	取得価額	113,675,985		
	償却累計額	△ 79,477,183		34,198,802
建物付属設備	取得価額	135,357,547		
	償却累計額	△ 122,815,781		12,541,766
車両運搬具	乗用車4台			
	取得価額	4,495,793		
	償却累計額	△ 4,234,697		261,096
什器備品	事務機器、空調設備他			
	取得価額	7,657,875		
	償却累計額	△ 7,484,127		173,748
リース資産	コピー機、パソコン他			
	取得価額	12,713,184		
	償却累計額	△ 4,576,332		8,136,852
(その他の固定資産)				
投資有価証券・出資金	アクサ保険ホールディングス株 株式	48,562		
	サンネット株 株式	1,228,000		
	FM小田原株 株式	2,000,000		
	合同会社まち元気小田原 出資金	900,000		4,176,562
保証金	箱根支部借室保証金			50,000
退職給与積立金	全国商工会議所役職員退職年金共済			58,633,856
保険料積立金				1,875,339,865
	資産の部合計			2,908,509,721
〔負債の部〕				
流動負債				
未払金	社会保険料・消費税他			22,307,847
前受金	特定退職金共済掛金他			12,962,061
預り金	労働保険料			24,750
固定負債				
預り保証金	貸室保証金			13,917,300
退職給与引当金				58,633,856
退職給付金準備金				1,875,339,865
リース債務	コピー機、パソコン他			8,136,852
	負債の部合計			1,991,322,531
	差引正味財産			917,187,190

〔注〕合同会社まち元気小田原は令和2年3月31日解散しており、現在、清算中です。

監 査 依 頼 書

令和元年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録について監査願いたく、関係書類を添えて提出いたします。

令和2年6月3日

小田原箱根商工会議所

監事 神戸 和男 殿

監事 大田 和俊彦 殿

監事 田中 秀明 殿

小田原箱根商工会議所
会頭 鈴木 悌介



監 査 報 告 書

令和元年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を監査したところ、その内容は適正であると認めます。

令和2年6月3日

小田原箱根商工会議所
会 頭 鈴木 悌介 殿

小田原箱根商工会議所

監事 神戸 和男 

監事 大田和俊彦 

監事 田中 秀明 